2013年度
授業要覧

国際政治経済学部
履修ガイド

青山学院大学

教育方針・理念

青山学院教育方針

青山学院の教育は
キリスト教信仰にもとづく教育をめざし、
神の前に真実に生き
真理を謙虚に追求し
愛と奉仕の精神をもって
すべての人と社会とに対する責任を
進んで果たす人間の形成を目的とする。

青山学院大学の理念

青山学院大学は、「青山学院教育方針」に立脚した、
神と人とに仕え社会に貢献する
「地の塩、世の光」としての教育研究共同体である。
本学は、地球規模の視野にもとづく正しい認識をもって
自ら問題を発見し解決する知恵と力を持つ人材を育成する。
それは、人類への奉仕をめざす自由で幅広い学問研究を通してなされる。
本学のすべての教員、職員、学生は、
相互の人格を尊重し、建学以来の伝統を重んじつつ、
おのおのの立場において、時代の要請に応えうる大学の創出に努める。

国際政治経済学部

国際政治学科

「カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）」

国際政治学科の教育課程は、青山スタンダード科目と専門教育科目で構成される。

◆カリキュラム体系

本学科は、今日の複雑な国際関係や日本と国際社会との関係を理論的に理解するために必要な高い分析能力と感受性･語学力を備えた人材を育成することを目的とする。このために、理論分野（国際関係理論、政治理論と国際法)、歴史と思想分野（外交史や政治思想)、地域研究分野の３つの分野からなる体系を用意している。

特　色

・２年次より、「政治外交･安全保障コース」と「グローバル･ガバナンスコース」の２つの履修コースを設け、それぞれのコースに適したモデル履修計画に従って一貫した教育プログラムを提供する。
・「政治外交・安全保障コース」は、国際政治を主要国家や地域の視点からとらえ、国際政治学、外交史、安全保障論、国際法などの科目群を中心的に学び、国際関係分析を行い、国際問題の解決能力を養う。この為に必要な科目群が用意されている。
・「グローバル・ガバナンスコース」は、特定の国や地域に関わりなく、全地球的視野から国際政治にアプローチして、国際公共の視点に立ち、グローバル・イシューの解決を模索する。この為に必要な科目群が用意されている。
・１年次に入門セミナー、２年次からプリゼミ、３・４年次は専門演習というように、４年間を通じて演習形式の学習形態をとっていて、少人で参加型形式の教育を目指している。
・学年進行に応じて、自分の関心分野が変わった場合、２年次から学科の枠にとらわれずにプリゼミ、コース、専門演習を履修できる。

「ディプロマポリシー（学位授与の方針）」

国際政治学科は、以下の要件を満たす学生に対し、「学士（国際政治経済学)」を授与する。

理論・歴史・思想・地域の特性などに関して提供する教育プログラムを通じて、

１．国際政治経済や地域の政治経済の動きや日本と国際社会の関係を理論的に理解するために必要な能力を修得した者。
２．高い語学力を身につけた者。

国際経済学科

「カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）」

国際経済学科の教育課程は、青山スタンダード科目と専門教育科目で構成される。

◆カリキュラム体系

本学科では、「真理を謙虚に追求し、広く世界の人々と交わり、平和と繁栄に貢献しうる人格を陶冶する」と定められた学部の理念に基づき、国際的な視野に立ち、科学的な枠組みに基づいて国際的な経済事象を体系的に把握し、問題解決の方策を建てる能力を持つとともに、国際経済場裡で実際に活躍できる国際人を養成することを目的としている。この為に、理論分野、政策分野、歴史・開発分野からなる体系を用意している。

特　色

・２年次より、「国際経済政策コース」と「国際ビジネスコース」の２つの履修コースを設け、それぞれのコースに適したモデル履修計画に従って一貫した教育プログラムを提供する。
・「国際経済政策コース」は、国際的な経済相互依存関係を踏まえ、国や産業レベルでの経済問題を、国際貿易、国際金融、経済開発の３分野から分析を行う。経済理論に基づき、国際経済問題の解決策を提言し実行する能力を養う。
・「国際ビジネスコース」は、企業レベルでのビジネス･経済問題を取り上げ、スキル系、マネジメント系、ビジネス・コミュニケーション系、地域圏研究系の分野からなり、国際ビジネスに対する視座とスキルを養う実践的カリキュラムを提供する。
・１年次に入門セミナー、２年次からプリゼミ、３・４年次は専門演習というように、４年間を通じて演習形式の学習形態をとっていて、少人で参加型形式の教育を目指している。
・学年進行に応じて、自分の関心分野が変わった場合、２年次から学科の枠にとらわれずにプリゼミ、コース、専門演習を履修できる。

「ディプロマポリシー（学位授与の方針）」

国際経済学科は、以下の要件を満たす学生に対し、「学士（国際政治経済学）」を授与する。

１．経済学的な思考方法を身につけ、国際経済学の基礎理解をした者。
２．この上に立ち、各人の関心領域において専門性の高い知識とスキルを身につけた者。

国際コミュニケーション学科

「カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）」

国際コミュニケーション学科の教育課程は、青山スタンダード科目と専門教育科目で構成される。

◆カリキュラム体系

本学科は、学部の理念に基づき、多様化・複雑化する国際社会の動向を、主に「言語」、「地域文化・比較文化」、「コミュニケーション」の３つの視点から研究・教育し、将来、国際的に活躍できる人材を育てることを目的としている。この為に、上記３視点に対応する分野ごとに科目群を、学生が自身の関心に応じて学べるように整備されている。

特　色

・２年次より、「国際コミュニケーションコース」の履修コースを設け、コースに適したモデル履修計画に従って一貫した教育プログラムを提供する。
・「国際コミュニケーションコース」は、英語のみならず、異文化理解のために必要な多言語の科目が多く開設され、オーラル・コミュニケーション、異文化コミュニケーションが重視されている。
・社会調査士資格を修得希望する学生には、必要な知識と技術を学べる実践的なカリキュラムが用意されている。
・１年次に入門セミナー、２年次からプリゼミ、３・４年次は専門演習というように、４年間を通じて演習形式の学習形態をとっていて、少人で参加型形式の教育を目指している。
・学年進行に応じて、自分の関心分野が変わった場合、２年次から学科の枠にとらわれずにプリゼミ、コース、専門演習を履修できる。

「ディプロマポリシー（学位授与の方針）」

国際コミュニケーション学科は、以下の要件を満たす学生に対し、「学士（国際コミュニケーション）」を授与する。

１．本学科が３本柱とする「言語」、「地域文化・比較文化」、「コミュニケーション」関連の科目を幅広く履修した者。
２．将来の国際人となれる教養とスキルを身につけた者。

総目次

Ⅰ．キリスト教教育について…… 2

Ⅱ．大学での学習活動について…… 3

1　大学での学習とは（カリキュラム／履修）

2　単位（単位制／単位とは／単位数／既修得単位の認定／協定校・認定校留学による単位認定）

3　授業科目の種類と配置（授業科目の種類／履修年次／履修順序）

Ⅲ．履修について…… 6

1　履修計画（履修計画の立案／履修計画上の注意）

2　履修登録（履修登録について／履修登録の方法／履修登録の確認と修正／履修取消制度について／履修取消申請方法）

Ⅳ．学部履修要項…… 11

Ⅴ．授業について…… 90

1　授業（授業時間／授業教室／休講／補講／授業の欠席について）

2　大学からの伝達

3　緊急時の「授業の取り扱い」および「伝達手段」について

Ⅵ．試験・レポートについて…… 93

1　試験の種別（定期試験／平常試験／レポート／追試験）

2　定期試験の受験（定期試験時間／受験上の注意／不正行為）

3　追試験（申請資格／申請方法／追試験時間・採点）

Ⅶ．成績評価について（成績評価／G.P.A.／成績通知／成績調査）…… 97

Ⅷ．進級および卒業について（進級／卒業／9月卒業／卒業延期制度）…… 99

Ⅸ．学籍について…… 100

（修業年限／在学年限／休学／復学／退学／再入学／二重学籍／除籍／転学部・転学科）

Ⅹ．教職課程（教員免許状・各種資格）について…… 102

Ⅺ．大学院について…… 109

巻末　学務担当窓口について

Ⅰ．キリスト教教育について

本学のキリスト教教育

キリスト教の精神のもとに建てられている青山学院は、その「教育方針」にも明記されているように「キリスト教信仰にもとづく教育をめざし、神の前に真実に生き　真理を謙虚に追求し　愛と奉仕の精神をもって　すべての人と社会とに対する責任を　進んで果たす人間の形成を目的とする」特別な学校です。したがって、その中に設置された青山学院大学においても、キリスト教教育を非常に重視しています。

本学における教育の特徴が他の国公立や私立の大学と異なる最もユニークな点は、このキリスト教による教育方針にあるといえます。

この教育方針をまっとうするために、本学には次の３つの基本的プログラムがあります。

⑴　大学礼拝　　⑵　キリスト教概論　　⑶　宗教センター活動

⑴　大学礼拝

大学では、キリスト教教育の中心に礼拝を位置づけており、時間を定めて礼拝を行っています（礼拝時間：青山･月～金 10時30分～11時 および 火 19時30分～20時、相模原・月～金 10時30分～11時）。大学礼拝は、キリスト教の信仰を土台とする学院の精神を最も具体的に示す場であるとともに、みなさんにキリスト教による人格教育を行う教育の場でもあります。また大学礼拝は教会における礼拝とは異なり、キリスト教信者だけの礼拝ではありません。礼拝出席は自由ですが、青山学院大学の独特な“スピリット”は礼拝においてよく表わされているので、大学礼拝を体験することなしに本学の教育を受けたとは言えないのです。

⑵　キリスト教概論

大学の必修科目の一つとして、「キリスト教概論」があります。この講義は、本学建学の精神であるキリスト教の信仰の内容を学問的に研究し、聖書を通してキリスト教の教義、歴史、神学、実践などの問題を理解するとともに、キリスト教の意義を学ぶことを目的としています。大学礼拝とキリスト教概論とは密接な関係があり、そのため礼拝レポートがキリスト教概論の中に取り入れられています。その他数多くのキリスト教関連科目が青山スタンダード（テーマ別科目）、ソーパー・プログラム科目、各学科科目のなかに配置され、みなさんの知的好奇心にチャレンジしています。

⑶　宗教センター活動

青山学院は、プロテスタント･キリスト教信仰の上に創立された学園であり、宗教センターは、特に、メソジスト教会の創始者、ジョンおよびチャールズ･ウェスレー兄弟の信仰的伝統を重んじ、キリスト教活動を行っています。青山キャンパスは間島記念館１階に、相模原キャンパスはＣ棟（チャペル）１階にそれぞれ宗教センターがあり、学生キリスト教活動の中心になっています。

各宗教センターでは、みなさんのために「聖書に親しむ会」、「キリスト教文化に親しむ会」、青山キリスト教学生会（A.C.F.）、聖歌隊、ハンドベル・クワイア、ゴスペル・クワイアまた、キリスト教図書の閲覧、講演会・コンサートの開催、研修旅行の実施などの活動が行われており、学生生活に色彩とバランスをあたえるために重要な役割を果たしています。さらに、各宗教センターには大学の専任教員でもある宗教主任（牧師）がおり、事務職員と協力して毎日みなさんのために宗教上の指導、アドバイス、教会紹介、カウンセリングなどの責任を負っています。この宗教センター活動は他大学とは異なる本学独特のシステムであり、みなさんの利用を待っています。活動の詳細は「本学におけるキリスト教活動のしおり」ならびに宗教センターWebサイトを参照してください。

Ⅱ．大学での学習活動について

1．大学での学習とは

カリキュラム

大学の授業科目、単位数、履修年次（どの学年で履修するか）を体系的に編成したものを「カリキュラム（教育課程）」といいます。所属する学部・学科のカリキュラムにそって学習を進め、最終的に、定められたカリキュラムの授業内容を修得することが、大学での学習の目的です。

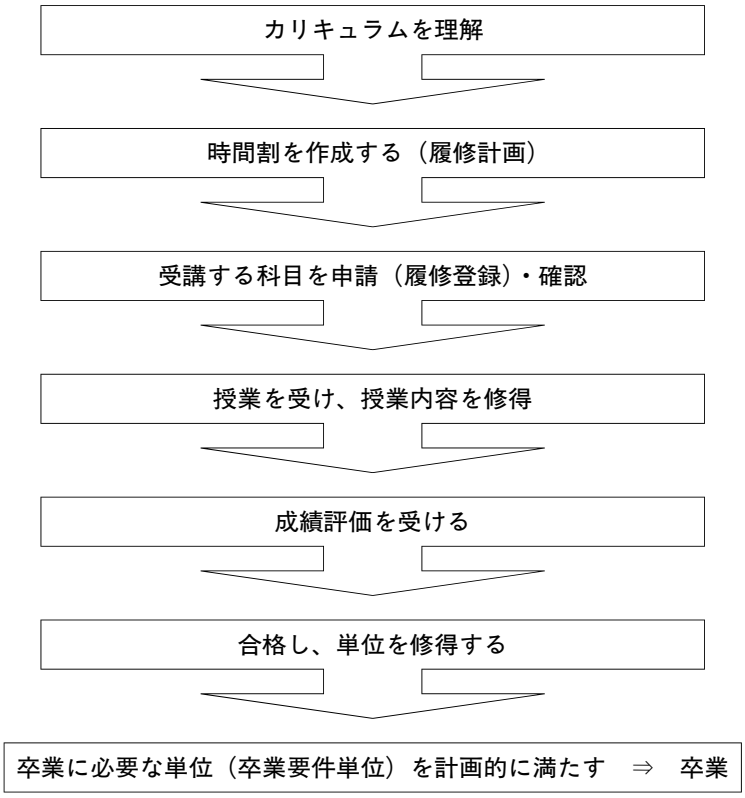
カリキュラムは入学年度別に定められており、卒業まで変更はありません。

各学部・学科のカリキュラムについては、「Ⅳ．学部履修要項」を参照してください。

履　修

各学部・学科のカリキュラムにそって配置された授業科目の受講を大学に申請することを「履修登録」、授業を受け、試験に合格して単位を得ることを「単位を修得する」といいます。この「履修登録」から「単位修得」までの一連の流れを「履修」といいます。

図式化すると以下のようになります。



大学では、カリキュラムで定められた範囲で履修する科目を選択することができますが、卒業に至るまでの過程は自己責任であるということを常に念頭に置いてください。

2．単　位

単位制

単位制とは、卒業するために、在学年限内に所定の単位を修得しなければならない制度です。これは極めて厳格なもので、たとえ１単位であっても不足すると卒業できません。卒業に必要な単位数は、学部･学科ごとに定められています。詳しくは、「Ⅳ．学部履修要項」の「卒業要件」を参照してください。

単位とは

単位とは、学習の成果を量的に表したものです。授業科目を履修し、出席回数、平常試験・定期試験またはレポート、その他担当教員が必要と認める学習作業の結果などによって、その授業科目に合格したと担当教員が判断したとき、所定の単位が与えられます。

単位数

単位数は、それぞれの授業科目ごとに定められており、授業形態によって算定方法が異なります。

大学設置基準による規定	１単位の標準＝“45時間の学修が必要な内容”

本学での単位算定方法

講義・演習の科目では…	１単位＝授業15～30時間分
実験・実習・実技（スポーツなど）の科目・集中科目では…	１単位＝授業30～45時間分

15時間の講義科目（１単位）を例に取ると、“45時間の学修を必要とする内容”で１単位、と規定されており、授業時間外に30時間の自習が前提となっています。

なお、ここでいう“１時間”とは、授業時間45分を表します。本学での１時限の授業は90分で行われているので、単位計算上は、１時限＝“２時間分の授業”となります。

半期の講義科目では、

15週×２時間＝30時間分＝２単位

となります。

実際の単位数

半期科目 （前期のみ、または後期のみの科目）	15週で完結 ・講義科目なら２単位 ・演習科目なら２単位または１単位 ・実験・実習・実技科目なら１単位
通年科目 （一年を通して行われる科目）	30週で完結 ・講義科目なら４単位 ・演習科目なら４単位または２単位 ・実験・実習・実技科目なら２単位

既修得単位の認定

新たに入学した１年生で、本学入学以前に他大学･短期大学ですでに修得した単位があり、修得済み単位として認定を受けたい学生は、指定された期間（**入学式翌日～前期授業開始日**）に書類を所属キャンパスの教務窓口に提出し申請してください。**60単位を超えない範囲**で各学部･学科の基準に従って単位が認定されます（大学学則第42条参照）。この申請は、入学した年度に限って可能であり、次年度以降に申請することはできません。

編入・転部または転学部・転学科した学生の場合は、それまで修得した単位のうち、各学部・学科が適当と認める科目の単位が認定されますので、指定された期間（入学手続時配付書類に記載）に書類を所属キャンパスの教務窓口に提出し申請してください。

協定校･認定校留学による単位認定

協定校留学・認定校留学の制度によって留学した場合は、帰国後所定の手続きをふむことにより、留学先で修得した単位が60単位を超えない範囲で各学部・学科の基準に従って認定されます。ただし、教員免許状取得希望者の場合、認定された科目の単位は、教員免許状取

得に係る単位として証明されません。

3．授業科目の種類と配置

授業科目の種類

各授業科目は、卒業要件として必ず履修・修得しなければならないか否かによって、以下の３つに区分されます。

授業科目の種類

必修科目	必ず履修し、単位を修得しなければならない科目
選択必修科目	指定されたいくつかの科目の中から選択履修し、各学部・学科所定の単位数を必ず修得しなければならない科目
選択科目	自由に選択履修し、必要単位数を修得する科目

上記の内容でわかるとおり、履修の際には、「必修科目」を優先して卒業要件単位を満たしてゆく必要があります。

また、授業の開講期間によって、１年を通じて実施する「通年科目」、前期あるいは後期で完結する「半期科目」、夏期･冬期休業期間などを利用して実施する「集中講義科目」に分かれます。

履修年次

「履修年次」とは、それぞれの授業科目を**履修するのが望ましい学年**のことです。履修年次は、４年間の学習を系統的に行えるよう、カリキュラムに基づいて定められています。

履修年次は「Ⅳ．学部履修要項」部分の科目配置表に記載されていますので、それに従って科目を履修してください。

原則として、**現在の学年より上級の年次に配置されている授業科目を履修することはできません**が、現在の学年より下級の年次に配置されている授業科目であれば履修することができます。ただし、例外もありますので、「Ⅳ．学部履修要項」で確認してください。

履修順序

各学部・学科には、段階的に学習を進めるために「履修順序」が設けられた授業科目があります。これは、**ある授業科目の単位を修得しなければ、その上級科目として設けられている授業科目を履修することができない**、というものです。

上級に設けられた授業科目は、初級の授業科目の内容をすでに修得していることを前提とし、その次の段階から授業を始めます。したがって、初級の授業科目と上級の授業科目を同時に履修することはできません。ただし、４年次留年生は、学部・学科によっては履修順序に関係なく履修できる場合もあります。

各学部・学科の履修順序については、「Ⅳ．学部履修要項」に記載されています。

Ⅲ．履修について

１．履修計画

履修計画の立案

大学においては、各学生がカリキュラムにそって履修計画を立て、受講したい科目を選択します。

授業科目には、あらかじめ登録されている「事前登録科目」（必修科目等）があり、学生はそれ以外の時限について履修計画を立てることになります。

履修計画を立てるに当たっては、カリキュラムについてよく理解し、所属学部・学科で定められた必修科目の修得と、進級や卒業に必要な履修規定上の必要条件（進級条件・卒業要件）を満たすことを優先させます。

第一部では、１年間で履修申請できる単位数が決められています。下記の⑴～⑷にそって、履修計画を立ててください。

⑴　年度初めのオリエンテーション期間中に行われる所属学部・学科のガイダンスに出席する。

ガイダンスでは、履修上の注意や授業科目の説明が行われますので、必ず出席して最新の情報を得てください。

⑵　カリキュラムの内容、特徴、意義について知る。

「Ⅳ．学部履修要項」の卒業要件単位表･科目配置表で、各授業科目がどのような分野に属しているかを確認してください。履修順序についても、ここで確認してください。

⑶　各授業科目の講義内容を知る。

Web 版『講義内容』（「学生ポータル」の「講義内容検索」よりアクセス可能）には、各授業の詳しい授業計画などが記載されています。履修しようと思う科目の内容をよく確認してください。具体的な授業内容を知りたい場合は、履修登録期間中に受講してみる、受講時に担当者に確認するなどの方法でも講義内容を確認できます。（履修登録期間終了後は、履修登録をしていない科目を受講することはできません。）

「Ⅳ．学部履修要項」の「履修年次」は履修が望ましい年次を表しています。履修順序などで履修が制限されることがありますので、「Ⅳ．学部履修要項」で必ず確認し、なるべく望ましい年次での履修を心がけてください。

⑷　卒業に必要な科目と単位数、資格に必要な科目と単位数を知る。

卒業要件単位とは、卒業に必要な最低限の単位です。教員免許状および各種資格を取得するためには、これに加えてそれぞれに必要な所定の単位を修得しなければなりません。「Ⅳ．学部履修要項」、「Ｘ．教職課程（教員免許状･各種資格）について」および冊子『教職課程履修の手引』を参照し、各自の目標に合った計画を立ててください。

履修計画上の注意

履修計画に際しては、以下のことに注意してください。

⑴　同一時限に、２科目以上の授業科目を重複して履修登録することはできません。（特に許可された科目を除きます。）

⑵　第一部では各学部・学科で１年間の履修登録単位数の限度（最高履修制限単位）が定められており、その単位数を超えて履修することはできません。
教職課程関連科目および教職課程科目については「Ⅳ．学部履修要項」および冊子『教職課程履修の手引』を参照してください。

⑶　既に単位を修得した科目を、再度履修登録することはできません。（特に許可された科目を除きます。）

⑷　他キャンパスの授業科目を履修する場合、90分間の移動時間が必要です。この移動時間の間に実施されている授業科目の履修はできません。

⑸　他学部科目の履修を希望する場合、「Ⅳ．学部履修要項」の「他学部科目一覧表」を参

照してください。

(6) 第一部の学生が第二部開講科目を履修することはできません。また、第二部の学生が第一部開講科目を履修することはできません。

(7) 履修登録締め切り後、登録に不備や間違いがあったときは、当該科目の登録が無効となります。

(8) 受講者数が著しく多い科目については、教室の収容人数、教育効果などを考慮して、クラスの分割・抽選などの措置を取ることがあります。

2．履修登録

履修登録について

１．履修登録

「履修登録」は、年度初頭に、その年度に履修を希望する授業科目を大学に登録する、大変重要な手続きです。（集中講義科目、後期に開講される科目も年度初頭に履修登録を行います。）一科目でも登録もれや登録間違いがあってはなりません。『履修登録システム利用案内』をよく読み、各自の責任において、履修登録期間内に履修登録を完了してください。履修登録期間は「学生ポータル」で確認してください。

制限科目の応募締切日時は、個々の科目により異なりますので、注意してください。

２．後期履修変更

後期に履修変更期間を設けます。前期科目の成績を確認したうえで再度履修を見直し、必要がある場合は Web 履修登録システムを使用して各自で履修の変更を行ってください。履修変更期間以降の修正は、一切認めません。後期履修変更期間は、「学生ポータル」で確認してください。

後期の履修変更に際しては、次の５点に注意してください。

(1) 履修制限単位内で、後期科目のみの修正を行うことができます。

(2) 受講者を制限する科目（抽選・制限カード・受講許可等）に関わる変更はできません。

(3) 通年科目を削除しなければならない変更はできません。

(4) 前期に修得できなかった科目と同一名称科目の再履修はできません。

(5) (2)～(4)の制限にかかわらず、学部学科等から特に指定があった場合は、それに従ってください。

後期履修変更期間中に追加できる単位数は次のとおりです。（第一部学生のみ）

後期履修変更期間に追加できる単位数（後期科目のみ）＝当該年度の最高履修制限単位－（前期修得単位数＋前期に修得できなかった単位数＋履修取消科目の単位数＋通年科目の単位数）

履修登録の方法

本学の履修登録は、基本的には Web 上のシステム「Web 履修登録システム」（パソコンまたは学内情報端末を使用）で行います。詳細については、冊子『履修登録システム利用案内』を参照してください。

履修登録方法は次のとおりです。

【登録番号と履修登録方法】

『授業時間割表』の登録番号表示	履修登録方法
数字 5 桁で表示されている	Web 履修登録システムを利用して、自分で登録できます。履修登録期間内であれば、自分で削除することもできます。
＋＋＋＋＋	Web で抽選または選考を行う科目です。Web 履修登録システムの「制限科目申請」から応募してください。抽選・選考の結果、履修登録された科目は、削除することはできません。曜日時限等に間違いのないよう、注意して応募してください。また、受付期間が科目によって異なりますので、注意してください。
＊＊＊＊＊	Web 以外で抽選または選考を行う科目です。所定の日時・場所（オリエンテーション期間中や初回授業等）で申請してください。申請方法については、『学年初頭行事』や『講義内容』、学部・学科等の指示に従ってください。抽選・選考の結果、履修登録された科目は、削除することはできません。
＃＃＃＃＃	事前に登録済または履修登録期間中に大学側で登録を行う科目です。自分で履修登録する必要はありません。
－－－－－	受講が許可された学生のみ登録できます。学部学科等の指示に従ってください。

【ペア科目】

ペア科目とは、同一授業科目で、週 2 回以上授業を行う科目です。『授業時間割表』には「ペア」と記載されています。『授業時間割表』に記載されている登録番号で登録してください。対応するほかの曜日・時限も自動的に登録されます。

【集中講義科目】

集中講義科目とは、曜日･時間にかかわらず、一定の期間に集中して授業を行う科目です。『授業時間割表』の各学部・学科注意事項を確認のうえ登録してください。

【「健康・スポーツ演習」・「スポーツ運動実習」】

『学年初頭行事』を参照のうえ、これらの科目に関するガイダンスに出席してください。

履修登録の確認と修正

履修登録最終日は、アクセスが多く、登録に時間がかかります。「混みあってアクセスできなかった」という理由は認められませんので、余裕をもって履修登録が完了するようにしてください。

エラーが表示されたら、適切に対処してください。自分で解決できない場合は、所属キャンパス教務窓口で相談してください。

登録や修正を行った後は、必ず「履修登録画面」で履修登録リストを印刷して誤りがないか確認してください。印刷した履修登録リストは、年度末まで保管してください。確認を怠ったために生じた問題について、大学側は一切責任を負いません。

履修登録を行ったつもりで登録されていなかった科目や、誤って登録してしまった科目については、間違えたまま授業に出席し試験を受けても単位を修得することができないばかりでなく、登録していない科目の試験を受けることは不正行為とみなされ、処分の対象となり

ます（『試験における不正行為者処分規則施行細則』第２条参照）ので注意してください。
期日までに履修登録をしない場合は、修学の意志がないものとして、大学学則第34条に基づき除籍処分となります。

履修取消制度について

授業の内容が勉強したいものと異なっていた場合、履修登録（または後期履修変更）期間終了後の一定期間内であれば履修を取りやめることができます。
詳細は以下のとおりです。

１）対象者：全学部生
２）対象科目：下記①、②を除く全科目
　①　事前登録科目（履修登録期間中に大学側が登録する科目を含む）
　②　制限科目
※　この他に学部・学科で対象外としている科目がある場合は「Ⅳ．学部履修要項」に記載されていますので、参照してください。
※　夏期集中科目（後期扱い）の取消は前期の履修取消期間に申請してください。
３）履修取消科目の扱い：本制度を利用して取り消した前期科目と同一名称の科目を後期に履修することはできません。
４）履修取消科目の単位の扱い：本制度を利用して取り消した科目の単位数は、当該年度の申請単位数に含まれます。
５）履修取消科目の成績評価の表示：
　①　成績通知書：「W」
　②　成績証明書：記載しない。

履修取消申請方法

履修取消の申請は、所定の期間内に所属キャンパスの教務窓口でのみ受け付けます。申請の取り下げは一切認められません。履修取消申請受付期間は、「学生ポータル」で確認してください。

Ⅳ．国際政治経済学部履修要項
（2013年度入学者）

【１】 国際政治経済学部履修について……12

１．卒業要件……12

２．最高履修制限単位……13

３．進級条件……13

４．修得単位僅少者について……13

５．編入学・転学部者について……13

【２】 青山スタンダード科目履修方法および配置表（2013年度入学者）……14

【３】 外国語科目履修方法および配置表……22

【４】 学科・コース科目履修方法および配置表……33

【５】 自由選択科目履修方法……79

【６】 他学部科目一覧表……80

【1】 国際政治経済学部履修について

1．卒業要件

(1) 卒業に必要な単位数について

卒業資格を得るためには、下表に示す区分にしたがって必要な単位を修得しなければなりません。ここに示す単位数は科目の種別ごとに必要な最低の単位数なので、これが1単位でも不足すると卒業は認められません。

(2) 学位について

国際政治経済学部に4年以上（ただし8年を限度）在学し、卒業に必要な要件を満たした者には、学位記を与え、学士の学位を授与します。

学士号は修了した学科によって異なり、国際政治学科および国際経済学科修了者には、学士（国際政治経済学）の学位を、国際コミュニケーション学科修了者には、学士（国際コミュニケーション）の学位を授与します。

卒業に必要な最低単位数

科目の種類		必選の別	必要単位
青山スタンダード科目（19ページ参照）			24
外国語科目	A群	必修	20
	B群	必修	2
	C群	選択必修	※4
	小計		26
学科科目	A群	選択必修	28
	B群	選択必修	36
	小計		64
自由選択科目		選択	20
総計			134

※外国語科目C群として修得した科目の単位は、異名称同一科目の学科科目の単位に振り替えることはできません。

◎国際政治経済学部においては、所属する学科を問わず、2年次より5コース（政治外交・安全保障コース、グローバル・ガバナンスコース、国際経済政策コース、国際ビジネスコース、国際コミュニケーションコース）のいずれかを選択する必要があります。コース選択については、1年次の後期に必ず所定の手続きをとってください。（所定の手続きを行わない場合、当該学生のコースは学務部教務課により決定します。）決定後にコースの変更をすることはできません。

2．最高履修制限単位

最高履修制限単位は次のとおりです。各年次ともこの単位を超えて履修することはできません。また、各年次においては、必ず１科目以上の履修をしなくてはなりません。

第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	合計
44	44	44	54	186

注）社会教育主事の資格を取得希望する学生は教育原理Ａ、教育原理Ｂを上記制限単位外で履修できます。

3．進級条件

２年次終了時に、46単位（国際政治経済学部卒業要件単位）以上修得していなければ３年次に進級できません。

4．修得単位僅少者について

入学後の２年間（休学期間を除く）で修得単位が32単位に満たない者は、成業の見込みのない者として除籍されることがありますので、特に注意してください。

5．編入学・転学部者について

編入学・転学部者は、入学時の学年の履修条件が適用されます。

（例）　2013年度２年次編入学･転学部者の場合…2012年度入学生の履修条件を適用します。

編入学・転学部者は、編入学・転学部した年度に限り、履修順序のある科目を同時に履修することができ、また、認定単位数が卒業に必要な最低単位数の４分の１未満の場合、その差分を最高履修制限単位に追加して履修することができます。

【２】 青山スタンダード科目履修方法および配置表（2013年度入学者）

１．全学部に共通する教養教育の理念・目標

青山学院の教育方針は、キリスト教信仰にもとづく教育を基盤として、幅広く深い知識を授けることにより、主体的な学習能力、着実な思考力、問題解決能力および総合的な判断力を培い、愛と奉仕の精神をもってすべての人と社会とに対する責任を進んで果たす、人間性豊かで国際性に富む人材を育成することです。

本学の全学部に共通する教養教育は、この理念をうけて、「およそ青山学院大学の卒業生であれば、どの学部・学科を卒業したかに関わりなく、一定の水準の技能・能力と一定の範囲の知識・教養をそなえているという社会的評価を受けることを到達目標とする」として、青山スタンダード科目を開講しています。

２．履修方法

科目の種類				必選の別	必要単位
青山スタンダード科目	1）教養コア	キリスト教理解関連科目		必修	2
	2）技能コア	言葉の技能	英語	※１	
			第二外国語　※２※３	必修	4
		身体の技能		必修※４	2
		情報の技能		必修	2
	3）テーマ別	キリスト教理解関連科目		必修	2
	4）教養コア	人間理解関連科目 社会理解関連科目 自然理解関連科目 歴史理解関連科目	左記４領域のうち２領域から「教養コア科目」を選択	選択必修	4
	5）領域指定	人間理解関連科目 社会理解関連科目 自然理解関連科目 歴史理解関連科目	左記領域より４）で選択しなかった２領域から各１科目（２単位）ずつ選択。（「教養コア科目」あるいは「テーマ別科目」いずれも可）	選択必修	4
	フレッシャーズ・セミナー、ウェルカム・レクチャー、キャリアデザイン・セミナー、教養コア科目、技能コア科目、テーマ別科目から選択。（１）～５）で修得した科目は除く）			選択	6

※１　言葉の技能･英語は、所属する学部（学科）が開講する科目を履修します。詳しくは、所属する学部（学科）の外国語科目履修方法および配置表に関するページを参照してください。（英語スキルⅠ－１、Ⅰ－２を除く）

※２　第二外国語科目の中から１外国語を選択します（入学手続き時に申請されています）。

※３　第二外国語科目には、履修順序があります。

・第二外国語科目は、それぞれ前期の単位が修得できた者のみが後期の履修を認められます。

・「インテンシブ・（第二外国語）」は週に半期４クラスをセットとし前後期で履修登録するものです。このうち前期４クラスのどれか一つでも不合格となれば後期４クラスを履修することはできません。

・「インテンシブ・（第二外国語）」「（第二外国語）Ⅱ」あるいは「（第二外国語）会話（Ⅰ）」は、「（第二外国語）Ⅰ」の必要単位をすべて修得した者のみが履修を認められます。

・「（第二外国語）Ⅲ」は、「インテンシブ・（第二外国語）(A)～(D)－１」あるいは「（第二外国語）Ⅱ－２」の単位を修得した者のみが履修を認められます。

・「（第二外国語）会話（Ⅱ）」は、「インテンシブ・（第二外国語）(A)～(D)－１」「（第二外国語）Ⅱ－２」あるいは「（第二外国語）会話（Ⅰ）－２」の単位を修得した者のみ履修を認められます。

※４　教育人間科学部教育・経済・経営・総合文化政策・社会情報のみ必修です。

○　必要単位以上修得した場合は、卒業要件の中の自由選択科目に算入されます。

○　第二外国語として修得した外国語以外の第二外国語科目を修得した単位は、卒業要件の中の自由選択科目に算入されます（国際政治経済学部除く）。

○　**受講者数の著しく多い科目については、教室の収容人数、教育効果等を考慮して、クラスの分割・抽選などの措置をとることがあります。**

3．授業科目配置表

（太字は必修科目）

		授業科目	単位	配置年次	備考
		フレッシャーズ・セミナー	2	1	1年生のみ
		ウェルカム・レクチャー	2	1	1年生のみ
		キャリアデザイン・セミナー	2	1	1年生のみ
教養コア科目		（キリスト教理解関連科目） **キリスト教概論Ⅰ**	**2**	**1**	
		（人間理解関連科目） 自己理解（総合科目） 自己理解（個別科目）	2 2	1 1	（総合科目）：複数の教員による担当 （個別科目）：一人の教員による担当
		（社会理解関連科目） 現代社会の諸問題（総合科目） 現代社会の諸問題（個別科目）	2 2	1 1	（総合科目）：複数の教員による担当 （個別科目）：一人の教員による担当
		（自然理解関連科目） 科学・技術の視点（総合科目） 科学・技術の視点（個別科目）	2 2	1 1	（総合科目）：複数の教員による担当 （個別科目）：一人の教員による担当
		（歴史理解関連科目） 歴史と人間（総合科目） 歴史と人間（個別科目）	2 2	1 1	（総合科目）：複数の教員による担当 （個別科目）：一人の教員による担当
技能コア科目	言葉の技能	日本語・英語 英語スキルⅠ－1	1	1	1年生のみ
		日本語・英語 英語スキルⅠ－2	1	1	1年生のみ
		第二外国語 **（第二外国語）Ⅰ(A)-1**	**1**	**1**	（第二外国語）はフランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語を指します。
		第二外国語 **（第二外国語）Ⅰ(A)-2**	**1**	**1**	
		第二外国語 **（第二外国語）Ⅰ(B)-1**	**1**	**1**	
		第二外国語 **（第二外国語）Ⅰ(B)-2**	**1**	**1**	
		第二外国語 **英語Ⅰ－1**	**1**	**1**	フランス文学科のみ選択可。それぞれ週2回履修し、計4単位修得してください。
		第二外国語 **英語Ⅰ－2**	**1**	**1**	
		第二外国語 **英語（ⅠA）－1**	**1**	**1**	外国人留学生のみ
		第二外国語 **英語（ⅠA）－2**	**1**	**1**	外国人留学生のみ
		第二外国語 **英語（ⅠB）－1**	**1**	**1**	外国人留学生のみ
		第二外国語 **英語（ⅠB）－2**	**1**	**1**	外国人留学生のみ
		第二外国語 **日本語Ⅰ(A)－1**	**1**	**1**	外国人留学生のみ
		第二外国語 **日本語Ⅰ(A)－2**	**1**	**1**	外国人留学生のみ
		第二外国語 **日本語Ⅰ(B)－1**	**1**	**1**	外国人留学生のみ
		第二外国語 **日本語Ⅰ(B)－2**	**1**	**1**	外国人留学生のみ
	身体の技能	**健康・スポーツ演習**	**2**	**1**	教育人間科学部教育・経済・経営・総合文化政策・社会情報のみ必修
	情報の技能	**情報スキルⅠ**	**2**	**1**	
テーマ別科目	キリスト教理解関連科目（領域A）	**キリスト教概論Ⅱ**	**2**	**2・3**	理工学部・社会情報学部は2年次 他は3年次配置
		旧約聖書と人間	2	2･3･4	
		新約聖書と人間	2	2･3･4	
		キリスト教生命倫理	2	2･3･4	

テーマ別科目	キリスト教理解関連科目（領域A）	キリスト教政治倫理	2	2･3･4	
		キリスト教と自然科学	2	2･3･4	両キャンパス隔年開講
		キリスト教環境倫理	2	2･3･4	両キャンパス隔年開講
		キリスト教音楽	2	2･3･4	
		キリスト教美術	2	2･3･4	
		メソジスト教会史	2	2･3･4	
		世界の諸宗教	2	2･3･4	両キャンパス隔年開講
		聖書の中の女性たち（旧約）	2	2･3･4	両キャンパス隔年開講
		聖書の中の女性たち（新約）	2	2･3･4	両キャンパス隔年開講
		サービス・ラーニングⅠ	2	2･3･4	
		サービス・ラーニングⅡ	2	2･3･4	
		海外語学・キリスト教文化研修	2	2･3･4	
	人間理解関連科目（領域B）	哲学A	2	2･3･4	
		哲学B	2	2･3･4	
		哲学の諸問題A	2	2･3･4	
		哲学の諸問題B	2	2･3･4	
		哲学の諸問題C	2	2･3･4	
		哲学の諸問題D	2	2･3･4	
		論理学A	2	2･3･4	
		論理学B	2	2･3･4	
		論理学の諸問題A	2	2･3･4	
		論理学の諸問題B	2	2･3･4	
		倫理学A	2	2･3･4	
		倫理学B	2	2･3･4	
		倫理学の諸問題A	2	2･3･4	
		倫理学の諸問題B	2	2･3･4	
		西洋倫理思想史A	2	2･3･4	
		西洋倫理思想史B	2	2･3･4	
		言語学A	2	2･3･4	
		言語学B	2	2･3･4	
		日本語学A	2	2･3･4	
		日本語学B	2	2･3･4	
		文学A	2	2･3･4	
		文学B	2	2･3･4	
		文学史A	2	2･3･4	
		文学史B	2	2･3･4	
		美術A	2	2･3･4	
		美術B	2	2･3･4	
		美術史A	2	2･3･4	
		美術史B	2	2･3･4	
		音楽A	2	2･3･4	
		音楽B	2	2･3･4	

テーマ別科目	人間理解関連科目（領域B）	音楽史A	2	2･3･4	
		音楽史B	2	2･3･4	
		文化人類学A	2	2･3･4	
		文化人類学B	2	2･3･4	
		比較文化A	2	2･3･4	
		比較文化B	2	2･3･4	
		比較文化の諸問題A	2	2･3･4	
		比較文化の諸問題B	2	2･3･4	
		心理学A	2	2･3･4	心理学科除く
		心理学B	2	2･3･4	心理学科除く
		教育学A	2	2･3･4	
		教育学B	2	2･3･4	
		平和を考えるA	2	2･3･4	
		平和を考えるB	2	2･3･4	
		人間関係とコミュニケーションA	2	2･3･4	
		人間関係とコミュニケーションB	2	2･3･4	
		文化とコミュニケーションA	2	2･3･4	国際政治経済学部除く
		文化とコミュニケーションB	2	2･3･4	国際政治経済学部除く
	社会理解関連科目（領域C）	法学（日本国憲法を含む）A	2	2･3･4	法学部除く。 教員免許状取得申請者は、１年次から履修できます。
		法学（日本国憲法を含む）B	2	2･3･4	
		日本の法と社会A	2	2･3･4	
		日本の法と社会B	2	2･3･4	
		国際政治経済学A	2	2･3･4	
		国際政治経済学B	2	2･3･4	
		国際関係概論A	2	2･3･4	
		国際関係概論B	2	2･3･4	
		社会学A	2	2･3･4	
		社会学B	2	2･3･4	
		現代社会と教育人間学A	2	2･3･4	
		現代社会と教育人間学B	2	2･3･4	
		経済学A	2	2･3･4	経済学部除く
		経済学B	2	2･3･4	経済学部除く
		情報社会科学A	2	2･3･4	
		情報社会科学B	2	2･3･4	
		情報社会論	2	2･3･4	
		社会情報論	2	2･3･4	
		人口問題A	2	2･3･4	
		人口問題B	2	2･3･4	
		フェミニズムA	2	2･3･4	
		フェミニズムB	2	2･3･4	
		民族問題A	2	2･3･4	
		民族問題B	2	2･3･4	

テーマ別科目	社会理解関連科目（領域C）	マスメディアと社会	2	2･3･4	
		データサイエンス	2	2･3･4	
		福祉と人間A	2	2･3･4	
		福祉と人間B	2	2･3･4	
		グローバリゼーションとWTO	2	2･3･4	
		日本農業とWTO	2	2･3･4	
		環境問題と社会	2	2･3･4	NPO環境平和持続の会寄附講座
	自然理解関連科目（領域D）	技術史A	2	2･3･4	
		技術史B	2	2･3･4	
		日常生活の数理	2	2･3･4	
		数理科学入門I	2	2･3･4	理工学部・社会情報学部を除く
		数理科学入門II	2	2･3･4	理工学部・社会情報学部を除く
		数理科学の視点	2	2･3･4	
		数理モデル	2	2･3･4	
		自然科学概論A	2	2･3･4	
		自然科学概論B	2	2･3･4	
		文化としての科学・技術A	2	2･3･4	
		文化としての科学・技術B	2	2･3･4	
		現代物理	2	2･3･4	
		ライフサイエンス	2	2･3･4	
		ゲノム	2	2･3･4	
		生物と地球環境	2	2･3･4	
		地球環境保全	2	2･3･4	
		バイオテクノロジーと生命倫理	2	2･3･4	
		地球観（自然と人の倫理）	2	2･3･4	
		生命と地球の歴史	2	2･3･4	
		宇宙科学	2	2･3･4	
		野鳥の生態	2	2･3･4	
		鳥類と生物多様性	2	2･3･4	
		植物生態学	2	2･3･4	
		先端エレクトロニクス	2	2･3･4	
		環境科学A	2	2･3･4	
		環境科学B	2	2･3･4	
		自然地理学A	2	2･3･4	
		自然地理学B	2	2･3･4	
		科学史	2	2･3･4	
		生命と生態系（環境と生物）	2	2･3･4	
		生命の連続（遺伝）	2	2･3･4	
		かたちの科学	2	2･3･4	
		自然史	2	2･3･4	
		自然観の変遷	2	2･3･4	
		青山学院大学の歴史	2	2･3･4	

テーマ別科目	歴史理解関連科目（領域E）	日本社会史A	2	2･3･4	
		日本社会史B	2	2･3･4	
		日本社会史C	2	2･3･4	
		中国史A	2	2･3･4	
		中国史B	2	2･3･4	
		ヨーロッパ史A	2	2･3･4	
		ヨーロッパ史B	2	2･3･4	
		ヨーロッパ史C	2	2･3･4	
		現代史A	2	2･3･4	
		現代史B	2	2･3･4	
		現代史C	2	2･3･4	
		現代史D	2	2･3･4	
		考古学A	2	2･3･4	
		考古学B	2	2･3･4	
		科学思想史A	2	2･3･4	
	言葉の技能（領域F）	インテンシブ・(第二外国語) (A)-1	1	2･3･4	(第二外国語) はフランス語 (フランス文学科除く)、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語を指します。
		インテンシブ・(第二外国語) (A)-2	1	2･3･4	
		インテンシブ・(第二外国語) (B)-1	1	2･3･4	
		インテンシブ・(第二外国語) (B)-2	1	2･3･4	
		インテンシブ・(第二外国語) (C)-1	1	2･3･4	
		インテンシブ・(第二外国語) (C)-2	1	2･3･4	
		インテンシブ・(第二外国語) (D)-1	1	2･3･4	
		インテンシブ・(第二外国語) (D)-2	1	2･3･4	
		日本事情（Ⅰ）	2	3	交換留学生のみ
		日本事情（Ⅱ）	2	3	交換留学生のみ
		日本事情（Ⅲ）	2	3	交換留学生のみ
		日本事情（Ⅳ）	2	3	交換留学生のみ
		日本事情（Ⅴ）	2	3	交換留学生のみ
		日本事情（Ⅵ）	2	3	交換留学生のみ
		アメリカ合衆国の社会と文化A	2	2･3･4	
		アメリカ合衆国の社会と文化B	2	2･3･4	
		アメリカ合衆国の社会と文化C	2	2･3･4	
		英語圏の社会と文化A	2	2･3･4	国際政治経済学部除く
		英語圏の社会と文化B	2	2･3･4	
		フランス語圏の社会と文化A	2	2･3･4	
		フランス語圏の社会と文化B	2	2･3･4	
		フランス語圏の社会と文化C	2	2･3･4	
		ドイツ語圏の社会と文化A	2	2･3･4	
		ドイツ語圏の社会と文化B	2	2･3･4	
		ドイツ語圏の社会と文化C	2	2･3･4	
		スペイン語圏の社会と文化A	2	2･3･4	
		スペイン語圏の社会と文化B	2	2･3･4	

テーマ別科目	言葉の技能（領域F）	スペイン語圏の社会と文化C	2	2･3･4	
		中国語圏の社会と文化A	2	2･3･4	
		中国語圏の社会と文化B	2	2･3･4	
		中国語圏の社会と文化C	2	2･3･4	
		ロシア語圏の社会と文化A	2	2･3･4	
		ロシア語圏の社会と文化B	2	2･3･4	
		韓国・朝鮮の社会と文化A	2	2･3･4	
		韓国・朝鮮の社会と文化B	2	2･3･4	
		イスラム圏の社会と文化A	2	2･3･4	
		イスラム圏の社会と文化B	2	2･3･4	
		日本学A	2	2･3･4	交換留学生・外国人留学生のみ
		日本学B	2	2･3･4	交換留学生・外国人留学生のみ
		English Studies A	2	2･3･4	
		English Studies B	2	2･3･4	
		English Studies C	2	2･3･4	
		English Studies E	2	2･3･4	
		ことばの研究A	2	2･3･4	
		ことばの研究B	2	2･3･4	
		少数民族の社会と文化A	2	2･3･4	
		少数民族の社会と文化B	2	2･3･4	
		民族文化論A	2	2･3･4	
		民族文化論B	2	2･3･4	
	身体の技能（領域G）	健康医学	2	2･3･4	
		身体の仕組みと病気A	2	2･3･4	
		身体の仕組みと病気B	2	2･3･4	
		スポーツ生理学	2	2･3･4	
		スポーツバイオメカニクス	2	2･3･4	
		スポーツ心理学	2	2･3･4	
		動きの人間学	2	2･3･4	
		医療社会学	2	2･3･4	
		スポーツ運動実習	1	2･3･4	４回まで重複履修を認めます。 教員免許状取得申請者は、１年次から履修できます。
		アドバンストスポーツ実習	2	2･3･4	
	情報の技能（領域H）	プログラミング基礎Ⅰ	2	2･3･4	
		プログラミング基礎Ⅱ	2	2･3･4	
		情報スキルⅡ	2	2･3･4	
		eラーニングの法的課題入門	2	2･3･4	
	キャリアの技能（領域I）	キャリアデザイン基礎	2	2･3･4	
		キャリアデザイン応用	2	3・4	
		仕事力基礎論	2	3・4	
		日本語文章作成演習	2	2･3･4	
		国際ビジネス入門A	2	2･3･4	

テーマ別科目	キャリアの技能（領域Ⅰ）	国際ビジネス入門B	2	2･3･4	
		感性ビジネスA －ファッション産業のフロンティア－	2	2･3･4	
		感性ビジネスB －ファッション産業のフロンティア－	2	2･3･4	
		感性ビジネスC －ファッション・ビジネス戦略論－	2	2･3･4	㈶ファッション産業人材育成機構（IFI）寄附講座
		感性ビジネスD －ファッション・ビジネス戦略論－	2	2･3･4	㈶ファッション産業人材育成機構（IFI）寄附講座
		パーソナル・マネー・マネジメント入門	2	2･3･4	三井生命寄附講座
		企業のモノづくりと人づくりのリテラシー	2	2･3･4	
		国際ビジネスと海外事情A	2	2･3･4	
		国際ビジネスと海外事情B	2	2･3･4	
		現代金融の諸問題	2	2･3･4	金融青山会寄附講座
		ファイナンシャルプランニング入門	2	2･3･4	㈱近代セールス社寄附講座
		ファイナンシャルプランニング基礎	2	2･3･4	㈱近代セールス社寄附講座
		囲碁で養うロジカルシンキング	2	2･3･4	公益財団法人日本棋院寄附講座
		ファッション流通ビジネス論	2	2･3･4	
		海外語学・文化研修Ⅰ	2	2･3･4	
		海外語学・文化研修Ⅱ	2	2･3･4	
		海外語学・文化研修Ⅲ	2	2･3･4	
		ビジネスコミュニケーション	2	2･3･4	
		世界遺産入門	2	2･3･4	NPO法人世界遺産アカデミー寄附講座

【３】 外国語科目履修方法および配置表

１．外国語科目について

⑴ 国際政治経済学部の外国語科目について

本学部の外国語科目は、A 群（英語）、B 群（英語以外の外国語）、C 群（言語とコミュニケーション）という 3 つの科目群より構成されます。

⑵ 外国語科目 A 群（英語）について

本学部の外国語科目 A 群の各 STREAM で定められた科目は必修科目であり、卒業するためには20単位を修得する必要があります。

外国語科目 A 群のカリキュラムは、3 種類の STREAM（「A STREAM」「B STREAM」「C STREAM」）から成り、それぞれが独立したカリキュラムです。オリエンテーション期間に実施するプレースメント・テストの成績により、どの STREAM に所属するかが決定します（Reading, Writing は除く）。なお、決定後の STREAM の変更はできません。

外国語科目 A 群の科目は、その年度に履修する科目が自動的に登録されます（再履修科目を除く）。

⑶ 外国語科目 B 群（英語以外の外国語）について

本学部の外国語科目 B 群の科目は、入学手続時に選択した第二外国語（フランス語、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語、日本語（外国人留学生のみ））を学習するものであり、必修科目です。卒業するためには、2 単位を修得する必要があります。

本学部の外国語科目 B 群の科目は、青山スタンダード科目（言葉の技能）第二外国語の必要単位（4 単位）を修得済みである者に履修が許可されます。

⑷ 外国語科目 C 群（言語とコミュニケーション）について

本学部の外国語科目 C 群の科目は、選択必修科目であり、卒業するためには 4 単位を修得する必要があります。

外国語科目 C 群は、「英語科目」「英語以外の外国語科目」「大学院国際コミュニケーション専攻国際コミュニケーション科目」から構成されます。

※青山スタンダード科目「インテンシブ・（第二外国語）」を本学部生が修得した場合、外国語科目 C 群の単位に算入されます。

2．A群（英語）科目履修方法

(1) A群（英語）科目の必要単位

必　　修（20単位）

A STREAM	B STREAM	C STREAM
Freshman year, 1st semester Current English Ⅰ Current English Ⅱ Reading Ⅰ Writing Ⅰ	Freshman year, 1st semester Current English Ⅲ Current English Ⅳ Reading Ⅰ Writing Ⅰ	Freshman year, 1st semester Media Literacy Internet English Public Speaking Presentations Reading Ⅰ Writing Ⅰ
Freshman year, 2nd semester Current English Ⅲ Current English Ⅳ Reading Ⅱ Writing Ⅱ	Freshman year, 2nd semester Media Literacy Internet English Public Speaking Presentations Reading Ⅱ Writing Ⅱ	Freshman year, 2nd semester Current Events Global Issues Debate Discussion Reading Ⅱ Writing Ⅱ
Sophomore year, 1st semester Media Literacy Internet English Reading Ⅲ Writing Ⅲ	Sophomore year, 1st semester Current Events Global Issues Reading Ⅲ Writing Ⅲ	Sophomore year, 1st semester Academic English Ⅰ English Seminar Ⅰ Reading Ⅲ Writing Ⅲ
Sophomore year, 2nd semester Public Speaking Presentations Reading Ⅳ Writing Ⅳ	Sophomore year, 2nd semester Debate Discussion Reading Ⅳ Writing Ⅳ	Sophomore year, 2nd semester Academic English Ⅱ English Seminar Ⅱ Reading Ⅳ Writing Ⅳ

注）オリエンテーション期間に行うプレースメントテストにより、STREAM別のカリキュラムとなります。STREAMは、「A STREAM」「B STREAM」「C STREAM」の3種類です。

(2) **他学部の第一外国語科目を履修することはできません。**

(3)　A 群（英語）科目配置表

（半期科目）

授　業　科　目	単位	履修年次	備　　考
Current English Ⅰ	2	1	
Current English Ⅱ	2	1	
Current English Ⅲ	2	1	
Current English Ⅳ	2	1	
Media Literacy	1	1・2	
Internet English	1	1・2	
Public Speaking	1	1・2	
Presentations	1	1・2	
Current Events	1	1・2	
Global Issues	1	1・2	
Debate	1	1・2	
Discussion	1	1・2	
Academic English Ⅰ	1	2	
Academic English Ⅱ	1	2	
English Seminar Ⅰ	1	2	
English Seminar Ⅱ	1	2	
Reading Ⅰ	1	1	
Reading Ⅱ	1	1	
Reading Ⅲ	1	2	
Reading Ⅳ	1	2	
Writing Ⅰ	1	1	
Writing Ⅱ	1	1	
Writing Ⅲ	1	2	
Writing Ⅳ	1	2	

3．B群（英語以外の外国語）科目履修方法

(1) B群（英語以外の外国語）科目の必要単位

必　　修（2単位）

フランス語　ⅡA−1（1単位）、ⅡA−2（1単位）
ドイツ語　ⅡA−1（1単位）、ⅡA−2（1単位）
スペイン語　ⅡA−1（1単位）、ⅡA−2（1単位）
中国語　ⅡA−1（1単位）、ⅡA−2（1単位）
ロシア語　ⅡA−1（1単位）、ⅡA−2（1単位）
韓国語　ⅡA−1（1単位）、ⅡA−2（1単位）
いずれか1カ国語必修

日本語　ⅡA−1（1単位）、ⅡA−2（1単位）＊外国人留学生用

(2) **B群科目は、入学時に学籍資料票により申請した外国語の科目を履修しなければなりません。申請以外の外国語の科目は卒業に必要な単位に算入されません。**

(3) B群科目の履修順序は次のとおりです。

①	②	③	④
	①を修得した場合のみ履修可	②を修得した場合のみ履修可	③を修得した場合のみ履修可
青山スタンダード科目 **フランス語** **ドイツ語** **スペイン語** **中国語** **ロシア語** **韓国語** **日本語** **Ⅰ(A)−1**	青山スタンダード科目 **フランス語** **ドイツ語** **スペイン語** **中国語** **ロシア語** **韓国語** **日本語** **Ⅰ(A)−2**	外国語科目B群 **フランス語** **ドイツ語** **スペイン語** **中国語** **ロシア語** **韓国語** **日本語** **ⅡA−1**	外国語科目B群 **フランス語** **ドイツ語** **スペイン語** **中国語** **ロシア語** **韓国語** **日本語** **ⅡA−2**
フランス語 **ドイツ語** **スペイン語** **中国語** **ロシア語** **韓国語** **日本語** **Ⅰ(B)−1**	**フランス語** **ドイツ語** **スペイン語** **中国語** **ロシア語** **韓国語** **日本語** **Ⅰ(B)−2**		

※上表①の単位が修得できない場合、②の科目の履修登録は自動的に削除されます。
　また③の単位が修得できない場合、④の科目の履修登録は自動的に削除されます。

(4) **他学部の第二外国語科目を履修することはできません。**

(5)　B 群（英語以外の外国語）科目配置表

（半期科目）

授　業　科　目	単位	履修年次	備　　考
フランス語　ⅡA−1	1	2	
フランス語　ⅡA−2	1	2	
ドイツ語　ⅡA−1	1	2	
ドイツ語　ⅡA−2	1	2	
スペイン語　ⅡA−1	1	2	
スペイン語　ⅡA−2	1	2	
中国語　ⅡA−1	1	2	
中国語　ⅡA−2	1	2	
ロシア語　ⅡA−1	1	2	
ロシア語　ⅡA−2	1	2	
韓国語　ⅡA−1	1	2	
韓国語　ⅡA−2	1	2	
日本語　ⅡA−1	1	2	外国人留学生用
日本語　ⅡA−2	1	2	外国人留学生用

4．C群（言語とコミュニケーション）科目履修方法

(1) C群（言語とコミュニケーション）科目の必要単位
選択必修（4単位）
C群で4単位を超えて修得した単位は、自由選択科目に算入されます。

(2) 英語および大学院国際コミュニケーション専攻国際コミュニケーション科目以外の外国語科目については、入学時に学籍資料票により申請した外国語の科目を履修しなければなりません。それ以外の外国語の科目は卒業に必要な単位に算入されません。

(3) 青山スタンダード科目「インテンシブ・(第二外国語)」の単位を本学部生が修得した場合、外国語科目C群の科目として、卒業要件単位に算入されます。(青山スタンダード科目として単位を算入することはできませんので注意してください。)

(4) C群科目の中で履修順序があるものは次のとおりです。

①	②	③	④
青山スタンダード科目(言葉の技能)第二外国語の必要単位(4単位)を修得した場合のみ履修可	①を修得した場合のみ履修可	②のうちⅡA-2を修得した場合のみ履修可	③を修得した場合のみ履修可
フランス語 **ドイツ語** **スペイン語** **中国語** **ロシア語** **韓国語** **日本語** } **ⅡA-1**	**フランス語** **ドイツ語** **スペイン語** **中国語** **ロシア語** **韓国語** **日本語** } **ⅡA-2**	フランス語 III(A)-1 III(B)-1 ドイツ語 スペイン語 中国語 ロシア語 韓国語 } III-1	フランス語 III(A)-2 III(B)-2 ドイツ語 スペイン語 中国語 ロシア語 韓国語 } III-2
フランス語 ドイツ語 スペイン語 中国語 ロシア語 韓国語 日本語 } IIB-1	フランス語 ドイツ語 スペイン語 中国語 ロシア語 韓国語 日本語 } IIB-2		

※上表①の単位が修得できない場合、②の履修登録は自動的に削除されます。(IIA-1の単位が修得できない場合はIIA-2が削除、IIB-1の単位が修得できない場合はIIB-2が削除)同様に③の単位が修得できない場合、④の履修登録が自動的に削除されます。

❶	❷	❸	❹
青山スタンダード科目（言葉の技能）第二外国語の必要単位（４単位）を修得した場合のみ履修可	❶を修得した場合のみ履修可	❷のうちⅡA－２または会話（Ⅰ）－２のいずれかを修得した場合に履修可	③を修得した場合のみ履修可
フランス語 **ドイツ語** **スペイン語** **中国語** **ロシア語** **韓国語** **日本語** } **ⅡA－１**	**フランス語** **ドイツ語** **スペイン語** **中国語** **ロシア語** **韓国語** **日本語** } **ⅡA－２**	フランス語 ドイツ語 スペイン語 中国語 ロシア語 韓国語 } 会話（II）－１	フランス語 ドイツ語 スペイン語 中国語 ロシア語 韓国語 } 会話（II）－２
フランス語 ドイツ語 スペイン語 中国語 ロシア語 韓国語 日本語 } 会話（Ⅰ）－１	フランス語 ドイツ語 スペイン語 中国語 ロシア語 韓国語 日本語 } 会話（Ⅰ）－２		
青山スタンダード科目インテンシブ・（第二外国語）(A)(B)(C)(D)－１	青山スタンダード科目インテンシブ・（第二外国語）(A)(B)(C)(D)－２		

※上表❶の単位が修得できない場合、❷の履修登録は自動的に削除されます。（ⅡA－１の単位が修得できない場合はⅡA－２が削除、会話（Ⅰ）－１の単位が修得できない場合は会話（Ⅰ）－２が削除）同様に❸の単位が修得できない場合、❹の履修登録が自動的に削除されます。

①	②
	①を履修し合格した場合のみ履修可 （４年次科目）
外国語科目 A群　20単位（必修） B群　２単位（必修）	大学院国際コミュニケーション専攻科目 言語科学 対照言語学 社会言語学 コミュニケーション論 国際コミュニケーション特講 文化と世界観 比較文化論＊ 比較文化特講 日中比較文化論 中国文化論 ユーラシア文化総論 ヨーロッパ文化論＊ ラテン・アメリカ文化論

(5)　**他学部の外国語科目を履修することはできません。**

⑹　C 群（言語とコミュニケーション）科目配置表

英語科目　（原則として、Ⅰ…前期科目　Ⅱ…後期科目）

授　業　科　目	単位	履修年次	備考および異名称同一の科目
通訳の理論と方法Ⅰ	2	3	通訳の理論と実践Ⅰ
通訳の理論と方法Ⅱ	2	3	通訳の理論と実践Ⅱ
翻訳の理論と方法Ⅰ	2	3	翻訳の理論と実践Ⅰ
翻訳の理論と方法Ⅱ	2	3	翻訳の理論と実践Ⅱ
英語レポート・論文作成Ⅰ	2	3	
英語レポート・論文作成Ⅱ	2	3	
国際ビジネス・コミュニケーションⅠ	2	3	国際ビジネス・コミュニケーション（Ⅰ）
国際ビジネス・コミュニケーションⅡ	2	3	国際ビジネス・コミュニケーション（Ⅱ）
社会とことばⅠ	2	3	社会言語学＊
社会とことばⅡ	2	3	社会言語学特講
言語の多様性と言語政策	2	3	多言語社会とコミュニケーション
認知とことばⅠ	2	3	英語発音の理論と演習Ⅰ
認知とことばⅡ	2	3	英語発音の理論と演習Ⅱ
Thesis Writing（Ⅰ）	2	3	
Thesis Writing（Ⅱ）	2	3	
日英語比較Ⅰ	2	3	認知言語学入門
日英語比較Ⅱ	2	3	言語形式と意味
ヨーロッパ文化論Ⅰ	2	3	ヨーロッパ文化総論Ⅰ
ヨーロッパ文化論Ⅱ	2	3	ヨーロッパ文化総論Ⅱ
異文化リテラシーⅠ	2	3	国際交渉論
異文化リテラシーⅡ	2	3	インターカルチュラル・リテラシー

注）上記の外国語科目 C 群において単位を修得した科目の異名称同一科目は履修することができません。また、上記の外国語科目 C 群において修得した科目の単位は、その科目の異名称同一科目の単位に振り替えることはできません。

英語以外の外国語科目　（半期科目）

授　業　科　目	単位	履修年次	備　　考
フランス語ⅡB-1	1	2	
フランス語ⅡB-2	1	2	
フランス語Ⅲ（A)-1	1	3	
フランス語Ⅲ（A)-2	1	3	
フランス語Ⅲ（B)-1	1	3	
フランス語Ⅲ（B)-2	1	3	
フランス語会話（Ⅰ)－1	1	2	
フランス語会話（Ⅰ)－2	1	2	
フランス語会話（Ⅱ)－1	1	3	
フランス語会話（Ⅱ)－2	1	3	
ドイツ語ⅡB-1	1	2	
ドイツ語ⅡB-2	1	2	
ドイツ語Ⅲ-1	1	3	
ドイツ語Ⅲ-2	1	3	
ドイツ語会話（Ⅰ)-1	1	2	
ドイツ語会話（Ⅰ)-2	1	2	
ドイツ語会話（Ⅱ)-1	1	3	
ドイツ語会話（Ⅱ)-2	1	3	
スペイン語ⅡB-1	1	2	
スペイン語ⅡB-2	1	2	
スペイン語Ⅲ-1	1	3	
スペイン語Ⅲ-2	1	3	
スペイン語会話（Ⅰ)-1	1	2	
スペイン語会話（Ⅰ)-2	1	2	
スペイン語会話（Ⅱ)-1	1	3	
スペイン語会話（Ⅱ)-2	1	3	
中国語ⅡB-1	1	2	
中国語ⅡB-2	1	2	
中国語Ⅲ-1	1	3	
中国語Ⅲ-2	1	3	
中国語会話（Ⅰ)-1	1	2	
中国語会話（Ⅰ)-2	1	2	
中国語会話（Ⅱ)-1	1	3	
中国語会話（Ⅱ)-2	1	3	
ロシア語ⅡB-1	1	2	
ロシア語ⅡB-2	1	2	
ロシア語Ⅲ-1	1	3	
ロシア語Ⅲ-2	1	3	
ロシア語会話（Ⅰ)-1	1	2	
ロシア語会話（Ⅰ)-2	1	2	

ロシア語会話（II）-１	1	3	
ロシア語会話（II）-２	1	3	
韓国語ⅡB-１	1	2	
韓国語ⅡB-２	1	2	
韓国語Ⅲ-１	1	3	
韓国語Ⅲ-２	1	3	
韓国語会話（Ⅰ）-１	1	2	
韓国語会話（Ⅰ）-２	1	2	
日本語ⅡB-１	1	3	外国人留学生用
日本語ⅡB-２	1	3	外国人留学生用
日本語（Ⅰ）A	1	3	交換留学生用
日本語（Ⅰ）B	1	3	交換留学生用
日本語（Ⅰ）C	1	3	交換留学生用
日本語（Ⅰ）D	1	3	交換留学生用
日本語（II）A	1	3	交換留学生用
日本語（II）B	1	3	交換留学生用
日本語（II）C	1	3	交換留学生用
日本語（II）D	1	3	交換留学生用
日本語（III）A	1	3	交換留学生用
日本語（III）B	1	3	交換留学生用
日本語（III）C	1	3	交換留学生用
日本語（III）D	1	3	交換留学生用
日本語（IV）A	1	3	交換留学生用
日本語（IV）B	1	3	交換留学生用
日本語（IV）C	1	3	交換留学生用
日本語（IV）D	1	3	交換留学生用
日本語（V）A	1	3	交換留学生用
日本語（V）B	1	3	交換留学生用
日本語（V）C	1	3	交換留学生用
日本語（V）D	1	3	交換留学生用

大学院国際コミュニケーション専攻国際コミュニケーション科目　（半期科目）

授　業　科　目	単位	履修年次	備　　考
言語科学	2	4	
対照言語学	2	4	
社会言語学	2	4	
コミュニケーション論	2	4	
国際コミュニケーション特講	2	4	
文化と世界観	2	4	
比較文化論＊	2	4	
比較文化特講	2	4	
日中比較文化論	2	4	
中国文化論	2	4	
ユーラシア文化総論	2	4	
ヨーロッパ文化論＊	2	4	
ラテン・アメリカ文化論	2	4	

【４】 学科・コース科目履修方法および配置表

１．学科科目の履修方法

(1) 学科科目について

本学部の学科科目は、**学科科目Ａ群**および**学科科目Ｂ群**から成り、その内容、すなわちカリキュラムは所属する学科および２年次以降に所属するコースによって異なります。

学科科目には「**必修科目**（学科科目Ａ群の一部）」「**選択必修科目**」があり、所属する学科・コースによって、指定されている科目のなかから指定単位数を修得することが卒業するために必要な条件として課せられています。

また、所属する学科・コースの学科科目配置表に無い本学部学科科目は、自由選択科目として履修することができます。（79ページ参照）

(2) コースについて

本学部生は、２年次以降、５コース（政治外交・安全保障コース、グローバル・ガバナンスコース、国際経済政策コース、国際ビジネスコース、国際コミュニケーションコース）のいずれか１コースに所属します。（所定の手続きを行わない場合、当該学生のコースは学務部教務課により決定します。）なお、決定後のコース変更はできませんので注意してください。

所属学科・コースによってカリキュラムが異なりますので、学科・コース別の学科科目配置表（41ページ以降）をもとに、本学部における学習計画を立ててください。なお、科目の配置は**２年次以降に所属するコースの科目配置**にもとづきます。

(3) 学科別　学科・コース科目および必要単位数一覧

◎国際政治学科

A群									B群
必修						選択必修		計	選択必修
全コース共通	**入門セミナーⅠ** **入門セミナーⅡ** **政治学原論Ⅰ** **政治学原論Ⅱ**	8	政治外交・安全保障コース		0		20	28	36
			グローバル・ガバナンスコース	**グローバル・ガバナンス概論Ⅰ** **グローバル・ガバナンス概論Ⅱ**	4		16		
			国際経済政策コース	**経済学入門（ミクロ）** **経済学入門（マクロ）**	6	必要単位のうち、以下の４科目の中から２科目（４単位）以上を含めること 国際政治学Ⅰ	14		
			国際ビジネスコース	**国際経済学入門**		国際政治学Ⅱ 国際政治経済学Ⅰ	14		
			国際コミュニケーションコース	**国際コミュニケーション総論Ⅰ** **国際コミュニケーション総論Ⅱ**	4	国際政治経済学Ⅱ	16		

◎国際経済学科

A群										B群
必修						選択必修		計		選択必修
全コース共通	入門セミナーⅠ 入門セミナーⅡ 経済学入門（ミクロ） 経済学入門（マクロ） 国際経済学入門	10	政治外交・安全保障コース	政治学原論Ⅰ 政治学原論Ⅱ	4	必要単位のうち以下の2科目の中から1科目（2単位）以上を含めること 国際経済政策入門 国際ビジネス入門	14	28	36
			グローバル・ガバナンスコース	グローバル・ガバナンス概論Ⅰ グローバル・ガバナンス概論Ⅱ 政治学原論Ⅰ 政治学原論Ⅱ	8		10		
			国際経済政策コース		0		18		
			国際ビジネスコース		0		18		
			国際コミュニケーションコース	国際コミュニケーション総論Ⅰ 国際コミュニケーション総論Ⅱ	4	必要単位のうち、以下の2科目の中から1科目（2単位）以上を含めること 国際経済政策入門 国際ビジネス入門	14		

◎国際コミュニケーション学科

A群										B群
必修						選択必修		計		選択必修
全コース共通	入門セミナーⅠ 入門セミナーⅡ 国際コミュニケーション総論Ⅰ 国際コミュニケーション総論Ⅱ	8	政治外交・安全保障コース	政治学原論Ⅰ 政治学原論Ⅱ	4	必要単位のうち以下の6科目の中から2科目（4単位）以上を含めること コミュニケーション論Ⅰ コミュニケーション論Ⅱ 比較文化概論Ⅰ 比較文化概論Ⅱ 言語科学概論Ⅰ 言語科学概論Ⅱ	16	28	36
			グローバル・ガバナンスコース	グローバル・ガバナンス概論Ⅰ グローバル・ガバナンス概論Ⅱ 政治学原論Ⅰ 政治学原論Ⅱ	8		12		
			国際経済政策コース	経済学入門（ミクロ） 経済学入門（マクロ） 国際経済学入門	6		14		
			国際ビジネスコース				14		
			国際コミュニケーションコース		0		20		

(4)　学科科目の履修順序

以下の表にある科目は、履修する順序が定められています。

学科・コース名	①	②	③
	（3年次前期配置科目）	①を履修し合格した場合のみ履修可（3年次後期配置科目）	②を履修し合格した場合のみ履修可（4年次配置科目）
全学科・コース共通	演習ＩＡ	演習ＩＢ	演習II

(5)　演習の履修について

【「演習ＩＡ」「演習ＩＢ」】

①　演習は、受講する前年度に選考を受け、合格した場合に履修することができます。

②　「演習ＩＡ」、「演習ＩＢ」は同一教員とします。

③　3年次履修の「演習ＩＡ」「演習ＩＢ」（半期科目、各4単位）は、全学科･全コースとも学科科目Ｂ群の科目です。

④　「演習ＩＡ」、「演習ＩＢ」の選考申込･選考方法等は、例年後期に配布する「AGU SEMINAR GUIDE」に掲載されます。内容を確認のうえ、期日までに申込みをしてください。

⑤　「演習ＩＡ」「演習ＩＢ」は選考の合格により、自動的に履修登録されます。また、「演習ＩＡ」の単位が修得できない場合、「演習ＩＢ」の科目の履修登録は自動的に削除されます。翌年度、再度「演習ＩＡ」の履修を希望する場合は改めて選考を受ける必要があります。なお、**選考合格後に休学をした場合**、履修登録は自動的には行なわれませんので、履修を希望する場合は事前に学務部教務課で相談してください。

【「演習II」】

⑥　4年次履修の「演習II」（通年科目、4単位）は、全学科･全コースともに学科科目Ｂ群の科目です。

⑦　**「演習Ⅱ」を履修する場合は、4月の履修登録期間中に、各自で履修登録してください。**（単位を修得した「演習ＩＢ」）と担当者が同一である場合に限ります）

⑧　「演習II」の担当者変更を希望する場合は、学務部教務課窓口にて「演習II担当者変更申込要項」と「演習II担当者変更届」を受取り、手続きしてください。（「演習II」受講者を新規募集する担当者への変更に限ります）

(6)　下記学科科目の履修について

①　「プリゼミ」は2回まで履修することができる2年生のみの科目です。卒業に必要な単位の学科科目Ａ群科目として算入されるのは、2回履修分の4単位までです。ただし、同一教員の「プリゼミ」を2回履修することはできません。

②　「特別講座」は2回まで履修することができる科目です。

③　「特講（アジア地域統合を考える）」は2回まで履修することができる科目です。

④　「国際政治学特殊講義Ｖ」「国際経済学特殊講義Ｖ」「異文化コミュニケーション特殊講義Ｉ」「異文化コミュニケーション特殊講義II」は、複数回履修することができ、すべて卒業に必要な単位として算入されます。

⑤　「国連研究II」は、国連大学グローバル･セミナーに参加（個人参加、費用は個人負担）し、修了証を修得した者のみが、所定の手続きをして後期履修変更期間に履修登録を行なえます。詳細については、学務部教務課に問い合わせてください。

⑺　集中講義の履修について

下記科目は集中講義にて授業を行います。

履修登録に際しては授業時間割の各学部注意事項を参照してください。

授　業　科　目	単位	履修年次	備　　考
国連研究Ⅰ	2	3・4	夏期集中講義
国際政治学特殊講義Ⅴ	2	1～4	夏期集中講義
国際経済学特殊講義Ⅴ	2	1～4	
異文化コミュニケーション特殊講義Ⅰ	2	3・4	夏期集中講義
異文化コミュニケーション特殊講義Ⅱ	2	3・4	

⑻　海外短期研修制度について

国際政治経済学部では、毎年いくつかの海外短期研修を実施しています。参加した者が、一定の条件を満たすことにより、単位を修得することが可能な海外短期研修もあります。ただし、卒業に必要な単位として認められるのは２回の参加までです。海外短期研修制度のプログラム、募集日程、研修期間の詳細については、学務部教務課に問い合わせてください。

⑼　インターンシップ制度について

公益団体や民間企業など社会の現場で実務に携わることで国際政治経済学への関心を高めることを目的にインターンシップの機会を提供しています。インターンシップの期間は原則として夏期休暇期間中（８月～９月）あるいは春期休暇期間中（２月～３月）です。

学部提供のインターンシップについては学部内の選考面接を、個人開拓のインターンシップについては単位認定対象のインターンシップとして適当かどうか審査するための面接を行なった後に、面接合格者がインターンシップ活動に参加し、インターンシップ期間の終了後、活動レポート、インターンシップ先による評価とインターンシップ単位認定面接の総合評価により単位を修得することができます。

修得できる科目は以下のとおりです。

授　業　科　目	単位	履修年次	備　　考
インターンシップ	2	1～3	全学科　学科科目Ｂ群

インターンシップへの参加を希望する学生は、募集期間にあわせて実施するガイダンスに必ず出席してください。インターンシップの履修登録と成績評価についての説明もこのガイダンスで行います。

詳細については、学務部教務課に問い合わせてください。

⑽　他学部学科科目・専門教育科目の履修について

他学部の学科科目・専門教育科目の単位を修得した場合、自由選択科目の単位に算入されます。履修については、他学部科目一覧表（80ページ）を参照してください。

注１）他学部の学科科目・専門教育科目を履修する場合は、その学部で制限を設けていない科目に限ります。

注２）本学部に同一名称・異名称同一科目がある他学部学科科目・専門教育科目の履修は認めません。

⑾　社会調査士の資格について

この資格は、国際コミュニケーション・コース学科科目の５科目（科目の詳細は学務部教務課窓口で必ず確認してください。）、「コミュニケーション研究法の全体像」、「アンケー

ト・社会調査の方法」、「コンピュータによる調査データの解析」、「コミュニケーションの量的分析法Ⅰ」、「コミュニケーションの量的分析法Ⅱ」、「コミュニケーションの質的分析法Ⅰ」、「コミュニケーションの質的分析法Ⅱ」、（最後の３科目はいずれか１科目を選択）の単位を修得し、さらに実証系の演習に２年間所属してグループ調査の方法を学ぶことによって修得できます。

さらに、大学院に入学して所定の科目を修得すれば、上級の「専門社会調査士」の資格が取得できます。

⑿　大学院進学予定者の大学院科目特別履修について

国際政治経済学研究科進学を目指す本学部の学業成績優秀な４年次生に対して、早期研究機会の提供を図るために、条件を満たした学生に大学院科目の特別履修を認めます。

詳細については、学務部教務課へ問い合わせてください。

⒀　他学部学生の本学部学科科目の履修について

本学部の学科科目のうちＢ群科目の履修を他学部学生に認めます。履修の際は人数制限をしている科目がありますので、「学生ポータル」を参照し確認してください。

なお、Ｂ群科目中、以下の科目は履修できません。また、所属学部に同一名称または異名称同一科目がある本学部学科科目の履修もできません。

「外国書（フランス語）講読Ⅰ・Ⅱ」
「外国書（ドイツ語）講読Ⅰ・Ⅱ」
「外国書（スペイン語）講読Ⅰ・Ⅱ」
「外国書（中国語）講読Ⅰ・Ⅱ」
「外国書（ロシア語）講読Ⅰ・Ⅱ」
「国際政治学特殊講義Ⅲ」
「国際経済学特殊講義Ⅲ」
「インターンシップ」
「経営情報Ⅰ・Ⅱ」
「演習ⅠＡ・ⅠＢ」
「演習Ⅱ」
「通訳の理論と実践Ⅰ・Ⅱ」
「翻訳の理論と実践Ⅰ・Ⅱ」
「国際ビジネス・コミュニケーション（Ⅰ）・（Ⅱ）」
「言語の普遍性」
「パブリック・リレーションズ」
「広告コミュニケーション論」
「国際取引法」
「インターネットと法＊」
「紛争解決と法」
「インターカルチュラル・コミュニケーション」
「国際コミュニケーション特殊講義（海外研修）」
「異文化コミュニケーション特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
「コンピュータによる調査データの解析」
「コミュニケーション研究法の全体像」
「アンケート・社会調査の方法」
「イギリス文化論」
「文化とコミュニケーションⅠ・Ⅱ」
「国連研究Ⅱ」
「民法概論Ⅰ・Ⅱ」

「国際私法Ⅰ・Ⅱ」
「日本経済と証券ビジネス」
「情報と組織の経済学Ⅰ」
「財政論Ⅰ・Ⅱ」
「簿記論ⅠA・ⅠB」
「簿記論ⅡA・ⅡB」

２．全学科共通
（１年次）科目配置表

（太字は必修科目）

全学科共通（１年次）科目配置表　　（原則として、Ⅰ…前期科目　Ⅱ…後期科目）

授　業　科　目	単位	備　　考
入門セミナーⅠ	2	全学科必修
入門セミナーⅡ	2	全学科必修
政治学原論Ⅰ	2	国際政治学科のみ必修
政治学原論Ⅱ	2	国際政治学科のみ必修
経済学入門（ミクロ）	2	国際経済学科のみ必修
経済学入門（マクロ）	2	国際経済学科のみ必修
国際経済学入門	2	国際経済学科のみ必修
国際コミュニケーション総論Ⅰ	2	国際コミュニケーション学科のみ必修
国際コミュニケーション総論Ⅱ	2	国際コミュニケーション学科のみ必修
政治過程論Ⅰ	2	
政治過程論Ⅱ	2	
憲法と政治制度Ⅰ	2	
憲法と政治制度Ⅱ	2	
開発経済学入門Ⅰ	2	
開発経済学入門Ⅱ	2	
国際経済政策入門	2	
国際ビジネス入門	2	
情報と組織の経済学Ⅰ	2	
社会科学のための統計学入門Ⅰ	2	
社会科学のための統計学入門Ⅱ	2	
社会科学のための数学入門Ⅰ	2	
社会科学のための数学入門Ⅱ	2	
経済発展史	2	
日本経済	2	
コミュニケーション論Ⅰ	2	
政治学方法論Ⅰ	2	
政治学方法論Ⅱ	2	
アジア圏概論Ⅰ	2	
アジア圏概論Ⅱ	2	
ヨーロッパ圏概論Ⅰ	2	
ヨーロッパ圏概論Ⅱ	2	
中東アフリカ圏概論Ⅰ	2	
中東アフリカ圏概論Ⅱ	2	
米洲圏概論Ⅰ	2	
米洲圏概論Ⅱ	2	
環太平洋圏概論Ⅰ	2	
環太平洋圏概論Ⅱ	2	
経済情報入門＊	2	
簿記論Ⅰ Ａ	2	
簿記論Ⅰ Ｂ	2	
国際政治学特殊講義Ⅰ＊	2	「読売新聞社寄附講座」　世界最前線
国際政治学特殊講義Ⅱ＊	2	
国際政治学特殊講義Ⅲ	2	海外短期研修
インターンシップ	2	履修年次は１～３　36ページ参照
国際政治学特殊講義Ⅴ	2	集中講義
国際経済学特殊講義Ⅲ	2	海外短期研修
国際経済学特殊講義Ⅴ	2	
国際コミュニケーション特殊講義（海外研修）	2	海外短期研修
特講（アジア地域統合を考える）	2	「ワンアジア財団寄附講座」

※２年次より所属するコースによって、必修科目や科目区分（**学科科目Ａ群、学科科目Ｂ群、自由選択科目**）が異なります。各自、次頁以降の各学科コース別科目配置表を参照し、履修計画を立

ててください。なお、Web 履修登録画面の「単位修得後結果情報」等では便宜的に、国際政治学科は「政治外交・安全保障コース」、国際経済学科は「国際経済政策コース」、国際コミュニケーション学科は「国際コミュニケーションコース」の科目区分にもとづく情報が表示されますが、あくまで参考としてください。

3．国際政治学科 科目配置表

(1) 政治外交・安全保障コース

国際政治学科　　（太字は必修科目）

政治外交・安全保障コース科目配置表　　（原則として、Ⅰ…前期科目　Ⅱ…後期科目）

区分	授業科目	単位	履修年次	備考 ※は異名称同一科目
A群	**入門セミナーⅠ**	2	1	
	入門セミナーⅡ	2	1	
	政治学原論Ⅰ	2	1	
	政治学原論Ⅱ	2	1	
	政治過程論Ⅰ	2	1	
	政治過程論Ⅱ	2	1	
	憲法と政治制度Ⅰ	2	1	
	憲法と政治制度Ⅱ	2	1	
	国際法ⅠA	2	2	※紛争解決と法
	国際法ⅠB	2	2	
	国際政治学Ⅰ	2	2	
	国際政治学Ⅱ	2	2	
	国際政治経済学Ⅰ	2	2	
	国際政治経済学Ⅱ	2	2	
	開発経済学入門Ⅰ	2	1	
	開発経済学入門Ⅱ	2	1	
	経済学入門（ミクロ）	2	1	
	経済学入門（マクロ）	2	1	
	国際経済学入門	2	1	
	国際コミュニケーション総論Ⅰ	2	1	
	国際コミュニケーション総論Ⅱ	2	1	
	プリゼミ	2	2のみ	
B群	政治学方法論Ⅰ	2	1	
	政治学方法論Ⅱ	2	1	
	アジア圏概論Ⅰ	2	1	
	アジア圏概論Ⅱ	2	1	
	ヨーロッパ圏概論Ⅰ	2	1	
	ヨーロッパ圏概論Ⅱ	2	1	
	中東アフリカ圏概論Ⅰ	2	1	
	中東アフリカ圏概論Ⅱ	2	1	
	米洲圏概論Ⅰ	2	1	
	米洲圏概論Ⅱ	2	1	
	環太平洋圏概論Ⅰ	2	1	
	環太平洋圏概論Ⅱ	2	1	
	政治思想史Ⅰ	2	3	
	政治思想史Ⅱ	2	3	
	国際関係史Ⅰ	2	3	
	国際関係史Ⅱ	2	3	
	国際法ⅡA	2	3	
	国際法ⅡB	2	3	
	国際私法Ⅰ	2	3	
	国際私法Ⅱ	2	3	
	国際経済法Ⅰ	2	3	
	国際経済法Ⅱ	2	3	
	朝鮮半島の国際政治論Ⅰ	2	3	
	朝鮮半島の国際政治論Ⅱ	2	3	
	外交史Ⅰ	2	3	
	外交史Ⅱ	2	3	
	日本政治論Ⅰ	2	3	

B群	日本政治論II	2	3	
	日本外交論Ⅰ	2	3	
	日本外交論II	2	3	
	日本の外交・安全保障政策	2	3	
	日本の平和と安全保障	2	3	
	日本の環境政策	2	3	
	国際機構論Ⅰ	2	3	
	国際機構論II	2	3	
	比較政治論Ⅰ	2	3	
	比較政治論II	2	3	
	国際安全保障論Ⅰ	2	3	
	国際安全保障論II	2	3	
	戦略論Ⅰ	2	3	
	戦略論II	2	3	
	比較文化論Ⅰ	2	3	
	比較文化論II	2	3	
	国際政治理論Ⅰ	2	3	
	国際政治理論II	2	3	
	マスメディアと国際政治Ⅰ	2	3	
	マスメディアと国際政治II	2	3	
	メディア論Ⅰ	2	3	
	メディア論II	2	3	
	国連研究Ⅰ	2	3	集中講義
	国連研究II	2	3	35ページ参照
	アジア政治論Ⅰ	2	3	
	アジア政治論II	2	3	
	アジア太平洋政治論Ⅰ	2	3	
	アジア太平洋政治論II	2	3	
	ロシア・中央アジア政治論Ⅰ	2	3	
	ロシア・中央アジア政治論II	2	3	
	ヨーロッパ政治論Ⅰ	2	3	
	ヨーロッパ政治論II	2	3	
	アメリカ政治論Ⅰ	2	3	
	アメリカ政治論II	2	3	
	地域研究（アジア経済）Ⅰ	2	3	
	地域研究（アジア経済）II	2	3	
	地域研究（EU 経済）	2	3	
	地域研究（アメリカ経済）	2	3	
	開発経済学Ⅰ	2	3	
	開発経済学II	2	3	
	民法概論Ⅰ	2	3	
	民法概論II	2	3	
	経済情報入門＊	2	1	
	国際政治学特殊講義Ⅰ＊	2	1	「読売新聞社寄附講座」世界最前線
	国際政治学特殊講義II＊	2	1	
	国際政治学特殊講義III	2	1	海外短期研修
	インターンシップ	2	1～3	36ページ参照
	国際政治学特殊講義V	2	1	集中講義
	近現代・日本の政治Ⅰ	2	2	
	近現代・日本の政治II	2	2	
	特講（アジア地域統合を考える）	2	1	「ワンアジア財団寄附講座」
	特別講座	2	3	国際交流のエキスパートを目指して
	外国書（フランス語）講読Ⅰ	2	3	
	外国書（フランス語）講読II	2	3	
	外国書（ドイツ語）講読Ⅰ	2	3	
	外国書（ドイツ語）講読II	2	3	

	外国書（スペイン語）講読Ⅰ	2	3	
	外国書（スペイン語）講読Ⅱ	2	3	
	外国書（中国語）講読Ⅰ	2	3	
	外国書（中国語）講読Ⅱ	2	3	
	外国書（ロシア語）講読Ⅰ	2	3	
	外国書（ロシア語）講読Ⅱ	2	3	
	演習ⅠＡ	4	3	
	演習ⅠＢ	4	3	
	演習Ⅱ	4	4	通年

(2) グローバル・ガバナンスコース

国際政治学科　（太字は必修科目）

グローバル・ガバナンスコース科目配置表（原則として、Ⅰ…前期科目　Ⅱ…後期科目）

区分	授業科目	単位	履修年次	備考 ※は異名称同一科目
A群	**入門セミナーⅠ**	2	1	
	入門セミナーⅡ	2	1	
	政治学原論Ⅰ	2	1	
	政治学原論Ⅱ	2	1	
	グローバル・ガバナンス概論Ⅰ	2	2	
	グローバル・ガバナンス概論Ⅱ	2	2	
	国際政治学Ⅰ	2	2	
	国際政治学Ⅱ	2	2	
	憲法と政治制度Ⅰ	2	1	
	憲法と政治制度Ⅱ	2	1	
	国際法ⅠA	2	2	※紛争解決と法
	国際法ⅠB	2	2	
	国際政治経済学Ⅰ	2	2	
	国際政治経済学Ⅱ	2	2	
	経済学入門（ミクロ）	2	1	
	経済学入門（マクロ）	2	1	
	国際経済学入門	2	1	
	開発経済学入門Ⅰ	2	1	
	開発経済学入門Ⅱ	2	1	
	国際コミュニケーション総論Ⅰ	2	1	
	国際コミュニケーション総論Ⅱ	2	1	
	プリゼミ	2	2のみ	
B群	アジア圏概論Ⅰ	2	1	
	アジア圏概論Ⅱ	2	1	
	ヨーロッパ圏概論Ⅰ	2	1	
	ヨーロッパ圏概論Ⅱ	2	1	
	中東アフリカ圏概論Ⅰ	2	1	
	中東アフリカ圏概論Ⅱ	2	1	
	米洲圏概論Ⅰ	2	1	
	米洲圏概論Ⅱ	2	1	
	環太平洋圏概論Ⅰ	2	1	
	環太平洋圏概論Ⅱ	2	1	
	国際制度論Ⅰ	2	3	
	国際制度論Ⅱ	2	3	
	国連研究Ⅰ	2	3	集中講義
	国連研究Ⅱ	2	3	35ページ参照
	日本の外交・安全保障政策	2	3	
	日本の平和と安全保障	2	3	
	日本の環境政策	2	3	
	国際機構論Ⅰ	2	3	
	国際機構論Ⅱ	2	3	
	国際平和協力論Ⅰ	2	3	
	国際平和協力論Ⅱ	2	3	
	戦略論Ⅰ	2	3	
	戦略論Ⅱ	2	3	
	国際環境論Ⅰ	2	3	
	国際環境論Ⅱ	2	3	
	国際行政論Ⅰ	2	3	
	国際行政論Ⅱ	2	3	

B群	国際 NGO 論Ⅰ	2	3	
	国際 NGO 論Ⅱ	2	3	
	国際金融Ⅰ	2	3	
	国際金融Ⅱ	2	3	
	国際法Ⅱ A	2	3	
	国際法Ⅱ B	2	3	
	国際私法Ⅰ	2	3	
	国際私法Ⅱ	2	3	
	国際経済法Ⅰ	2	3	
	国際経済法Ⅱ	2	3	
	朝鮮半島の国際政治論Ⅰ	2	3	
	朝鮮半島の国際政治論Ⅱ	2	3	
	国際関係史Ⅰ	2	3	
	国際関係史Ⅱ	2	3	
	外交史Ⅰ	2	3	
	外交史Ⅱ	2	3	
	国際安全保障論Ⅰ	2	3	
	国際安全保障論Ⅱ	2	3	
	民法概論Ⅰ	2	3	
	民法概論Ⅱ	2	3	
	経済情報入門＊	2	1	
	金融Ⅰ	2	2	
	金融Ⅱ	2	2	
	開発経済学Ⅰ	2	3	
	開発経済学Ⅱ	2	3	
	国際政治学特殊講義Ⅲ	2	1	海外短期研修
	国際政治学特殊講義Ⅴ	2	1	集中講義
	近現代・日本の政治Ⅰ	2	2	
	近現代・日本の政治Ⅱ	2	2	
	特講（アジア地域統合を考える）	2	1	「ワンアジア財団寄附講座」
	特別講座	2	3	国際交流のエキスパートを目指して
	インターンシップ	2	1～3	36ページ参照
	外国書（フランス語）講読Ⅰ	2	3	
	外国書（フランス語）講読Ⅱ	2	3	
	外国書（ドイツ語）講読Ⅰ	2	3	
	外国書（ドイツ語）講読Ⅱ	2	3	
	外国書（スペイン語）講読Ⅰ	2	3	
	外国書（スペイン語）講読Ⅱ	2	3	
	外国書（中国語）講読Ⅰ	2	3	
	外国書（中国語）講読Ⅱ	2	3	
	外国書（ロシア語）講読Ⅰ	2	3	
	外国書（ロシア語）講読Ⅱ	2	3	
	演習Ⅰ A	4	3	
	演習Ⅰ B	4	3	
	演習Ⅱ	4	4	通年

(3) 国際経済政策コース

国際政治学科　　（太字は必修科目）

国際経済政策コース科目配置表　　（原則として、Ⅰ…前期科目　Ⅱ…後期科目）

区分	授業科目	単位	履修年次	備考
A群	**入門セミナーⅠ**	2	1	
	入門セミナーⅡ	2	1	
	経済学入門（ミクロ）	2	1	
	経済学入門（マクロ）	2	1	
	国際経済学入門	2	1	
	政治学原論Ⅰ	2	1	
	政治学原論Ⅱ	2	1	
	国際政治学Ⅰ（注１）	2	2	
	国際政治学Ⅱ（注１）	2	2	
	国際政治経済学Ⅰ（注１）	2	2	
	国際政治経済学Ⅱ（注１）	2	2	
	国際経済政策入門	2	1	
	国際ビジネス入門	2	1	
	開発経済学入門Ⅰ	2	1	
	開発経済学入門Ⅱ	2	1	
	情報と組織の経済学Ⅰ	2	1	
	社会科学のための統計学入門Ⅰ	2	1	
	社会科学のための統計学入門Ⅱ	2	1	
	社会科学のための数学入門Ⅰ	2	1	
	社会科学のための数学入門Ⅱ	2	1	
	経済発展史	2	1	
	日本経済	2	1	
	ミクロ経済学Ⅰ	2	2	
	ミクロ経済学Ⅱ	2	2	
	マクロ経済学Ⅰ	2	2	
	マクロ経済学Ⅱ	2	2	
	金融Ⅰ	2	2	
	金融Ⅱ	2	2	
	プリゼミ	2	２のみ	
	国際コミュニケーション総論Ⅰ	2	1	
	国際コミュニケーション総論Ⅱ	2	1	
B群	経済情報入門＊	2	1	
	アジア圏概論Ⅰ	2	1	
	アジア圏概論Ⅱ	2	1	
	ヨーロッパ圏概論Ⅰ	2	1	
	ヨーロッパ圏概論Ⅱ	2	1	
	中東アフリカ圏概論Ⅰ	2	1	
	中東アフリカ圏概論Ⅱ	2	1	
	米洲圏概論Ⅰ	2	1	
	米洲圏概論Ⅱ	2	1	
	環太平洋圏概論Ⅰ	2	1	
	環太平洋圏概論Ⅱ	2	1	
	簿記論ⅠA	2	1	
	簿記論ⅠB	2	1	
	簿記論ⅡA	2	3	
	簿記論ⅡB	2	3	
	国際経済A	2	3	
	国際経済B	2	3	
	開発経済学Ⅰ	2	3	

B	開発経済学II	2	3	
群	国際貿易Ⅰ	2	3	
	国際貿易II	2	3	
	国際開発政策	2	3	
	国際金融Ⅰ	2	3	
	国際金融II	2	3	
	開発金融	2	3	
	中国経済Ⅰ	2	3	
	中国経済II	2	3	
	国際経済政策論Ⅰ	2	3	
	国際経済政策論II	2	3	
	国際環境経済学Ⅰ	2	3	
	国際環境経済学II	2	3	
	ゲーム理論Ⅰ	2	3	
	ゲーム理論II	2	3	
	ミクロ経済学中級Ⅰ	2	3	
	ミクロ経済学中級II	2	3	
	マクロ経済学中級Ⅰ	2	3	
	マクロ経済学中級II	2	3	
	統計分析演習Ⅰ	2	3	
	統計分析演習II	2	3	
	計量経済学Ⅰ	2	3	
	計量経済学II	2	3	
	平和経済学Ⅰ	2	3	
	平和経済学II	2	3	
	国際産業論Ⅰ	2	3	
	国際産業論II	2	3	
	ビジネス・エコノミクス	2	3	
	多国籍企業論Ⅰ	2	3	
	多国籍企業論II	2	3	
	国際労働経済学Ⅰ	2	3	
	国際労働経済学II	2	3	
	財政論Ⅰ	2	3	
	財政論II	2	3	
	現代銀行論	2	3	「㈱三菱東京 UFJ 銀行寄附講座」
	日本経済と証券ビジネス	2	3	「野村證券㈱寄附講座」
	国際制度論Ⅰ	2	3	
	国際制度論II	2	3	
	国際行政論Ⅰ	2	3	
	国際行政論II	2	3	
	国際経済法Ⅰ	2	3	
	国際経済法II	2	3	
	地域研究（アジア経済）Ⅰ	2	3	
	地域研究（アジア経済）II	2	3	
	地域研究（EU 経済）	2	3	
	地域研究（アメリカ経済）	2	3	
	国際経済学特殊講義Ⅰ	2	3	
	国際経済学特殊講義II	2	3	
	国際経済学特殊講義III	2	1	海外短期研修
	インターンシップ	2	1～3	36ページ参照
	国際経済学特殊講義Ⅴ	2	1	
	国際経済学特殊講義Ⅵ	2	3	
	国際経済学特殊講義Ⅶ	2	3	
	特講（アジア地域統合を考える）	2	1	「ワンアジア財団寄附講座」
	特別講座	2	3	国際交流のエキスパートを目指して
	演習ⅠA	4	3	

	演習Ⅰ B	4	3	
	演習Ⅱ	4	4	通年

（注１） 学科科目Ａ群科目として**「国際政治学Ⅰ」「国際政治学Ⅱ」「国際政治経済学Ⅰ」「国際政治経済学Ⅱ」**の４科目から**２科目（４単位）**以上選択し、修得すること。なお、修得した単位は、他の学科科目Ａ群の科目と同じ扱いになります。

(4) 国際ビジネスコース

国際政治学科　　（太字は必修科目）

国際ビジネスコース科目配置表　　（原則として、Ⅰ…前期科目　Ⅱ…後期科目）

区分	授業科目	単位	履修年次	備考 ※は異名称同一科目
A群	**入門セミナーⅠ**	2	1	
	入門セミナーⅡ	2	1	
	経済学入門（ミクロ）	2	1	
	経済学入門（マクロ）	2	1	
	国際経済学入門	2	1	
	政治学原論Ⅰ	2	1	
	政治学原論Ⅱ	2	1	
	国際政治学Ⅰ（注２）	2	2	
	国際政治学Ⅱ（注２）	2	2	
	国際政治経済学Ⅰ（注２）	2	2	
	国際政治経済学Ⅱ（注２）	2	2	
	国際経済政策入門	2	1	
	国際ビジネス入門	2	1	
	ビジネス・マネジメントⅠ	2	1	
	ビジネス・マネジメントⅡ	2	1	
	情報と組織の経済学Ⅰ	2	1	
	社会科学のための統計学入門Ⅰ	2	1	
	社会科学のための統計学入門Ⅱ	2	1	
	社会科学のための数学入門Ⅰ	2	1	
	社会科学のための数学入門Ⅱ	2	1	
	経済発展史	2	1	
	日本経済	2	1	
	ミクロ経済学Ⅰ	2	2	
	ミクロ経済学Ⅱ	2	2	
	マクロ経済学Ⅰ	2	2	
	マクロ経済学Ⅱ	2	2	
	金融Ⅰ	2	2	
	金融Ⅱ	2	2	
	プリゼミ	2	２のみ	
	国際コミュニケーション総論Ⅰ	2	1	
	国際コミュニケーション総論Ⅱ	2	1	
B群	経済情報入門＊	2	1	
	アジア圏概論Ⅰ	2	1	
	アジア圏概論Ⅱ	2	1	
	ヨーロッパ圏概論Ⅰ	2	1	
	ヨーロッパ圏概論Ⅱ	2	1	
	中東アフリカ圏概論Ⅰ	2	1	
	中東アフリカ圏概論Ⅱ	2	1	
	米洲圏概論Ⅰ	2	1	
	米洲圏概論Ⅱ	2	1	
	環太平洋圏概論Ⅰ	2	1	
	環太平洋圏概論Ⅱ	2	1	
	簿記論Ⅰ A	2	1	
	簿記論Ⅰ B	2	1	
	簿記論Ⅱ A	2	3	
	簿記論Ⅱ B	2	3	
	国際経済 A	2	3	
	国際経済 B	2	3	
	国際貿易Ⅰ	2	3	

B	国際貿易II	2	3	
群	国際金融Ⅰ	2	3	
	国際金融II	2	3	
	中国経済Ⅰ	2	3	
	中国経済II	2	3	
	ゲーム理論Ⅰ	2	3	
	ゲーム理論II	2	3	
	ミクロ経済学中級Ⅰ	2	3	
	ミクロ経済学中級II	2	3	
	マクロ経済学中級Ⅰ	2	3	
	マクロ経済学中級II	2	3	
	計量経済学Ⅰ	2	3	
	計量経済学II	2	3	
	国際産業論Ⅰ	2	3	
	国際産業論II	2	3	
	ビジネス・エコノミクス	2	3	
	多国籍企業論Ⅰ	2	3	
	多国籍企業論II	2	3	
	国際労働経済学Ⅰ	2	3	
	国際労働経済学II	2	3	
	財務会計論Ⅰ	2	3	
	財務会計論II	2	3	
	管理会計論Ⅰ	2	3	
	管理会計論II	2	3	
	国際会計（Ⅰ）	2	3	
	国際会計（II）	2	3	
	国際マーケティング論Ⅰ	2	3	
	国際マーケティング論II	2	3	
	コーポレートファイナンスⅠ	2	3	
	コーポレートファイナンスII	2	3	
	グローバル経営論Ⅰ	2	3	
	グローバル経営論II	2	3	
	マーケットとファイナンスⅠ	2	3	
	マーケットとファイナンスII	2	3	
	経営情報Ⅰ	2	3	
	経営情報II	2	3	
	現代銀行論	2	3	「㈱三菱東京 UFJ 銀行寄附講座」
	日本経済と証券ビジネス	2	3	「野村證券㈱寄附講座」
	証券の基礎と資産選択入門	2	3	「日興フィナンシャル･インテリジェンス㈱寄附講座」
	パブリック・リレーションズ	2	3	
	広告コミュニケーション論	2	3	
	インターカルチュラル･コミュニケーション	2	3	
	国際ビジネス･コミュニケーション（Ⅰ）	2	3	※国際ビジネス･コミュニケーションⅠ
	国際ビジネス･コミュニケーション（II）	2	3	※国際ビジネス･コミュニケーションII
	国際交渉論	2	3	※異文化リテラシーⅠ
	国際交流論	2	3	
	国際経済法Ⅰ	2	3	
	国際経済法II	2	3	
	地域研究（アジア経済）Ⅰ	2	3	
	地域研究（アジア経済）II	2	3	
	地域研究（EU 経済）	2	3	
	地域研究（アメリカ経済）	2	3	
	国際経済学特殊講義III	2	1	海外短期研修
	インターンシップ	2	1 ～ 3	36ページ参照
	国際経済学特殊講義Ⅴ	2	1	

	国際経済学特殊講義VI	2	3	
	国際経済学特殊講義VII	2	3	
	特講（アジア地域統合を考える）	2	1	「ワンアジア財団寄附講座」
	特別講座	2	3	国際交流のエキスパートを目指して
	演習ＩＡ	4	3	
	演習ＩＢ	4	3	
	演習II	4	4	通年

（注２） 学科科目Ａ群科目として**「国際政治学Ⅰ」「国際政治学Ⅱ」「国際政治経済学Ⅰ」「国際政治経済学Ⅱ」**の４科目から**２科目（４単位）**以上選択し、修得すること。

なお、修得した単位は、他の学科科目のＡ群科目と同じ扱いになります。

(5) 国際コミュニケーションコース

国際政治学科　（太字は必修科目）

国際コミュニケーションコース科目配置表（原則として、Ⅰ…前期科目　Ⅱ…後期科目）

区分	授業科目	単位	履修年次	備考 ※は異名称同一科目
A群	**入門セミナーⅠ**	2	1	
	入門セミナーⅡ	2	1	
	国際コミュニケーション総論Ⅰ	2	1	
	国際コミュニケーション総論Ⅱ	2	1	
	政治学原論Ⅰ	2	1	
	政治学原論Ⅱ	2	1	
	国際政治学Ⅰ（注３）	2	2	
	国際政治学Ⅱ（注３）	2	2	
	国際政治経済学Ⅰ（注３）	2	2	
	国際政治経済学Ⅱ（注３）	2	2	
	経済学入門（ミクロ）	2	1	
	経済学入門（マクロ）	2	1	
	コミュニケーション論Ⅰ	2	1	
	コミュニケーション論Ⅱ	2	2	
	比較文化概論Ⅰ	2	2	
	比較文化概論Ⅱ	2	2	
	言語科学概論Ⅰ	2	2	
	言語科学概論Ⅱ	2	2	
	インターカルチュラル･コミュニケーション	2	3	
	インターカルチュラル・リテラシー	2	3	※異文化リテラシーⅡ
	コミュニケーション研究法の全体像	2	2	
	言語の仕組み	2	3	
B群	パブリック・リレーションズ	2	3	
	コンフリクト・レゾルーション	2	3	
	国際交渉論	2	3	※異文化リテラシーⅠ
	国際交流論	2	3	
	紛争解決と法	2	2	※国際法ⅠA
	インターネットと法＊	2	2	
	国際取引法	2	3	
	国際ネットワーク論	2	3	
	社会情報論＊	2	3	
	情報倫理学	2	3	
	メディア論Ⅰ	2	3	
	メディア論Ⅱ	2	3	
	マスメディアと国際政治Ⅰ	2	3	
	マスメディアと国際政治Ⅱ	2	3	
	情報と組織の経済学Ⅰ	2	1	
	広告コミュニケーション論	2	3	
	アンケート・社会調査の方法	2	3	
	コンピュータによる調査データの解析	2	2	
	コミュニケーションの質的分析法Ⅰ	2	3	
	コミュニケーションの質的分析法Ⅱ	2	3	
	コミュニケーションの量的分析法Ⅰ	2	3	
	コミュニケーションの量的分析法Ⅱ	2	3	
	文化とコミュニケーションⅠ	2	2	※文化とコミュニケーションA
	文化とコミュニケーションⅡ	2	2	※文化とコミュニケーションB
	比較文化論Ⅰ	2	3	
	比較文化論Ⅱ	2	3	
	宗教文化論Ⅰ	2	2	
	宗教文化論Ⅱ	2	2	
	ヨーロッパ文化総論Ⅰ	2	3	※ヨーロッパ文化論Ⅰ

B群	ヨーロッパ文化総論II	2	3	※ヨーロッパ文化論II
	イスラム文化総論	2	3	
	日本文化論	2	3	
	中国文化論＊	2	3	
	韓国文化論	2	2	
	イギリス文化論	2	2	※英語圏の社会と文化Ａ
	フランス文化論	2	3	
	ドイツ文化論	2	3	
	ロシア東欧文化論	2	3	
	スペイン文化論	2	3	
	アングロ・アメリカ文化論	2	3	
	イベロ・アメリカ文化論	2	3	
	文化と歴史観	2	3	
	インターカルチュラル・トレーニング	2	3	
	通訳の理論と実践Ⅰ	2	3	※通訳の理論と方法Ⅰ
	通訳の理論と実践II	2	3	※通訳の理論と方法II
	翻訳の理論と実践Ⅰ	2	3	※翻訳の理論と方法Ⅰ
	翻訳の理論と実践II	2	3	※翻訳の理論と方法II
	会議英語	2	3	
	英語発音の理論と演習Ⅰ	2	3	※認知とことばⅠ
	英語発音の理論と演習II	2	3	※認知とことばII
	ディベートの理論と実習	2	3	
	国際ビジネス･コミュニケーション（Ⅰ）	2	3	※国際ビジネス･コミュニケーションⅠ
	国際ビジネス･コミュニケーション（II）	2	3	※国際ビジネス･コミュニケーションII
	認知言語学入門	2	3	※日英語比較Ⅰ
	社会言語学＊	2	3	※社会とことばⅠ
	言語形式と意味	2	3	※日英語比較II
	言語の普遍性	2	3	
	社会言語学特講	2	3	※社会とことばII
	多言語社会とコミュニケーション	2	3	※言語の多様性と言語政策
	インターンシップ	2	1～3	36ページ参照
	国際コミュニケーション特殊講義(海外研修)	2	1	海外短期研修
	異文化コミュニケーション特殊講義Ⅰ	2	3	集中講義
	異文化コミュニケーション特殊講義II	2	3	
	特講（アジア地域統合を考える）	2	1	「ワンアジア財団寄附講座」
	特別講座	2	3	国際交流のエキスパートを目指して
	外国書（フランス語）講読Ⅰ	2	3	
	外国書（フランス語）講読II	2	3	
	外国書（ドイツ語）講読Ⅰ	2	3	
	外国書（ドイツ語）講読II	2	3	
	外国書（スペイン語）講読Ⅰ	2	3	
	外国書（スペイン語）講読II	2	3	
	外国書（中国語）講読Ⅰ	2	3	
	外国書（中国語）講読II	2	3	
	外国書（ロシア語）講読Ⅰ	2	3	
	外国書（ロシア語）講読II	2	3	
	演習ⅠＡ	4	3	
	演習ⅠＢ	4	3	
	演習II	4	4	通年

（注３）　学科科目Ａ群科目として**「国際政治学Ⅰ」「国際政治学Ⅱ」「国際政治経済学Ⅰ」「国際政治経済学Ⅱ」**の４科目から**２科目（４単位）**以上選択し、修得すること。
　なお、修得した単位は、他の学科科目のＡ群科目と同じ扱いになります。

（注４）　上記学科科目において単位を修得した科目の異名称同一科目は履修することができません。

（注５）　上記の学科科目Ａ群、Ｂ群、自由選択科目として修得した単位は、異名称同一の外国語科目Ｃ群の単位に振り替えることはできません。

4．国際経済学科 科目配置表

(1) 政治外交・安全保障コース

国際経済学科　　（太字は必修科目）

政治外交・安全保障コース科目配置表　　（原則として、Ⅰ…前期科目　Ⅱ…後期科目）

区分	授業科目	単位	履修年次	備考 ※は異名称同一科目
A群	**入門セミナーⅠ**	2	1	
	入門セミナーⅡ	2	1	
	政治学原論Ⅰ	2	1	
	政治学原論Ⅱ	2	1	
	経済学入門（ミクロ）	2	1	
	経済学入門（マクロ）	2	1	
	国際経済学入門	2	1	
	国際経済政策入門（注１）	2	1	
	国際ビジネス入門（注１）	2	1	
	政治過程論Ⅰ	2	1	
	政治過程論Ⅱ	2	1	
	憲法と政治制度Ⅰ	2	1	
	憲法と政治制度Ⅱ	2	1	
	国際法ⅠA	2	2	※紛争解決と法
	国際法ⅠB	2	2	
	国際政治学Ⅰ	2	2	
	国際政治学Ⅱ	2	2	
	国際政治経済学Ⅰ	2	2	
	国際政治経済学Ⅱ	2	2	
	開発経済学入門Ⅰ	2	1	
	開発経済学入門Ⅱ	2	1	
	国際コミュニケーション総論Ⅰ	2	1	
	国際コミュニケーション総論Ⅱ	2	1	
	プリゼミ	2	2のみ	
B群	政治学方法論Ⅰ	2	1	
	政治学方法論Ⅱ	2	1	
	アジア圏概論Ⅰ	2	1	
	アジア圏概論Ⅱ	2	1	
	ヨーロッパ圏概論Ⅰ	2	1	
	ヨーロッパ圏概論Ⅱ	2	1	
	中東アフリカ圏概論Ⅰ	2	1	
	中東アフリカ圏概論Ⅱ	2	1	
	米洲圏概論Ⅰ	2	1	
	米洲圏概論Ⅱ	2	1	
	環太平洋圏概論Ⅰ	2	1	
	環太平洋圏概論Ⅱ	2	1	
	政治思想史Ⅰ	2	3	
	政治思想史Ⅱ	2	3	
	国際関係史Ⅰ	2	3	
	国際関係史Ⅱ	2	3	
	国際法ⅡA	2	3	
	国際法ⅡB	2	3	
	国際私法Ⅰ	2	3	
	国際私法Ⅱ	2	3	
	国際経済法Ⅰ	2	3	
	国際経済法Ⅱ	2	3	
	朝鮮半島の国際政治論Ⅰ	2	3	
	朝鮮半島の国際政治論Ⅱ	2	3	
	外交史Ⅰ	2	3	

B	外交史II	2	3	
群	日本政治論Ⅰ	2	3	
	日本政治論II	2	3	
	日本外交論Ⅰ	2	3	
	日本外交論II	2	3	
	日本の外交・安全保障政策	2	3	
	日本の平和と安全保障	2	3	
	日本の環境政策	2	3	
	国際機構論Ⅰ	2	3	
	国際機構論II	2	3	
	比較政治論Ⅰ	2	3	
	比較政治論II	2	3	
	国際安全保障論Ⅰ	2	3	
	国際安全保障論II	2	3	
	戦略論Ⅰ	2	3	
	戦略論II	2	3	
	比較文化論Ⅰ	2	3	
	比較文化論II	2	3	
	国際政治理論Ⅰ	2	3	
	国際政治理論II	2	3	
	マスメディアと国際政治Ⅰ	2	3	
	マスメディアと国際政治II	2	3	
	メディア論Ⅰ	2	3	
	メディア論II	2	3	
	国連研究Ⅰ	2	3	集中講義
	国連研究II	2	3	35ページ参照
	アジア政治論Ⅰ	2	3	
	アジア政治論II	2	3	
	アジア太平洋政治論Ⅰ	2	3	
	アジア太平洋政治論II	2	3	
	ロシア・中央アジア政治論Ⅰ	2	3	
	ロシア・中央アジア政治論II	2	3	
	ヨーロッパ政治論Ⅰ	2	3	
	ヨーロッパ政治論II	2	3	
	アメリカ政治論Ⅰ	2	3	
	アメリカ政治論II	2	3	
	地域研究（アジア経済）Ⅰ	2	3	
	地域研究（アジア経済）II	2	3	
	地域研究（EU 経済）	2	3	
	地域研究（アメリカ経済）	2	3	
	開発経済学Ⅰ	2	3	
	開発経済学II	2	3	
	民法概論Ⅰ	2	3	
	民法概論II	2	3	
	経済情報入門＊	2	1	
	国際政治学特殊講義Ⅰ＊	2	1	「読売新聞社寄附講座」世界最前線
	国際政治学特殊講義II＊	2	1	
	国際政治学特殊講義III	2	1	海外短期研修
	インターンシップ	2	1～3	36ページ参照
	国際政治学特殊講義V	2	1	集中講義
	近現代・日本の政治Ⅰ	2	2	
	近現代・日本の政治II	2	2	
	特講（アジア地域統合を考える）	2	1	「ワンアジア財団寄附講座」
	特別講座	2	3	国際交流のエキスパートを目指して
	外国書（フランス語）講読Ⅰ	2	3	
	外国書（フランス語）講読II	2	3	

B群	外国書（ドイツ語）講読Ⅰ	2	3	
	外国書（ドイツ語）講読Ⅱ	2	3	
	外国書（スペイン語）講読Ⅰ	2	3	
	外国書（スペイン語）講読Ⅱ	2	3	
	外国書（中国語）講読Ⅰ	2	3	
	外国書（中国語）講読Ⅱ	2	3	
	外国書（ロシア語）講読Ⅰ	2	3	
	外国書（ロシア語）講読Ⅱ	2	3	
	演習ⅠA	4	3	
	演習ⅠB	4	3	
	演習Ⅱ	4	4	通年

（注１）　学科科目Ａ群必修科目として**「国際経済政策入門」「国際ビジネス入門」**の２科目から**１科目（２単位）**以上選択し、修得すること。なお、修得した単位は、他の学科科目のＡ群科目と同じ扱いになります。

(2) グローバル・ガバナンスコース

国際経済学科　（太字は必修科目）

グローバル・ガバナンスコース科目配置表（原則として、Ⅰ…前期科目　Ⅱ…後期科目）

区分	授業科目	単位	履修年次	備考 ※は異名称同一科目
A群	**入門セミナーⅠ**	2	1	
	入門セミナーⅡ	2	1	
	政治学原論Ⅰ	2	1	
	政治学原論Ⅱ	2	1	
	グローバル・ガバナンス概論Ⅰ	2	2	
	グローバル・ガバナンス概論Ⅱ	2	2	
	経済学入門（ミクロ）	2	1	
	経済学入門（マクロ）	2	1	
	国際経済学入門	2	1	
	国際経済政策入門（注２）	2	1	
	国際ビジネス入門（注２）	2	1	
	国際政治学Ⅰ	2	2	
	国際政治学Ⅱ	2	2	
	憲法と政治制度Ⅰ	2	1	
	憲法と政治制度Ⅱ	2	1	
	国際法ⅠA	2	2	※紛争解決と法
	国際法ⅠB	2	2	
	国際政治経済学Ⅰ	2	2	
	国際政治経済学Ⅱ	2	2	
	開発経済学入門Ⅰ	2	1	
	開発経済学入門Ⅱ	2	1	
	国際コミュニケーション総論Ⅰ	2	1	
	国際コミュニケーション総論Ⅱ	2	1	
	プリゼミ	2	2のみ	
B群	アジア圏概論Ⅰ	2	1	
	アジア圏概論Ⅱ	2	1	
	ヨーロッパ圏概論Ⅰ	2	1	
	ヨーロッパ圏概論Ⅱ	2	1	
	中東アフリカ圏概論Ⅰ	2	1	
	中東アフリカ圏概論Ⅱ	2	1	
	米洲圏概論Ⅰ	2	1	
	米洲圏概論Ⅱ	2	1	
	環太平洋圏概論Ⅰ	2	1	
	環太平洋圏概論Ⅱ	2	1	
	国際制度論Ⅰ	2	3	
	国際制度論Ⅱ	2	3	
	国連研究Ⅰ	2	3	集中講義
	国連研究Ⅱ	2	3	35ページ参照
	日本の外交・安全保障政策	2	3	
	日本の平和と安全保障	2	3	
	日本の環境政策	2	3	
	国際機構論Ⅰ	2	3	
	国際機構論Ⅱ	2	3	
	国際平和協力論Ⅰ	2	3	
	国際平和協力論Ⅱ	2	3	
	戦略論Ⅰ	2	3	
	戦略論Ⅱ	2	3	
	国際環境論Ⅰ	2	3	
	国際環境論Ⅱ	2	3	

B群	国際行政論Ⅰ	2	3	
	国際行政論Ⅱ	2	3	
	国際NGO論Ⅰ	2	3	
	国際NGO論Ⅱ	2	3	
	国際金融Ⅰ	2	3	
	国際金融Ⅱ	2	3	
	国際法ⅡA	2	3	
	国際法ⅡB	2	3	
	国際私法Ⅰ	2	3	
	国際私法Ⅱ	2	3	
	国際経済法Ⅰ	2	3	
	国際経済法Ⅱ	2	3	
	朝鮮半島の国際政治論Ⅰ	2	3	
	朝鮮半島の国際政治論Ⅱ	2	3	
	国際関係史Ⅰ	2	3	
	国際関係史Ⅱ	2	3	
	外交史Ⅰ	2	3	
	外交史Ⅱ	2	3	
	国際安全保障論Ⅰ	2	3	
	国際安全保障論Ⅱ	2	3	
	経済情報入門＊	2	1	
	金融Ⅰ	2	2	
	金融Ⅱ	2	2	
	開発経済学Ⅰ	2	3	
	開発経済学Ⅱ	2	3	
	国際政治学特殊講義Ⅲ	2	1	海外短期研修
	国際政治学特殊講義Ⅴ	2	1	集中講義
	近現代・日本の政治Ⅰ	2	2	
	近現代・日本の政治Ⅱ	2	2	
	特講（アジア地域統合を考える）	2	1	「ワンアジア財団寄附講座」
	特別講座	2	3	国際交流のエキスパートを目指して
	インターンシップ	2	1～3	36ページ参照
	外国書（フランス語）講読Ⅰ	2	3	
	外国書（フランス語）講読Ⅱ	2	3	
	外国書（ドイツ語）講読Ⅰ	2	3	
	外国書（ドイツ語）講読Ⅱ	2	3	
	外国書（スペイン語）講読Ⅰ	2	3	
	外国書（スペイン語）講読Ⅱ	2	3	
	外国書（中国語）講読Ⅰ	2	3	
	外国書（中国語）講読Ⅱ	2	3	
	外国書（ロシア語）講読Ⅰ	2	3	
	外国書（ロシア語）講読Ⅱ	2	3	
	演習ⅠA	4	3	
	演習ⅠB	4	3	
	演習Ⅱ	4	4	通年

（注２） 学科科目Ａ群科目として**「国際経済政策入門」「国際ビジネス入門」**の２科目から**１科目（２単位）**以上選択し、修得すること。なお、修得した単位は、他の学科科目のＡ群科目と同じ扱いになります。

(3) 国際経済政策コース

国際経済学科　　（太字は必修科目）

国際経済政策コース科目配置表　　（原則として、Ⅰ…前期科目　Ⅱ…後期科目）

区分	授業科目	単位	履修年次	備考
A群	**入門セミナーⅠ**	2	1	
	入門セミナーⅡ	2	1	
	経済学入門（ミクロ）	2	1	
	経済学入門（マクロ）	2	1	
	国際経済学入門	2	1	
	国際経済政策入門	2	1	
	国際ビジネス入門	2	1	
	開発経済学入門Ⅰ	2	1	
	開発経済学入門Ⅱ	2	1	
	情報と組織の経済学Ⅰ	2	1	
	社会科学のための統計学入門Ⅰ	2	1	
	社会科学のための統計学入門Ⅱ	2	1	
	社会科学のための数学入門Ⅰ	2	1	
	社会科学のための数学入門Ⅱ	2	1	
	経済発展史	2	1	
	日本経済	2	1	
	ミクロ経済学Ⅰ	2	2	
	ミクロ経済学Ⅱ	2	2	
	マクロ経済学Ⅰ	2	2	
	マクロ経済学Ⅱ	2	2	
	金融Ⅰ	2	2	
	金融Ⅱ	2	2	
	プリゼミ	2	2のみ	
	政治学原論Ⅰ	2	1	
	政治学原論Ⅱ	2	1	
	国際コミュニケーション総論Ⅰ	2	1	
	国際コミュニケーション総論Ⅱ	2	1	
B群	経済情報入門＊	2	1	
	アジア圏概論Ⅰ	2	1	
	アジア圏概論Ⅱ	2	1	
	ヨーロッパ圏概論Ⅰ	2	1	
	ヨーロッパ圏概論Ⅱ	2	1	
	中東アフリカ圏概論Ⅰ	2	1	
	中東アフリカ圏概論Ⅱ	2	1	
	米洲圏概論Ⅰ	2	1	
	米洲圏概論Ⅱ	2	1	
	環太平洋圏概論Ⅰ	2	1	
	環太平洋圏概論Ⅱ	2	1	
	簿記論ⅠA	2	1	
	簿記論ⅠB	2	1	
	簿記論ⅡA	2	3	
	簿記論ⅡB	2	3	
	国際経済A	2	3	
	国際経済B	2	3	
	開発経済学Ⅰ	2	3	
	開発経済学Ⅱ	2	3	
	国際貿易Ⅰ	2	3	
	国際貿易Ⅱ	2	3	
	国際開発政策	2	3	

B群	国際金融Ⅰ	2	3	
	国際金融Ⅱ	2	3	
	開発金融	2	3	
	中国経済Ⅰ	2	3	
	中国経済Ⅱ	2	3	
	国際経済政策論Ⅰ	2	3	
	国際経済政策論Ⅱ	2	3	
	国際環境経済学Ⅰ	2	3	
	国際環境経済学Ⅱ	2	3	
	ゲーム理論Ⅰ	2	3	
	ゲーム理論Ⅱ	2	3	
	ミクロ経済学中級Ⅰ	2	3	
	ミクロ経済学中級Ⅱ	2	3	
	マクロ経済学中級Ⅰ	2	3	
	マクロ経済学中級Ⅱ	2	3	
	統計分析演習Ⅰ	2	3	
	統計分析演習Ⅱ	2	3	
	計量経済学Ⅰ	2	3	
	計量経済学Ⅱ	2	3	
	平和経済学Ⅰ	2	3	
	平和経済学Ⅱ	2	3	
	国際産業論Ⅰ	2	3	
	国際産業論Ⅱ	2	3	
	ビジネス・エコノミクス	2	3	
	多国籍企業論Ⅰ	2	3	
	多国籍企業論Ⅱ	2	3	
	国際労働経済学Ⅰ	2	3	
	国際労働経済学Ⅱ	2	3	
	財政論Ⅰ	2	3	
	財政論Ⅱ	2	3	
	現代銀行論	2	3	「㈱三菱東京 UFJ 銀行寄附講座」
	日本経済と証券ビジネス	2	3	「野村證券㈱寄附講座」
	国際制度論Ⅰ	2	3	
	国際制度論Ⅱ	2	3	
	国際行政論Ⅰ	2	3	
	国際行政論Ⅱ	2	3	
	国際経済法Ⅰ	2	3	
	国際経済法Ⅱ	2	3	
	地域研究（アジア経済）Ⅰ	2	3	
	地域研究（アジア経済）Ⅱ	2	3	
	地域研究（EU 経済）	2	3	
	地域研究（アメリカ経済）	2	3	
	国際経済学特殊講義Ⅰ	2	3	
	国際経済学特殊講義Ⅱ	2	3	
	国際経済学特殊講義Ⅲ	2	1	海外短期研修
	インターンシップ	2	1～3	36ページ参照
	国際経済学特殊講義Ⅴ	2	1	
	国際経済学特殊講義Ⅵ	2	3	
	国際経済学特殊講義Ⅶ	2	3	
	特講（アジア地域統合を考える）	2	1	「ワンアジア財団寄附講座」
	特別講座	2	3	国際交流のエキスパートを目指して
	演習ⅠA	4	3	
	演習ⅠB	4	3	
	演習Ⅱ	4	4	通年

(4) 国際ビジネスコース

国際経済学科　　（太字は必修科目）

国際ビジネスコース科目配置表　　（原則として、Ⅰ…前期科目　Ⅱ…後期科目）

区分	授業科目	単位	履修年次	備考 ※は異名称同一科目
A群	**入門セミナーⅠ**	2	1	
	入門セミナーⅡ	2	1	
	経済学入門（ミクロ）	2	1	
	経済学入門（マクロ）	2	1	
	国際経済学入門	2	1	
	国際経済政策入門	2	1	
	国際ビジネス入門	2	1	
	ビジネス・マネジメントⅠ	2	1	
	ビジネス・マネジメントⅡ	2	1	
	情報と組織の経済学Ⅰ	2	1	
	社会科学のための統計学入門Ⅰ	2	1	
	社会科学のための統計学入門Ⅱ	2	1	
	社会科学のための数学入門Ⅰ	2	1	
	社会科学のための数学入門Ⅱ	2	1	
	経済発展史	2	1	
	日本経済	2	1	
	ミクロ経済学Ⅰ	2	2	
	ミクロ経済学Ⅱ	2	2	
	マクロ経済学Ⅰ	2	2	
	マクロ経済学Ⅱ	2	2	
	金融Ⅰ	2	2	
	金融Ⅱ	2	2	
	プリゼミ	2	2のみ	
	政治学原論Ⅰ	2	1	
	政治学原論Ⅱ	2	1	
	国際コミュニケーション総論Ⅰ	2	1	
	国際コミュニケーション総論Ⅱ	2	1	
B群	経済情報入門＊	2	1	
	アジア圏概論Ⅰ	2	1	
	アジア圏概論Ⅱ	2	1	
	ヨーロッパ圏概論Ⅰ	2	1	
	ヨーロッパ圏概論Ⅱ	2	1	
	中東アフリカ圏概論Ⅰ	2	1	
	中東アフリカ圏概論Ⅱ	2	1	
	米洲圏概論Ⅰ	2	1	
	米洲圏概論Ⅱ	2	1	
	環太平洋圏概論Ⅰ	2	1	
	環太平洋圏概論Ⅱ	2	1	
	簿記論ⅠA	2	1	
	簿記論ⅠB	2	1	
	簿記論ⅡA	2	3	
	簿記論ⅡB	2	3	
	国際経済A	2	3	
	国際経済B	2	3	
	国際貿易Ⅰ	2	3	
	国際貿易Ⅱ	2	3	
	国際金融Ⅰ	2	3	
	国際金融Ⅱ	2	3	
	中国経済Ⅰ	2	3	

B群	中国経済II	2	3	
	ゲーム理論Ⅰ	2	3	
	ゲーム理論II	2	3	
	ミクロ経済学中級Ⅰ	2	3	
	ミクロ経済学中級II	2	3	
	マクロ経済学中級Ⅰ	2	3	
	マクロ経済学中級II	2	3	
	計量経済学Ⅰ	2	3	
	計量経済学II	2	3	
	国際産業論Ⅰ	2	3	
	国際産業論II	2	3	
	ビジネス・エコノミクス	2	3	
	多国籍企業論Ⅰ	2	3	
	多国籍企業論II	2	3	
	国際労働経済学Ⅰ	2	3	
	国際労働経済学II	2	3	
	財務会計論Ⅰ	2	3	
	財務会計論II	2	3	
	管理会計論Ⅰ	2	3	
	管理会計論II	2	3	
	国際会計（Ⅰ）	2	3	
	国際会計（II）	2	3	
	国際マーケティング論Ⅰ	2	3	
	国際マーケティング論II	2	3	
	コーポレートファイナンスⅠ	2	3	
	コーポレートファイナンスII	2	3	
	グローバル経営論Ⅰ	2	3	
	グローバル経営論II	2	3	
	マーケットとファイナンスⅠ	2	3	
	マーケットとファイナンスII	2	3	
	経営情報Ⅰ	2	3	
	経営情報II	2	3	
	現代銀行論	2	3	「㈱三菱東京 UFJ 銀行寄附講座」
	日本経済と証券ビジネス	2	3	「野村證券㈱寄附講座」
	証券の基礎と資産選択入門	2	3	「日興フィナンシャル･インテリジェンス㈱寄附講座」
	パブリック・リレーションズ	2	3	
	広告コミュニケーション論	2	3	
	インターカルチュラル･コミュニケーション	2	3	
	国際ビジネス･コミュニケーション（Ⅰ）	2	3	※国際ビジネス･コミュニケーションⅠ
	国際ビジネス･コミュニケーション（II）	2	3	※国際ビジネス･コミュニケーションII
	国際交渉論	2	3	※異文化リテラシーⅠ
	国際交流論	2	3	
	国際経済法Ⅰ	2	3	
	国際経済法II	2	3	
	地域研究（アジア経済）Ⅰ	2	3	
	地域研究（アジア経済）II	2	3	
	地域研究（EU 経済）	2	3	
	地域研究（アメリカ経済）	2	3	
	国際経済学特殊講義III	2	1	海外短期研修
	インターンシップ	2	1～3	36ページ参照
	国際経済学特殊講義Ⅴ	2	1	
	国際経済学特殊講義Ⅵ	2	3	
	国際経済学特殊講義Ⅶ	2	3	
	特講（アジア地域統合を考える）	2	1	「ワンアジア財団寄附講座」
	特別講座	2	3	国際交流のエキスパートを目指して

	演習Ⅰ A	4	3	
	演習Ⅰ B	4	3	
	演習Ⅱ	4	4	通年

(5) 国際コミュニケーションコース

国際経済学科　　（太字は必修科目）

国際コミュニケーションコース科目配置表（原則として、Ⅰ…前期科目　Ⅱ…後期科目）

区分	授業科目	単位	履修年次	備考 ※は異名称同一科目
A群	**入門セミナーⅠ**	2	1	
	入門セミナーⅡ	2	1	
	国際コミュニケーション総論Ⅰ	2	1	
	国際コミュニケーション総論Ⅱ	2	1	
	経済学入門（ミクロ）	2	1	
	経済学入門（マクロ）	2	1	
	国際経済学入門	2	1	
	国際経済政策入門（注３）	2	1	
	国際ビジネス入門（注３）	2	1	
	政治学原論Ⅰ	2	1	
	政治学原論Ⅱ	2	1	
	コミュニケーション論Ⅰ	2	1	
	コミュニケーション論Ⅱ	2	2	
	比較文化概論Ⅰ	2	2	
	比較文化概論Ⅱ	2	2	
	言語科学概論Ⅰ	2	2	
	言語科学概論Ⅱ	2	2	
	インターカルチュラル･コミュニケーション	2	3	
	インターカルチュラル・リテラシー	2	3	※異文化リテラシーⅡ
	コミュニケーション研究法の全体像	2	2	
	言語の仕組み	2	3	
B群	パブリック・リレーションズ	2	3	
	コンフリクト・レゾルーション	2	3	
	国際交渉論	2	3	※異文化リテラシーⅠ
	国際交流論	2	3	
	紛争解決と法	2	2	※国際法ⅠA
	インターネットと法＊	2	2	
	国際取引法	2	3	
	国際ネットワーク論	2	3	
	社会情報論＊	2	3	
	情報倫理学	2	3	
	メディア論Ⅰ	2	3	
	メディア論Ⅱ	2	3	
	マスメディアと国際政治Ⅰ	2	3	
	マスメディアと国際政治Ⅱ	2	3	
	情報と組織の経済学Ⅰ	2	1	
	広告コミュニケーション論	2	3	
	アンケート・社会調査の方法	2	3	
	コンピュータによる調査データの解析	2	2	
	コミュニケーションの質的分析法Ⅰ	2	3	
	コミュニケーションの質的分析法Ⅱ	2	3	
	コミュニケーションの量的分析法Ⅰ	2	3	
	コミュニケーションの量的分析法Ⅱ	2	3	
	文化とコミュニケーションⅠ	2	2	※文化とコミュニケーションA
	文化とコミュニケーションⅡ	2	2	※文化とコミュニケーションB
	比較文化論Ⅰ	2	3	
	比較文化論Ⅱ	2	3	
	宗教文化論Ⅰ	2	2	
	宗教文化論Ⅱ	2	2	
	ヨーロッパ文化総論Ⅰ	2	3	※ヨーロッパ文化論Ⅰ

B群	ヨーロッパ文化総論II	2	3	※ヨーロッパ文化論II
	イスラム文化総論	2	3	
	日本文化論	2	3	
	中国文化論＊	2	3	
	韓国文化論	2	2	
	イギリス文化論	2	2	※英語圏の社会と文化Ａ
	フランス文化論	2	3	
	ドイツ文化論	2	3	
	ロシア東欧文化論	2	3	
	スペイン文化論	2	3	
	アングロ・アメリカ文化論	2	3	
	イベロ・アメリカ文化論	2	3	
	文化と歴史観	2	3	
	インターカルチュラル・トレーニング	2	3	
	通訳の理論と実践Ⅰ	2	3	※通訳の理論と方法Ⅰ
	通訳の理論と実践II	2	3	※通訳の理論と方法II
	翻訳の理論と実践Ⅰ	2	3	※翻訳の理論と方法Ⅰ
	翻訳の理論と実践II	2	3	※翻訳の理論と方法II
	会議英語	2	3	
	英語発音の理論と演習Ⅰ	2	3	※認知とことばⅠ
	英語発音の理論と演習II	2	3	※認知とことばII
	ディベートの理論と実習	2	3	
	国際ビジネス･コミュニケーション（Ⅰ）	2	3	※国際ビジネス･コミュニケーションⅠ
	国際ビジネス･コミュニケーション（II）	2	3	※国際ビジネス･コミュニケーションII
	認知言語学入門	2	3	※日英語比較Ⅰ
	社会言語学＊	2	3	※社会とことばⅠ
	言語形式と意味	2	3	※日英語比較II
	言語の普遍性	2	3	
	社会言語学特講	2	3	※社会とことばII
	多言語社会とコミュニケーション	2	3	※言語の多様性と言語政策
	インターンシップ	2	1～3	36ページ参照
	国際コミュニケーション特殊講義(海外研修)	2	1	海外短期研修
	異文化コミュニケーション特殊講義Ⅰ	2	3	集中講義
	異文化コミュニケーション特殊講義II	2	3	
	特講（アジア地域統合を考える）	2	1	「ワンアジア財団寄附講座」
	特別講座	2	3	国際交流のエキスパートを目指して
	外国書（フランス語）講読Ⅰ	2	3	
	外国書（フランス語）講読II	2	3	
	外国書（ドイツ語）講読Ⅰ	2	3	
	外国書（ドイツ語）講読II	2	3	
	外国書（スペイン語）講読Ⅰ	2	3	
	外国書（スペイン語）講読II	2	3	
	外国書（中国語）講読Ⅰ	2	3	
	外国書（中国語）講読II	2	3	
	外国書（ロシア語）講読Ⅰ	2	3	
	外国書（ロシア語）講読II	2	3	
	演習ⅠＡ	4	3	
	演習ⅠＢ	4	3	
	演習II	4	4	通年

（注３）　学科科目Ａ群科目として**「国際経済政策入門」「国際ビジネス入門」**の２科目から**１科目（２単位）**以上選択し、修得すること。なお、修得した単位は、他の学科科目のＡ群科目と同じ扱いになります。

（注４）　上記学科科目において単位を修得した科目の異名称同一科目は履修することができません。

（注５）　上記の学科科目Ａ群、Ｂ群、自由選択科目として修得した単位は、異名称同一の外国語科目Ｃ群の単位に振り替えることはできません。

5．国際コミュニケーション学科 科目配置表

(1) 政治外交・安全保障コース

国際コミュニケーション学科　　（太字は必修科目）

政治外交・安全保障コース科目配置表　　（原則として、Ⅰ…前期科目　Ⅱ…後期科目）

区分	授業科目	単位	履修年次	備考 ※は異名称同一科目
A群	**入門セミナーⅠ**	2	1	
	入門セミナーⅡ	2	1	
	政治学原論Ⅰ	2	1	
	政治学原論Ⅱ	2	1	
	国際コミュニケーション総論Ⅰ	2	1	
	国際コミュニケーション総論Ⅱ	2	1	
	コミュニケーション論Ⅰ（注１）	2	1	
	コミュニケーション論Ⅱ（注１）	2	2	
	比較文化概論Ⅰ（注１）	2	2	
	比較文化概論Ⅱ（注１）	2	2	
	言語科学概論Ⅰ（注１）	2	2	
	言語科学概論Ⅱ（注１）	2	2	
	政治過程論Ⅰ	2	1	
	政治過程論Ⅱ	2	1	
	憲法と政治制度Ⅰ	2	1	
	憲法と政治制度Ⅱ	2	1	
	国際法ⅠA	2	2	※紛争解決と法
	国際法ⅠB	2	2	
	国際政治学Ⅰ	2	2	
	国際政治学Ⅱ	2	2	
	国際政治経済学Ⅰ	2	2	
	国際政治経済学Ⅱ	2	2	
	開発経済学入門Ⅰ	2	1	
	開発経済学入門Ⅱ	2	1	
	経済学入門（ミクロ）	2	1	
	経済学入門（マクロ）	2	1	
	国際経済学入門	2	1	
	プリゼミ	2	2のみ	
B群	政治学方法論Ⅰ	2	1	
	政治学方法論Ⅱ	2	1	
	アジア圏概論Ⅰ	2	1	
	アジア圏概論Ⅱ	2	1	
	ヨーロッパ圏概論Ⅰ	2	1	
	ヨーロッパ圏概論Ⅱ	2	1	
	中東アフリカ圏概論Ⅰ	2	1	
	中東アフリカ圏概論Ⅱ	2	1	
	米洲圏概論Ⅰ	2	1	
	米洲圏概論Ⅱ	2	1	
	環太平洋圏概論Ⅰ	2	1	
	環太平洋圏概論Ⅱ	2	1	
	政治思想史Ⅰ	2	3	
	政治思想史Ⅱ	2	3	
	国際関係史Ⅰ	2	3	
	国際関係史Ⅱ	2	3	
	国際法ⅡA	2	3	
	国際法ⅡB	2	3	
	国際私法Ⅰ	2	3	
	国際私法Ⅱ	2	3	
	国際経済法Ⅰ	2	3	

B	国際経済法II	2	3	
群	朝鮮半島の国際政治論Ⅰ	2	3	
	朝鮮半島の国際政治論II	2	3	
	外交史Ⅰ	2	3	
	外交史II	2	3	
	日本政治論Ⅰ	2	3	
	日本政治論II	2	3	
	日本外交論Ⅰ	2	3	
	日本外交論II	2	3	
	日本の外交・安全保障政策	2	3	
	日本の平和と安全保障	2	3	
	日本の環境政策	2	3	
	国際機構論Ⅰ	2	3	
	国際機構論II	2	3	
	比較政治論Ⅰ	2	3	
	比較政治論II	2	3	
	国際安全保障論Ⅰ	2	3	
	国際安全保障論II	2	3	
	戦略論Ⅰ	2	3	
	戦略論II	2	3	
	比較文化論Ⅰ	2	3	
	比較文化論II	2	3	
	国際政治理論Ⅰ	2	3	
	国際政治理論II	2	3	
	マスメディアと国際政治Ⅰ	2	3	
	マスメディアと国際政治II	2	3	
	メディア論Ⅰ	2	3	
	メディア論II	2	3	
	国連研究Ⅰ	2	3	集中講義
	国連研究II	2	3	35ページ参照
	アジア政治論Ⅰ	2	3	
	アジア政治論II	2	3	
	アジア太平洋政治論Ⅰ	2	3	
	アジア太平洋政治論II	2	3	
	ロシア・中央アジア政治論Ⅰ	2	3	
	ロシア・中央アジア政治論II	2	3	
	ヨーロッパ政治論Ⅰ	2	3	
	ヨーロッパ政治論II	2	3	
	アメリカ政治論Ⅰ	2	3	
	アメリカ政治論II	2	3	
	地域研究（アジア経済）Ⅰ	2	3	
	地域研究（アジア経済）II	2	3	
	地域研究（EU 経済）	2	3	
	地域研究（アメリカ経済）	2	3	
	開発経済学Ⅰ	2	3	
	開発経済学II	2	3	
	民法概論Ⅰ	2	3	
	民法概論II	2	3	
	経済情報入門＊	2	1	
	国際政治学特殊講義Ⅰ＊	2	1	「読売新聞社寄附講座」世界最前線
	国際政治学特殊講義II＊	2	1	
	国際政治学特殊講義III	2	1	海外短期研修
	インターンシップ	2	1～3	36ページ参照
	国際政治学特殊講義V	2	1	集中講義
	近現代・日本の政治Ⅰ	2	2	
	近現代・日本の政治II	2	2	

B	特講（アジア地域統合を考える）	2	1	「ワンアジア財団寄附講座」
群	特別講座	2	3	国際交流のエキスパートを目指して
	外国書（フランス語）講読Ⅰ	2	3	
	外国書（フランス語）講読Ⅱ	2	3	
	外国書（ドイツ語）講読Ⅰ	2	3	
	外国書（ドイツ語）講読Ⅱ	2	3	
	外国書（スペイン語）講読Ⅰ	2	3	
	外国書（スペイン語）講読Ⅱ	2	3	
	外国書（中国語）講読Ⅰ	2	3	
	外国書（中国語）講読Ⅱ	2	3	
	外国書（ロシア語）講読Ⅰ	2	3	
	外国書（ロシア語）講読Ⅱ	2	3	
	演習ⅠA	4	3	
	演習ⅠB	4	3	
	演習Ⅱ	4	4	通年

（注１）　学科科目Ａ群科目として**「コミュニケーション論Ⅰ」「コミュニケーション論Ⅱ」「比較文化概論Ⅰ」「比較文化概論Ⅱ」「言語科学概論Ⅰ」「言語科学概論Ⅱ」**の６科目から**２科目（４単位）**以上選択し、修得すること。なお、修得した単位は、他の学科科目のＡ群科目と同じ扱いになります。

(2) グローバル・ガバナンスコース

国際コミュニケーション学科　（太字は必修科目）

グローバル・ガバナンスコース科目配置表（原則として、Ⅰ…前期科目　Ⅱ…後期科目）

区分	授業科目	単位	履修年次	備考 ※は異名称同一科目
A群	**入門セミナーⅠ**	2	1	
	入門セミナーⅡ	2	1	
	政治学原論Ⅰ	2	1	
	政治学原論Ⅱ	2	1	
	グローバル・ガバナンス概論Ⅰ	2	2	
	グローバル・ガバナンス概論Ⅱ	2	2	
	国際コミュニケーション総論Ⅰ	2	1	
	国際コミュニケーション総論Ⅱ	2	1	
	コミュニケーション論Ⅰ（注２）	2	1	
	コミュニケーション論Ⅱ（注２）	2	2	
	比較文化概論Ⅰ（注２）	2	2	
	比較文化概論Ⅱ（注２）	2	2	
	言語科学概論Ⅰ（注２）	2	2	
	言語科学概論Ⅱ（注２）	2	2	
	国際政治学Ⅰ	2	2	
	国際政治学Ⅱ	2	2	
	憲法と政治制度Ⅰ	2	1	
	憲法と政治制度Ⅱ	2	1	
	国際法ⅠA	2	2	※紛争解決と法
	国際法ⅠB	2	2	
	国際政治経済学Ⅰ	2	2	
	国際政治経済学Ⅱ	2	2	
	経済学入門（ミクロ）	2	1	
	経済学入門（マクロ）	2	1	
	国際経済学入門	2	1	
	開発経済学入門Ⅰ	2	1	
	開発経済学入門Ⅱ	2	1	
	プリゼミ	2	2のみ	
B群	アジア圏概論Ⅰ	2	1	
	アジア圏概論Ⅱ	2	1	
	ヨーロッパ圏概論Ⅰ	2	1	
	ヨーロッパ圏概論Ⅱ	2	1	
	中東アフリカ圏概論Ⅰ	2	1	
	中東アフリカ圏概論Ⅱ	2	1	
	米洲圏概論Ⅰ	2	1	
	米洲圏概論Ⅱ	2	1	
	環太平洋圏概論Ⅰ	2	1	
	環太平洋圏概論Ⅱ	2	1	
	国際制度論Ⅰ	2	3	
	国際制度論Ⅱ	2	3	
	国連研究Ⅰ	2	3	集中講義
	国連研究Ⅱ	2	3	35ページ参照
	日本の外交・安全保障政策	2	3	
	日本の平和と安全保障	2	3	
	日本の環境政策	2	3	
	国際機構論Ⅰ	2	3	
	国際機構論Ⅱ	2	3	
	国際平和協力論Ⅰ	2	3	
	国際平和協力論Ⅱ	2	3	

B	戦略論Ⅰ	2	3	
群	戦略論Ⅱ	2	3	
	国際環境論Ⅰ	2	3	
	国際環境論Ⅱ	2	3	
	国際行政論Ⅰ	2	3	
	国際行政論Ⅱ	2	3	
	国際 NGO 論Ⅰ	2	3	
	国際 NGO 論Ⅱ	2	3	
	国際金融Ⅰ	2	3	
	国際金融Ⅱ	2	3	
	国際法Ⅱ A	2	3	
	国際法Ⅱ B	2	3	
	国際私法Ⅰ	2	3	
	国際私法Ⅱ	2	3	
	国際経済法Ⅰ	2	3	
	国際経済法Ⅱ	2	3	
	朝鮮半島の国際政治論Ⅰ	2	3	
	朝鮮半島の国際政治論Ⅱ	2	3	
	国際関係史Ⅰ	2	3	
	国際関係史Ⅱ	2	3	
	外交史Ⅰ	2	3	
	外交史Ⅱ	2	3	
	国際安全保障論Ⅰ	2	3	
	国際安全保障論Ⅱ	2	3	
	民法概論Ⅰ	2	3	
	民法概論Ⅱ	2	3	
	経済情報入門＊	2	1	
	金融Ⅰ	2	2	
	金融Ⅱ	2	2	
	開発経済学Ⅰ	2	3	
	開発経済学Ⅱ	2	3	
	国際政治学特殊講義Ⅲ	2	1	海外短期研修
	国際政治学特殊講義Ⅴ	2	1	集中講義
	近現代・日本の政治Ⅰ	2	2	
	近現代・日本の政治Ⅱ	2	2	
	特講（アジア地域統合を考える）	2	1	「ワンアジア財団寄附講座」
	特別講座	2	3	国際交流のエキスパートを目指して
	インターンシップ	2	1～3	36ページ参照
	外国書（フランス語）講読Ⅰ	2	3	
	外国書（フランス語）講読Ⅱ	2	3	
	外国書（ドイツ語）講読Ⅰ	2	3	
	外国書（ドイツ語）講読Ⅱ	2	3	
	外国書（スペイン語）講読Ⅰ	2	3	
	外国書（スペイン語）講読Ⅱ	2	3	
	外国書（中国語）講読Ⅰ	2	3	
	外国書（中国語）講読Ⅱ	2	3	
	外国書（ロシア語）講読Ⅰ	2	3	
	外国書（ロシア語）講読Ⅱ	2	3	
	演習Ⅰ A	4	3	
	演習Ⅰ B	4	3	
	演習Ⅱ	4	4	通年

（注２） 学科科目Ａ群科目として**「コミュニケーション論Ⅰ」「コミュニケーション論Ⅱ」「比較文化概論Ⅰ」「比較文化概論Ⅱ」「言語科学概論Ⅰ」「言語科学概論Ⅱ」**の６科目から**２科目（４単位）**以上選択し、修得すること。なお、修得した単位は、他の学科科目のＡ群科目と同じ扱いになります。

(3) 国際経済政策コース

国際コミュニケーション学科　　（太字は必修科目）

国際経済政策コース科目配置表　　（原則として、Ⅰ…前期科目　Ⅱ…後期科目）

区分	授業科目	単位	履修年次	備考
A群	**入門セミナーⅠ**	2	1	
	入門セミナーⅡ	2	1	
	経済学入門（ミクロ）	2	1	
	経済学入門（マクロ）	2	1	
	国際経済学入門	2	1	
	国際コミュニケーション総論Ⅰ	2	1	
	国際コミュニケーション総論Ⅱ	2	1	
	コミュニケーション論Ⅰ（注３）	2	1	
	コミュニケーション論Ⅱ（注３）	2	2	
	比較文化概論Ⅰ（注３）	2	2	
	比較文化概論Ⅱ（注３）	2	2	
	言語科学概論Ⅰ（注３）	2	2	
	言語科学概論Ⅱ（注３）	2	2	
	国際経済政策入門	2	1	
	国際ビジネス入門	2	1	
	開発経済学入門Ⅰ	2	1	
	開発経済学入門Ⅱ	2	1	
	情報と組織の経済学Ⅰ	2	1	
	社会科学のための統計学入門Ⅰ	2	1	
	社会科学のための統計学入門Ⅱ	2	1	
	社会科学のための数学入門Ⅰ	2	1	
	社会科学のための数学入門Ⅱ	2	1	
	経済発展史	2	1	
	日本経済	2	1	
	ミクロ経済学Ⅰ	2	2	
	ミクロ経済学Ⅱ	2	2	
	マクロ経済学Ⅰ	2	2	
	マクロ経済学Ⅱ	2	2	
	金融Ⅰ	2	2	
	金融Ⅱ	2	2	
	プリゼミ	2	２のみ	
	政治学原論Ⅰ	2	1	
	政治学原論Ⅱ	2	1	
B群	経済情報入門＊	2	1	
	アジア圏概論Ⅰ	2	1	
	アジア圏概論Ⅱ	2	1	
	ヨーロッパ圏概論Ⅰ	2	1	
	ヨーロッパ圏概論Ⅱ	2	1	
	中東アフリカ圏概論Ⅰ	2	1	
	中東アフリカ圏概論Ⅱ	2	1	
	米洲圏概論Ⅰ	2	1	
	米洲圏概論Ⅱ	2	1	
	環太平洋圏概論Ⅰ	2	1	
	環太平洋圏概論Ⅱ	2	1	
	簿記論ⅠA	2	1	
	簿記論ⅠB	2	1	
	簿記論ⅡA	2	3	
	簿記論ⅡB	2	3	
	国際経済A	2	3	

B群	国際経済B	2	3	
	開発経済学Ⅰ	2	3	
	開発経済学Ⅱ	2	3	
	国際貿易Ⅰ	2	3	
	国際貿易Ⅱ	2	3	
	国際開発政策	2	3	
	国際金融Ⅰ	2	3	
	国際金融Ⅱ	2	3	
	開発金融	2	3	
	中国経済Ⅰ	2	3	
	中国経済Ⅱ	2	3	
	国際経済政策論Ⅰ	2	3	
	国際経済政策論Ⅱ	2	3	
	国際環境経済学Ⅰ	2	3	
	国際環境経済学Ⅱ	2	3	
	ゲーム理論Ⅰ	2	3	
	ゲーム理論Ⅱ	2	3	
	ミクロ経済学中級Ⅰ	2	3	
	ミクロ経済学中級Ⅱ	2	3	
	マクロ経済学中級Ⅰ	2	3	
	マクロ経済学中級Ⅱ	2	3	
	統計分析演習Ⅰ	2	3	
	統計分析演習Ⅱ	2	3	
	計量経済学Ⅰ	2	3	
	計量経済学Ⅱ	2	3	
	平和経済学Ⅰ	2	3	
	平和経済学Ⅱ	2	3	
	国際産業論Ⅰ	2	3	
	国際産業論Ⅱ	2	3	
	ビジネス・エコノミクス	2	3	
	多国籍企業論Ⅰ	2	3	
	多国籍企業論Ⅱ	2	3	
	国際労働経済学Ⅰ	2	3	
	国際労働経済学Ⅱ	2	3	
	財政論Ⅰ	2	3	
	財政論Ⅱ	2	3	
	現代銀行論	2	3	「㈱三菱東京UFJ銀行寄附講座」
	日本経済と証券ビジネス	2	3	「野村證券㈱寄附講座」
	国際制度論Ⅰ	2	3	
	国際制度論Ⅱ	2	3	
	国際行政論Ⅰ	2	3	
	国際行政論Ⅱ	2	3	
	国際経済法Ⅰ	2	3	
	国際経済法Ⅱ	2	3	
	地域研究（アジア経済）Ⅰ	2	3	
	地域研究（アジア経済）Ⅱ	2	3	
	地域研究（EU経済）	2	3	
	地域研究（アメリカ経済）	2	3	
	国際経済学特殊講義Ⅰ	2	3	
	国際経済学特殊講義Ⅱ	2	3	
	国際経済学特殊講義Ⅲ	2	1	海外短期研修
	インターンシップ	2	1～3	36ページ参照
	国際経済学特殊講義Ⅴ	2	1	
	国際経済学特殊講義Ⅵ	2	3	
	国際経済学特殊講義Ⅶ	2	3	
	特講（アジア地域統合を考える）	2	1	「ワンアジア財団寄附講座」

	特別講座	2	3	国際交流のエキスパートを目指して
	演習ⅠA	4	3	
	演習ⅠB	4	3	
	演習Ⅱ	4	4	通年

（注３） 学科科目Ａ群科目として**「コミュニケーション論Ⅰ」「コミュニケーション論Ⅱ」「比較文化概論Ⅰ」「比較文化概論Ⅱ」「言語科学概論Ⅰ」「言語科学概論Ⅱ」**の６科目から**２科目（４単位）**以上選択し、修得すること。なお、修得した単位は、他の学科科目のＡ群科目と同じ扱いになります。

(4) 国際ビジネスコース

国際コミュニケーション学科　　（太字は必修科目）

国際ビジネスコース科目配置表　　（原則として、Ⅰ…前期科目　Ⅱ…後期科目）

区分	授業科目	単位	履修年次	備考 ※は異名称同一科目
A群	**入門セミナーⅠ**	2	1	
	入門セミナーⅡ	2	1	
	経済学入門（ミクロ）	2	1	
	経済学入門（マクロ）	2	1	
	国際経済学入門	2	1	
	国際コミュニケーション総論Ⅰ	2	1	
	国際コミュニケーション総論Ⅱ	2	1	
	コミュニケーション論Ⅰ（注４）	2	1	
	コミュニケーション論Ⅱ（注４）	2	2	
	比較文化概論Ⅰ（注４）	2	2	
	比較文化概論Ⅱ（注４）	2	2	
	言語科学概論Ⅰ（注４）	2	2	
	言語科学概論Ⅱ（注４）	2	2	
	国際経済政策入門	2	1	
	国際ビジネス入門	2	1	
	ビジネス・マネジメントⅠ	2	1	
	ビジネス・マネジメントⅡ	2	1	
	情報と組織の経済学Ⅰ	2	1	
	社会科学のための統計学入門Ⅰ	2	1	
	社会科学のための統計学入門Ⅱ	2	1	
	社会科学のための数学入門Ⅰ	2	1	
	社会科学のための数学入門Ⅱ	2	1	
	経済発展史	2	1	
	日本経済	2	1	
	ミクロ経済学Ⅰ	2	2	
	ミクロ経済学Ⅱ	2	2	
	マクロ経済学Ⅰ	2	2	
	マクロ経済学Ⅱ	2	2	
	金融Ⅰ	2	2	
	金融Ⅱ	2	2	
	プリゼミ	2	2のみ	
	政治学原論Ⅰ	2	1	
	政治学原論Ⅱ	2	1	
B群	経済情報入門＊	2	1	
	アジア圏概論Ⅰ	2	1	
	アジア圏概論Ⅱ	2	1	
	ヨーロッパ圏概論Ⅰ	2	1	
	ヨーロッパ圏概論Ⅱ	2	1	
	中東アフリカ圏概論Ⅰ	2	1	
	中東アフリカ圏概論Ⅱ	2	1	
	米洲圏概論Ⅰ	2	1	
	米洲圏概論Ⅱ	2	1	
	環太平洋圏概論Ⅰ	2	1	
	環太平洋圏概論Ⅱ	2	1	
	簿記論ⅠA	2	1	
	簿記論ⅠB	2	1	
	簿記論ⅡA	2	3	
	簿記論ⅡB	2	3	
	国際経済A	2	3	

B群	国際経済B	2	3	
	国際貿易Ⅰ	2	3	
	国際貿易Ⅱ	2	3	
	国際金融Ⅰ	2	3	
	国際金融Ⅱ	2	3	
	中国経済Ⅰ	2	3	
	中国経済Ⅱ	2	3	
	ゲーム理論Ⅰ	2	3	
	ゲーム理論Ⅱ	2	3	
	ミクロ経済学中級Ⅰ	2	3	
	ミクロ経済学中級Ⅱ	2	3	
	マクロ経済学中級Ⅰ	2	3	
	マクロ経済学中級Ⅱ	2	3	
	計量経済学Ⅰ	2	3	
	計量経済学Ⅱ	2	3	
	国際産業論Ⅰ	2	3	
	国際産業論Ⅱ	2	3	
	ビジネス・エコノミクス	2	3	
	多国籍企業論Ⅰ	2	3	
	多国籍企業論Ⅱ	2	3	
	国際労働経済学Ⅰ	2	3	
	国際労働経済学Ⅱ	2	3	
	財務会計論Ⅰ	2	3	
	財務会計論Ⅱ	2	3	
	管理会計論Ⅰ	2	3	
	管理会計論Ⅱ	2	3	
	国際会計（Ⅰ）	2	3	
	国際会計（Ⅱ）	2	3	
	国際マーケティング論Ⅰ	2	3	
	国際マーケティング論Ⅱ	2	3	
	コーポレートファイナンスⅠ	2	3	
	コーポレートファイナンスⅡ	2	3	
	グローバル経営論Ⅰ	2	3	
	グローバル経営論Ⅱ	2	3	
	マーケットとファイナンスⅠ	2	3	
	マーケットとファイナンスⅡ	2	3	
	経営情報Ⅰ	2	3	
	経営情報Ⅱ	2	3	
	現代銀行論	2	3	「㈱三菱東京 UFJ 銀行寄附講座」
	日本経済と証券ビジネス	2	3	「野村證券㈱寄附講座」
	証券の基礎と資産選択入門	2	3	「日興フィナンシャル・インテリジェンス㈱寄附講座」
	パブリック・リレーションズ	2	3	
	広告コミュニケーション論	2	3	
	インターカルチュラル・コミュニケーション	2	3	
	国際ビジネス・コミュニケーション（Ⅰ）	2	3	※国際ビジネス・コミュニケーションⅠ
	国際ビジネス・コミュニケーション（Ⅱ）	2	3	※国際ビジネス・コミュニケーションⅡ
	国際交渉論	2	3	※異文化リテラシーⅠ
	国際交流論	2	3	
	国際経済法Ⅰ	2	3	
	国際経済法Ⅱ	2	3	
	地域研究（アジア経済）Ⅰ	2	3	
	地域研究（アジア経済）Ⅱ	2	3	
	地域研究（EU 経済）	2	3	
	地域研究（アメリカ経済）	2	3	
	国際経済学特殊講義Ⅲ	2	1	海外短期研修

B	インターンシップ	2	1～3	36ページ参照
群	国際経済学特殊講義Ⅴ	2	1	
	国際経済学特殊講義Ⅵ	2	3	
	国際経済学特殊講義Ⅶ	2	3	
	特講（アジア地域統合を考える）	2	1	「ワンアジア財団寄附講座」
	特別講座	2	3・4	国際交流のエキスパートを目指して
	演習ⅠA	4	3	
	演習ⅠB	4	3	
	演習Ⅱ	4	4	通年

（注４） 学科科目Ａ群科目として**「コミュニケーション論Ⅰ」「コミュニケーション論Ⅱ」「比較文化概論Ⅰ」「比較文化概論Ⅱ」「言語科学概論Ⅰ」「言語科学概論Ⅱ」**の６科目から**２科目（４単位）**以上選択し、修得すること。なお、修得した単位は、他の学科科目のＡ群科目と同じ扱いになります。

(5) 国際コミュニケーションコース

国際コミュニケーション学科　（太字は必修科目）

国際コミュニケーションコース科目配置表（原則として、Ⅰ…前期科目　Ⅱ…後期科目）

区分	授業科目	単位	履修年次	備考 ※は異名称同一科目
A群	**入門セミナーⅠ**	2	1	
	入門セミナーⅡ	2	1	
	国際コミュニケーション総論Ⅰ	2	1	
	国際コミュニケーション総論Ⅱ	2	1	
	政治学原論Ⅰ	2	1	
	政治学原論Ⅱ	2	1	
	経済学入門（ミクロ）	2	1	
	経済学入門（マクロ）	2	1	
	コミュニケーション論Ⅰ	2	1	
	コミュニケーション論Ⅱ	2	2	
	比較文化概論Ⅰ	2	2	
	比較文化概論Ⅱ	2	2	
	言語科学概論Ⅰ	2	2	
	言語科学概論Ⅱ	2	2	
	インターカルチュラル･コミュニケーション	2	3	
	インターカルチュラル・リテラシー	2	3	※異文化リテラシーⅡ
	コミュニケーション研究法の全体像	2	2	
	言語の仕組み	2	3	
B群	パブリック・リレーションズ	2	3	
	コンフリクト・レゾルーション	2	3	
	国際交渉論	2	3	※異文化リテラシーⅠ
	国際交流論	2	3	
	紛争解決と法	2	2	※国際法ⅠA
	インターネットと法＊	2	2	
	国際取引法	2	3	
	国際ネットワーク論	2	3	
	社会情報論＊	2	3	
	情報倫理学	2	3	
	メディア論Ⅰ	2	3	
	メディア論Ⅱ	2	3	
	マスメディアと国際政治Ⅰ	2	3	
	マスメディアと国際政治Ⅱ	2	3	
	情報と組織の経済学Ⅰ	2	1	
	広告コミュニケーション論	2	3	
	アンケート・社会調査の方法	2	3	
	コンピュータによる調査データの解析	2	2	
	コミュニケーションの質的分析法Ⅰ	2	3	
	コミュニケーションの質的分析法Ⅱ	2	3	
	コミュニケーションの量的分析法Ⅰ	2	3	
	コミュニケーションの量的分析法Ⅱ	2	3	
	文化とコミュニケーションⅠ	2	2	※文化とコミュニケーションA
	文化とコミュニケーションⅡ	2	2	※文化とコミュニケーションB
	比較文化論Ⅰ	2	3	
	比較文化論Ⅱ	2	3	
	宗教文化論Ⅰ	2	2	
	宗教文化論Ⅱ	2	2	
	ヨーロッパ文化総論Ⅰ	2	3	※ヨーロッパ文化論Ⅰ
	ヨーロッパ文化総論Ⅱ	2	3	※ヨーロッパ文化論Ⅱ

B群	イスラム文化総論	2	3	
	日本文化論	2	3	
	中国文化論＊	2	3	
	韓国文化論	2	2	
	イギリス文化論	2	2	※英語圏の社会と文化Ａ
	フランス文化論	2	3	
	ドイツ文化論	2	3	
	ロシア東欧文化論	2	3	
	スペイン文化論	2	3	
	アングロ・アメリカ文化論	2	3	
	イベロ・アメリカ文化論	2	3	
	文化と歴史観	2	3	
	インターカルチュラル・トレーニング	2	3	
	通訳の理論と実践Ⅰ	2	3	※通訳の理論と方法Ⅰ
	通訳の理論と実践Ⅱ	2	3	※通訳の理論と方法Ⅱ
	翻訳の理論と実践Ⅰ	2	3	※翻訳の理論と方法Ⅰ
	翻訳の理論と実践Ⅱ	2	3	※翻訳の理論と方法Ⅱ
	会議英語	2	3	
	英語発音の理論と演習Ⅰ	2	3	※認知とことばⅠ
	英語発音の理論と演習Ⅱ	2	3	※認知とことばⅡ
	ディベートの理論と実習	2	3	
	国際ビジネス･コミュニケーション（Ⅰ）	2	3	※国際ビジネス･コミュニケーションⅠ
	国際ビジネス･コミュニケーション（Ⅱ）	2	3	※国際ビジネス･コミュニケーションⅡ
	認知言語学入門	2	3	※日英語比較Ⅰ
	社会言語学＊	2	3	※社会とことばⅠ
	言語形式と意味	2	3	※日英語比較Ⅱ
	言語の普遍性	2	3	
	社会言語学特講	2	3	※社会とことばⅡ
	多言語社会とコミュニケーション	2	3	※言語の多様性と言語政策
	インターンシップ	2	1～3	36ページ参照
	国際コミュニケーション特殊講義(海外研修)	2	1	海外短期研修
	異文化コミュニケーション特殊講義Ⅰ	2	3	集中講義
	異文化コミュニケーション特殊講義Ⅱ	2	3	
	特講（アジア地域統合を考える）	2	1	「ワンアジア財団寄附講座」
	特別講座	2	3	国際交流のエキスパートを目指して
	外国書（フランス語）講読Ⅰ	2	3	
	外国書（フランス語）講読Ⅱ	2	3	
	外国書（ドイツ語）講読Ⅰ	2	3	
	外国書（ドイツ語）講読Ⅱ	2	3	
	外国書（スペイン語）講読Ⅰ	2	3	
	外国書（スペイン語）講読Ⅱ	2	3	
	外国書（中国語）講読Ⅰ	2	3	
	外国書（中国語）講読Ⅱ	2	3	
	外国書（ロシア語）講読Ⅰ	2	3	
	外国書（ロシア語）講読Ⅱ	2	3	
	演習ⅠＡ	4	3	
	演習ⅠＢ	4	3	
	演習Ⅱ	4	4	通年

（注５）　上記学科科目において単位を修得した科目の異名称同一の科目は履修することができません。
（注６）　上記の学科科目Ａ群、Ｂ群、自由選択科目として修得した単位は、異名称同一の外国語科目Ｃ群の単位に振り替えることはできません。

【５】 自由選択科目履修方法

１．自由選択科目の履修方法

⑴　自由選択科目の必要単位
選択（20単位）

⑵　下記の科目は、自由選択科目として卒業要件単位に算入されます。

①　本学部の学科科目で、自学科･自コースの学科科目Ａ群と学科科目Ｂ群における卒業に必要な単位を超えて修得した単位

②　本学部の学科科目で、他学科･他コースの学科科目Ａ群と学科科目Ｂ群の科目の単位

③　青山スタンダード科目の卒業に必要な単位を超えて修得した単位

④　外国語科目Ｃ群における卒業に必要な単位を超えて修得した単位（英語以外の外国語科目は入学時に学籍資料票により申請した外国語の科目に限ります。申請以外の外国語の科目は卒業に必要な単位に参入されません。）

⑤　他学部の学科科目・専門教育科目の単位
履修については、他学部科目一覧表134ページ以降を参照してください。
注１）他学部の学科科目・専門教育科目を履修する場合は、当該学部で制限を設けていない科目に限ります。
注２）本学部に同一名称・異名称同一科目がある他学部学科科目・専門教育科目の履修は認めません。

【6】 他学部科目一覧表

他学部科目の履修について

他学部科目のうち本学部学生が履修可能な科目の一覧表を以下に掲載します。
履修については下記の点に注意してください。

1．一覧表は他学部が本学部に対して履修可能としている科目を掲載しています。なお、「担当者氏名」及び「本年度休講」の掲載はしていませんので、講義内容および授業時間割表にて確認してください。履修希望科目が講義内容および授業時間割表に掲載されていない場合は本年度休講となっています。
　また、年度により一覧表の科目のうち履修を認めないなどの措置をとることがあります。

2．他学部の一覧表は基本的には1997年度以降入学者に対応した科目を掲載しています。履修可能な科目は同じ入学年度の科目のみ履修できます。掲載してある一覧表以前の入学生で他学部科目の履修を希望する学生は教務課で希望学部の授業要覧を閲覧し履修してください。

3．本学部では入学年度によって他学部科目の卒業要件単位に含まれる条件が異なる場合がありますので、授業要覧で確認のうえ履修してください。

4．一覧表に掲載されている科目のうち、履修に制限がある場合は、開講学部の履修制限に従って履修してください。

文学部共通科目

授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次
芸術文化論	4	2・3・4	文化財科学	4	2・3・4	日本の思想	4	2・3・4
東洋の思想	4	2・3・4	現代思想	4	2・3・4	日本美術史	4	2・3・4
東洋美術史	4	2・3・4	西洋美術史	4	2・3・4	日本文化史	4	2・3・4
東洋文化史	4	2・3・4	西洋文化史	4	2・3・4	映像文化論A	2	2・3・4
映像文化論B	2	2・3・4	東洋音楽史	4	2・3・4	西洋音楽史	4	2・3・4
生命倫理学	4	2・3・4	詩論	4	2・3・4	ギリシャ・ローマ文学	4	2・3・4
テクスト論	4	2・3・4	物語文学	4	2・3・4	キリスト教文学	4	2・3・4
世界各地域の文学A	4	2・3・4	世界各地域の文学B	4	2・3・4	世界各地域の文学C	4	2・3・4
児童文学	4	2・3・4	比較文学	4	2・3・4	言語学概論	4	2・3・4
比較言語学	4	2・3・4	記号論	4	2・3・4	古典ギリシャ語Ⅰ	4	2・3・4
古典ギリシャ語Ⅱ	4	2・3・4	ラテン語入門	4	2・3・4	ラテン語Ⅰ	4	2・3・4
ラテン語Ⅱ	4	2・3・4	出版ジャーナリズム	4	2・3・4	放送ジャーナリズム	4	2・3・4
認知言語学	4	2・3・4	精神分析学入門	4	2・3・4	心理言語学	4	2・3・4
イタリアの言語と文化	4	2・3・4	通訳ワークショップ(1)	2	3・4	通訳ワークショップ(2)	2	3・4

文学部英米文学科

授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次
イギリス文学史	4	1・2	イギリス文学概論	4	1・2	イギリス文化概論	4	1・2
アメリカ文学史	4	1・2	アメリカ文学概論	4	1・2	アメリカ文化概論	4	1・2
グローバル文学・文化概論	4	1・2	グローバル文学理論	4	1・2	英語学概論	4	1・2
英語史	4	1・2	英文法	4	1・2	コミュニケーション概論	4	1・2
異文化間コミュニケーション概論	4	1・2	英語教育学概論	4	1・2	イギリス文学特講	4	3・4
イギリス文化特講	4	3・4	アメリカ文学特講	4	3・4	アメリカ文化特講	4	3・4
グローバル文学特講	4	3・4	グローバル文化特講	4	3・4	英語学特講	4	3・4
言語学特講	4	3・4	コミュニケーション特講	4	3・4	英語教育学特講	4	3・4
英詩概論	4	3・4	イギリス事情	4	3・4	アメリカ事情	4	3・4
英語聖書	4	3・4	メディアイングリッシュⅠ	2	3・4	メディアイングリッシュⅡ	2	3・4

文学部フランス文学科

授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次
※フランス語会話	4	1	フランス文学研究	4	3・4	フランス語学研究	4	3・4
フランス文化研究	4	3・4	講読演習	4	3・4	エクスプリカシオン(A)	4	3・4
エクスプリカシオン(B)	4	3・4	コミュニカシオンⅠ	4	3・4	コミュニカシオンⅡ	4	3・4
エクスプレシオン・エクリットⅡ	4	3・4	エクスプレシオン・エクリットⅢ	4	3・4	フランス文学特講	4	2・3・4
フランス語学特講	4	2・3・4	フランス文化特講	4	2・3・4	フランス文学演習Ⅰ	4	2・3
フランス語学演習Ⅰ	4	2・3	フランス文化演習Ⅰ	4	2・3	フランス文学演習Ⅱ	4	3・4
フランス語学演習Ⅱ	4	3・4	フランス文化演習Ⅱ	4	3・4	フランス語教授法Ⅰ	4	3・4
フランス語教授法Ⅱ	4	3・4	フランス語作文	4	2・3・4	フランス語学概論	4	2・3・4
実務フランス語	4	3・4						

※：既修得者用クラスのみ履修可

文学部日本文学科

授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次
日本文学史㈠	2	1	日本文学史㈡	2	1	日本文学史㈢	2	2
日本文学史㈣	2	2	古典文学概論Ⅰ・Ⅱ	各2	1・2	近代文学概論Ⅰ・Ⅱ	各2	1・2
漢文学概論Ⅰ・Ⅱ	各2	1・2	日本語学概論Ⅰ・Ⅱ	各2	1・2	日本語史Ⅰ・Ⅱ	各2	1・2
表象文化研究概論Ⅰ・Ⅱ	各2	1・2	日本学入門	2	1・2	文学交流入門	2	1・2
日本文学講読Ⅰ・Ⅱ	各2	1・2	中国古典文学講読Ⅰ・Ⅱ	各2	1・2	日本語学講読Ⅰ・Ⅱ	各2	1・2
表象文化論Ⅰ・Ⅱ	各2	2～4	日本文学特講Ⅰ・Ⅱ	各2	2～4	日本文学特講A・B	各2	1～4
中国古典文学特講Ⅰ・Ⅱ	各2	2～4	中国文学・思想特講Ⅰ・Ⅱ	各2	2～4	日本語学特講Ⅰ・Ⅱ	各2	2～4
文学交流特講A・B	各2	2～4	日本文学研究のための英語	2	1・2	日本文学とアメリカ・ヨーロッパ	2	2～4
日本文学とアジア	2	2～4	書理論Ⅰ・Ⅱ	各2	3・4			

他学部科目一覧表

文学部史学科

授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次
人文地理学概論	4	3・4	日本史特講	4	2・3・4	東洋史特講	4	2・3・4
西洋史特講	4	2・3・4	考古学特講	4	2・3・4	史学特講A	4	1・2・3・4
史学特講B	4	1・2・3・4	自然地理学概論	2	2・3・4	地誌学	2	2・3・4
法律学	2	2・3・4	政治学	2	2・3・4	※博物館概論	2	2・3のみ
※博物館経営論	2	2・3のみ	※博物館資料論	2	2・3のみ	※博物館資料保存論	2	2・3・4
※博物館展示論	2	2・3・4	※博物館情報・メディア論	2	2・3・4	※博物館教育論	2	2・3・4
※博物館実習Ⅰ	2	3のみ	※博物館実習Ⅱ	2	4			

※学芸員希望者のみ

文学部比較芸術学科

他学部・他学科生は3年次以上の学生が履修可

授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次
比較芸術学特講Ⅰ	2	3・4	比較芸術学特講Ⅱ	2	3・4	比較芸術学特講Ⅲ	2	3・4
美学・芸術思想	4	3・4	西洋の宗教と芸術	4	3・4	日本・東洋の宗教と芸術	4	3・4
伝統デザイン論	4	3・4						

教育人間科学部教育学科

授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次
日本教育史 I	2	1・2	日本教育史 II	2	1・2	西洋教育史 I	2	3・4
西洋教育史 II	2	3・4	西洋教育史 III	2	3・4	教育史特殊講義	2	3・4
宗教教育学	2	2	発達と文化 A	2	3・4	発達と文化 B	2	3・4
教育哲学 A	2	3・4	教育哲学 B	2	3・4	教育学特論 A	2	3・4
教育学特論 B	2	3・4	比較発達社会学	2	1・2	生涯発達心理学 I	2	1・2
生涯発達心理学 II	2	1・2	キャリア教育 A	2	2	キャリア教育 B	2	3・4
家庭教育 A	2	2	家庭教育 B	2	2	比較教育学	2	3・4
異文化理解教育	2	3・4	老年学	2	3・4	教育学特論 C	2	3・4
教育学特論 D	2	3・4	社会福祉概論	2	2	臨床心理学概論 I	2	2
臨床心理学概論 II	2	2	小児精神神経学	2	3・4	相談心理学 I	2	3・4
相談心理学 II	2	3・4	特別支援教育	2	3・4	障害児・者の心理 I	2	2
障害児・者の心理 II	2	3・4	障害児・者の教育	2	3・4	障害児・者の福祉	2	3・4
障害児・者の医学	2	3・4	教育学特論 E	2	3・4	教育学特論 F	2	3・4
生涯学習概論 I	2	2	生涯学習概論 II	2	2	高等教育論 A	2	2
高等教育論 B	2	3・4	社会教育計画 I	2	3・4	社会教育計画 II	2	3・4
社会教育課題研究	4	3・4	高齢化社会と教育	2	3・4	青年期と教育	2	3・4
ジェンダーと教育	2	3・4	青年文化論	2	3・4	ボランティア教育論	2	3・4
地域ネットワーキング論	2	3・4	スポーツ・レクリエーション論	2	3・4	教育学特論 G	2	3・4
教育学特論 H	2	3・4	認知科学概論	2	2	学校経営と学校図書館	2	2
視聴覚教育メディア論	2	3・4	インターフェース論	2	3・4	知的表現論	2	3・4
教材開発論	2	3・4	学習指導と学校図書館	2	3・4	学校図書館メディア	2	3・4
情報メディア利用論	2	3・4	読書教育論	2	3・4	学習心理学 I	2	3・4
学習心理学 II	2	3・4	社会心理学 I	2	3・4	社会心理学 II	2	3・4
教育学特論 I	2	3・4	教育学特論 J	2	3・4	図書館情報学概論	2	2
図書館システムサービス論	2	2	図書館情報文化論	2	2	図書館システム経営論	2	3・4
情報メディア論 A	2	2	情報メディア論 B	2	3・4	情報メディア論 C	2	3・4
児童サービス論	2	3・4	メディア組織法 I	2	3・4	メディア組織法 II	2	3・4
メディア組織法 III	2	3・4	情報サービス論 I	2	3・4	情報サービス論 II	2	3・4
情報サービス論 III	2	3・4	情報技術論	2	2・3・4	図書館情報学実習	2	4
教育学特論 K	2	3・4	教育学特論 L	2	3・4	幼児教育原理 B	2	1・2
児童福祉論	2	1・2	臨床保育学 A	2	2	臨床保育学 B	2	2
小児保健論	2	3・4	教育学特論 M	2	3・4	教育学特論 N	2	3・4
小児栄養学	2	3・4	教育学特論 O	2	3・4	教育学特論 P	2	3・4
初等教育原理 B	2	1・2	学校心理学	2	3・4	教育学特論 Q	2	3・4
教育学特論 R	2	3・4	初等英語概説 A	2	3・4	初等英語概説 B	2	3・4
教育学特論 S	2	3・4	教育学特論 T	2	3・4	ラーニングデザイン基礎	2	1～4
モバイルコミュニケーション	2	1～4	インターネットと法的課題	2	1～4	コンテンツデザインと効果解析実践	2	3・4
ソーシャルメディアテクノロジー	2	3・4	コミュニケーションプランニングと学習支援実践	2	3・4	ソーシャルメディアデザイン実践	2	3・4
キャリア発達と組織学習	2	3・4	キリスト教学校論	2	3・4	聖書の世界（旧約）	2	3・4
聖書の世界（新約）	2	3・4	キリスト教の教理	2	3・4	キリスト教と法思想	2	3・4
宗教と社会	2	3・4	礼拝学	2	3・4	キリスト教メンタルヘルス	2	3・4

他学部科目一覧表

教育人間科学部心理学科

授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次
心理統計実習	2	3・4	哲学的認識論	4	3・4	心の哲学	4	3・4
心理学史	2	3・4	学習心理学	4	3・4	発達心理学	4	1・2
生涯発達心理学Ⅰ	2	2	生涯発達心理学Ⅱ	2	2	生涯発達論	2	3・4
知覚心理学	2	2	認知心理学	4	3・4	音楽心理学	2	3・4
感情心理学	2	3・4	神経心理学	2	3・4	人格心理学	4	3・4
犯罪心理学	4	3・4	社会心理学	4	3・4	社会心理学Ⅰ	2	3・4
社会心理学Ⅱ	2	3・4	産業心理学	2	3・4	広告心理学	2	3・4
ノンバーバル・コミュニケーションⅠ	2	3・4	ノンバーバル・コミュニケーションⅡ	2	3・4	応用社会心理学特講Ⅰ	2	3・4
応用社会心理学特講Ⅱ	2	3・4	応用社会心理学特講Ⅲ	2	3・4	応用社会心理学特講Ⅳ	2	3・4
応用社会心理学特講Ⅴ	2	3・4	応用社会心理学特講Ⅵ	2	3・4	心理学特講A	2	3・4
学校心理学	2	3・4	臨床心理学	4	2	臨床心理学Ⅰ	2	3・4
臨床心理学Ⅱ	2	3・4	障害児・者の心理Ⅰ	2	2	臨床心理学特講	4	3・4
精神分析学	2	3・4	精神医学	4	3・4	音楽療法	2	3・4
相談心理学	4	3・4	家族心理学	2	3・4	健康心理学	2	3・4
コミュニティ心理学	2	3・4	障害児・者の心理Ⅱ	2	3・4	障害児・者の教育	2	3・4
障害児・者の福祉	2	3・4	障害児・者の医学	2	3・4	心理面接法	4	3・4
応用行動分析	2	3・4	身体医学	2	3・4	心身医学	2	3・4
薬理学	2	3・4	脳生理学	2	3・4	精神衛生	2	3・4
母子保健	2	3・4	成人・高齢者保健	2	3・4	精神保健福祉	2	3・4
保健・医療・福祉・制度論	2	3・4	社会保障制度と関連法規	2	3・4	心理学原書講読A	2	3・4
心理学原書講読B	2	3・4						

経済学部

経済学科

授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次
経済学史Ⅰ	2	2	経済学史Ⅱ	2	2	応用ミクロ経済学Ⅰ	2	3
応用ミクロ経済学Ⅱ	2	3	経済動学Ⅰ	2	2	経済動学Ⅱ	2	2
経済統計Ⅰ	2	3	経済統計Ⅱ	2	3	数理統計Ⅰ	2	2
数理統計Ⅱ	2	2	社会政策論Ⅰ	2	3	社会政策論Ⅱ	2	3
社会保障論Ⅰ	2	3	社会保障論Ⅱ	2	3	産業論（航空事業Ⅰ）	2	3
産業論（航空事業Ⅱ）	2	3	産業論（損害保険業）	2	3	産業論（税法）	2	3
産業論（証券ビジネス）	2	3	産業論(知的エンタテイメント産業Ⅰ)	2	3	産業論(知的エンタテイメント産業Ⅱ)	2	3
労働経済論Ⅰ	2	3	労働経済論Ⅱ	2	3	日本経済史Ⅰ	2	2
日本経済史Ⅱ	2	2	欧米経済史Ⅰ	2	2	欧米経済史Ⅱ	2	2
東洋経済史Ⅰ	2	2	東洋経済史Ⅱ	2	2	経済思想史Ⅰ	2	3
経済思想史Ⅱ	2	3	キリスト教社会思想史Ⅰ	2	2	キリスト教社会思想史Ⅱ	2	2
世界経済論Ⅰ	2	3	世界経済論Ⅱ	2	3	各国経済論ＡⅠ	2	2
各国経済論ＡⅡ	2	2	各国経済論ＢⅠ	2	2	各国経済論ＢⅡ	2	2
農業経済論Ⅰ	2	3	農業経済論Ⅱ	2	3	労働法Ａ	2	3
労働法Ｂ	2	3	経営史Ⅰ	2	3	経営史Ⅱ	2	3
応用ゲーム理論	2	3	財政学基礎	2	2	行動経済学	2	2

現代経済デザイン学科

授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次
公的規制の経済学	2	3	ＮＰＯ論Ａ	2	3	契約の経済学	2	3
公共政策の経済学	2	3	公共選択論	2	3	ＮＰＯ論Ｂ	2	3
政策と評価Ａ	2	3	法と経済学	2	3	都市再生論	2	3
まちづくりと都市計画	2	3	住宅と不動産の経済学	2	3	郊外地域論	2	3
地域人口論	2	3	経済地理	2	2	経済地誌	2	2
地方財政の経済学Ⅰ	2	3	地方財政の経済学Ⅱ	2	3	地域経済学Ⅱ	2	3
都市経済学	2	3						

他学部科目一覧表

法学部

授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次
裁判論	2	1・2	国際社会と法	2	1・2	法思想史A	2	1・2
法思想史B	2	1・2	近代日本法史	2	1・2	近代西洋法史	2	1・2
法史学A	2	2	法史学B	2	2	法哲学A	2	2
法哲学B	2	2	法社会学A	2	2	法社会学B	2	2
基礎法特論A	2	3・4	基礎法特論B	2	3・4	外国法入門A	2	1・2
外国法入門B	2	1・2	アメリカ法A	2	2	アメリカ法B	2	2
アメリカ法C	2	2	アメリカ法D	2	2	アメリカ法E	2	2
イギリス法A	2	2	イギリス法B	2	2	フランス法A	2	2
フランス法B	2	2	ドイツ法A	2	2	ドイツ法B	2	2
中国法A	2	2	中国法B	2	2	EU法	2	3・4
フランス法・政治文献講読	2	3・4	ドイツ法・政治文献講読	2	3・4	中国法・政治文献講読	2	3・4
憲法C	2	2	憲法D	2	2	行政法A	4	2
行政法B	4	2	行政法C	2	3・4	刑法A	2	2
刑法B	2	2	刑法C	2	3・4	刑法D	2	3・4
刑事訴訟法A	2	3・4	刑事訴訟法B	2	3・4	刑事政策A	2	3・4
刑事政策B	2	3・4	刑事法特論B	2	3・4	教育法	2	3・4
商法C	4	3・4	商法D	4	3・4	商法E	4	3・4
民事訴訟法A	4	3・4	民事訴訟法B	4	3・4	破産法A	2	3・4
破産法B	2	3・4	知的財産法A	2	3・4	知的財産法B	2	3・4
知的財産法C	2	3・4	知的財産法D	2	3・4	民事法特論A	2	3・4
民事法特論B	2	3・4	民事法特論C	2	3・4	税法A	2	2
税法B	2	3・4	税法C	2	3・4	経済法A	2	3・4
経済法B	2	3・4	労働法A	2	2	労働法B	2	2
労働法C	2	3・4	労働法D	2	3・4	労働法E	2	3・4
国際労働法	2	3・4	社会保障法A	2	3・4	社会保障法B	2	3・4
日本政治史A	2	1・2	日本政治史B	2	1・2	比較政治学	4	2
国際関係論	4	2	政治学特論A	2	2	政治学特論B	2	2
NPO論	2	3・4	ビジネス法入門	2	1・2	消費者法	4	2
銀行取引法	2	2	金融商品取引法	2	3・4	企業法務	2	3・4
国際取引法A	2	3・4	国際取引法B	2	3・4	商事法特論A	2	2
商事法特論C	2	3・4	国際金融法	2	3・4	ファイナンスとデリバティブ	2	3・4
公共政策と法	2	1・2	立法学	2	2	行政学A	2	2
行政学B	2	2	地方自治法	2	3・4	都市法	2	3・4
現代法実務論	2	2	ヒューマン・ライツの現場B	2	1・2	環境法A	2	2
環境法B	2	2	人権法特論A	2	2	人権法特論B	2	2
人権法特論C	2	3・4	言論法A	2	3・4	言論法B	2	3・4
国際人権法	2	3・4						

経営学部

授業科目	単位	配置年次	授業科目	単位	配置年次	授業科目	単位	配置年次
経営データ分析のための線形代数入門Ⅰ	2	1	経営データ分析のための線形代数入門Ⅱ	2	1	商学基礎論Ⅰ	2	1
商学基礎論Ⅱ	2	1	経営史A	2	2	経営史B	2	2
経営管理論Ⅰ	2	2	経営管理論Ⅱ	2	2	経営組織論Ⅰ	2	2
経営組織論Ⅱ	2	2	企業情報戦略Ⅰ	2	2	企業情報戦略Ⅱ	2	2
財務管理論A	2	2	財務管理論B	2	2	事業戦略論Ⅰ	2	2
事業戦略論Ⅱ	2	2	企業分析論	2	2	原価計算論	2	2
マーケティング論Ⅰ	2	2	マーケティング論Ⅱ	2	2	流通論Ⅰ	2	2
流通論Ⅱ	2	2	国際ビジネス環境論A	2	2	国際ビジネス環境論B	2	2
Globalization and Emerging Countries A	2	2	Globalization and Emerging Countries B	2	2	多角的貿易体制概論A	2	3
多角的貿易体制概論B	2	3	ベンチャー企業経営論	2	3	サプライチェーンと意思決定法A	2	2
サプライチェーンと意思決定法B	2	2	グローバル製品戦略Ⅰ	2	2	グローバル製品戦略Ⅱ	2	2
証券投資論Ⅰ	2	2	証券投資論Ⅱ	2	2	意思決定会計論	2	2
制度会計論A	2	2	制度会計論B	2	2	戦略管理会計Ⅰ	2	2
戦略管理会計Ⅱ	2	2	予算管理論	2	2	企業法務Ⅰ	2	3
企業法務Ⅱ	2	3	リスク・マネジネント論Ⅰ	2	3	リスク・マネジネント論Ⅱ	2	3
交通論Ⅰ	2	3	交通論Ⅱ	2	3	Effective Negotiation	2	3
Written Agreements	2	3	Effective Speech	2	3	Academic Presentation	2	3
キャリア開発Ⅴ	2	3	アメリカ文化論Ⅰ	2	3	アメリカ文化論Ⅱ	2	3
ユダヤ文化とビジネスⅠ	2	3	ユダヤ文化とビジネスⅡ	2	3	英語圏社会・文化研究Ⅰ	2	3
英語圏社会・文化研究Ⅱ	2	3	世界の言語文化Ⅰ	2	3	世界の言語文化Ⅱ	2	3
現代韓国社会事情Ⅰ	2	3	現代韓国社会事情Ⅱ	2	3	Market and Business Environment	2	3
国際経営論Ⅰ	2	3	国際経営論Ⅱ	2	3	サプライチェーン・マネジメントA	2	3
サプライチェーン・マネジメントB	2	3	経営戦略論Ⅰ	2	3	経営戦略論Ⅱ	2	3
経営データ分析応用Ⅰ	2	3	経営データ分析応用Ⅱ	2	3	事業創造戦略論	2	3
顧客創造戦略論	2	3	人材育成論Ⅰ	2	3	人材育成論Ⅱ	2	3
人的資源管理論Ⅰ	2	3	人的資源管理論Ⅱ	2	3	組織心理学Ⅰ	2	3
組織心理学Ⅱ	2	3	マネジメントサイエンスⅠ	2	3	マネジメントサイエンスⅡ	2	3
人間行動の多面的分析A	2	3	人間行動の多面的分析B	2	3	戦略・マネジメント特論A	2	3
戦略・マネジメント特論B	2	3	コストマネジメント	2	3	財務コンサルティング論Ⅰ	2	3
財務コンサルティング論Ⅱ	2	3	会計情報論Ⅰ	2	3	会計情報論Ⅱ	2	3
会計・ファイナンス特論A	2	3	会計・ファイナンス特論B	2	3	企業評価論Ⅰ	2	3
企業評価論Ⅱ	2	3	実証会計論Ⅰ	2	3	実証会計論Ⅱ	2	3
財務分析論Ⅰ	2	3	財務分析論Ⅱ	2	3	監査論Ⅰ	2	3
監査論Ⅱ	2	3	税務会計論Ⅰ	2	3	税務会計論Ⅱ	2	3
競争戦略論Ⅰ	2	3	競争戦略論Ⅱ	2	3	産業労働衛生論	2	3
ヘルスケア経営論	2	3	流通情報システム論A	2	3	流通情報システム論B	2	3
マーケティング特論A	2	3	マーケティング特論B	2	3	マーケティング特論C	2	3
マーケティング特論D	2	3	マーケティング特論E	2	3	マーケティング特論F	2	3
マーケティング・コミュニケーション	2	3	サービスマーケティング	2	3	ソーシャルマーケティング	2	3
関係性マーケティング	2	3	ブランド・マネジメント	2	3	消費者行動論	2	3
マーケティング・リサーチ	2	3	マクロ・マーケティングA	2	3	Macromarketing B	2	3
流通政策A	2	3	流通政策B	2	3	経済原論Ⅰ	2	2
経済原論Ⅱ	2	2	商法A(Ⅰ)	2	3	商法A(Ⅱ)	2	3
商法B	2	3	商法C	2	3	経済法A	2	3
経済法B	2	3	労働法A	2	3	労働法B	2	3

総合文化政策学部

授業科目	単位	配置年次	授業科目	単位	配置年次	授業科目	単位	配置年次
経済分析（1ミクロ）	2	3・4	経済分析（2マクロ）	2	3・4	公共社会論	2	3・4
金融概論	2	3・4	行政学概論	2	3・4	国際関係	2	3・4
公共政策論	2	3・4	憲法概論	2	3・4	行政法概論	2	3・4
著作権法	2	3・4	経済発展論	2	3・4	国際平和論	2	3・4
経済政策概論	2	3・4	公共経済学概論	2	3・4	文化経済学	2	3・4
文化行政法	2	3・4	文化産業概論	2	3・4	観光産業論	2	3・4
消費経済論	2	3・4	社会福祉論	2	3・4	キリスト教福祉論	2	3・4
マーケティング概論	2	3・4	会計学	2	3・4	サービスマーケティング概論	2	3・4
消費文化論	2	3・4	経営戦略概論	2	3・4	組織論入門	2	3・4
人的資源管理概論	2	3・4	経営分析論	2	3・4	非営利会計論	2	3・4
プロジェクトマネジメント論	2	3・4	ビジネスプロセスマネジメント論	2	3・4	プロジェクトファイナンス	2	3・4
マーケティング戦略論	2	3・4	ブランド戦略論	2	3・4	公共経営論	2	3・4
文化財保護法	2	3・4	プロジェクトプロデュース論	2	3・4	世界経済概論	2	3・4
社会調査論Ⅰ	2	3・4	社会調査論Ⅱ	2	3・4	統計学	2	3・4
文化人類学概論	2	3・4	日本文化の歴史	2	3・4	異文化間コミュニケーション論	2	3・4
表象文化概論	2	3・4	社会分析学	2	3・4	宗教史	2	3・4
経済史(1)	2	3・4	経済史(2)	2	3・4	社会思想史	2	3・4
経済と文明	2	3・4	比較文明論	2	3・4	地域文化論(1)	2	3・4
地域文化論(2)	2	3・4	地域文化論(3)	2	3・4	地域文化論(4)	2	3・4
宗教社会学	2	3・4	比較宗教論	2	3・4	ネットワーク社会と文化	2	3・4
文化遺産論	2	3・4	経営文化論	2	3・4	文化と精神分析	2	3・4
現代経済史	2	3・4	現代日本文化論	2	3・4	近代哲学史	2	3・4
論理学	2	3・4	公共哲学概論	2	3・4	認識論	2	3・4
存在論	2	3・4	倫理学入門	2	3・4	象徴記号論	2	3・4
情報環境論(1)	2	3・4	情報環境論(2)	2	3・4	メディアリテラシー	2	3・4
宗教哲学	2	3・4	社会倫理	2	3・4	日本思想史概論	2	3・4
現代哲学	2	3・4	現代思潮	2	3・4	現代の神学	2	3・4
認知哲学	2	3・4	環境美学	2	3・4	芸術哲学	2	3・4
情報工学	2	3・4						

理工学部

授業科目	単位	配置年次	授業科目	単位	配置年次	授業科目	単位	配置年次
現代物理学概論	2	2・3・4	現代化学概論	2	2・3・4	一般電気工学	2	2・3・4
一般機械工学	2	2・3・4	社会と経営システム工学	2	2・3・4	計算機概論	2	2・3・4

社会情報学部

授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次
情報化社会と法	2	2・3・4	証券市場II	2	2・3・4	デリバティブズ	2	2・3・4
経済解析	2	2・3・4	現代の世界と日本	2	2・3・4	グローバルビジネス	2	3・4
文化心理学	2	2・3・4	合理的思考と社会行動	2	2・3・4	情報政策	2	2・3・4
情報システム演習	2	3・4	社会資格講義	2	3・4			

Ⅴ．授業について

1．授　業

授業時間

授業時間は次のとおりです。

第１時限	９：00～10：30
礼　拝	10：30～11：00
第２時限	11：00～12：30
昼休み	12：30～13：20
第３時限	13：20～14：50
第４時限	15：05～16：35
第５時限	16：50～18：20
第６時限	18：30～20：00
第７時限	20：10～21：40

授業は原則５時限で実施します。しかし、科目配置の都合により６時限目以降にも配置することがあります。

また、特別な行事のときに授業時間が変更となることがあります。その場合は「学生ポータル」で伝達します。

授業教室

授業教室については、別冊子『授業時間割表』に掲載されています。授業教室が変更になる場合は、随時「学生ポータル」で伝達しますので、毎日必ず確認してください。建物の配置については『授業時間割表』巻末に掲載されている「校舎配置図」を参照してください。

休　講

授業が休講になる場合は、「学生ポータル」で伝達します。

休講情報がなく、授業開始から30分以上経過しても担当教員が来ず、連絡もない場合は、所属キャンパスの教務窓口（巻末参照）に問い合わせ、指示を受けてください（学生共通細則第７条参照）。

補　講

休講となった授業に対し、補講を行う場合があります。補講日は、前期・後期とも、定期試験開始前にそれぞれ数日間設けられています。日程については、学事暦を参照してください。詳細は「学生ポータル」で伝達しますので、必ず確認してください。また、補講期間以外にも補講を行う場合もあります。担当者が直接教室で発表するか、または「学生ポータル」で発表しますので、随時確認してください。

授業の欠席について

本学では、特定の理由による欠席を認める「公欠制度」は設けておりません。ケガ･病気･忌引きなどで授業を欠席した場合は、次回の授業時に直接担当教員に申し出て、指示を受けてください。なお、長期にわたる欠席の場合は、所属キャンパスの教務窓口（巻末参照）に相談してください。

2．大学からの伝達

本学では、大学から学生のみなさんへの通知や連絡は、主に「学生ポータル」と「掲示板」によって行います。

「学生ポータル」を学内で利用する場合は学生証が必要ですので、必ず携帯してください。また、利用方法については、冊子『学生ポータル利用案内』を参照してください。

「掲示板」の設置場所については次のとおりです。

青山キャンパス	8号館と9号館の間（1階）
相模原キャンパス	E棟とF棟の間（外階段下通路内）

「学生ポータル」「掲示板」では、授業・試験など学生生活に直接関係のある事項が随時伝達されています。情報を確認しなかったことにより、後になって不利益を被ることのないよう、十分注意してください。また、電話による問い合わせには一切応じられませんので、質問などがある場合は直接窓口に来室してください。

3．緊急時の「授業の取り扱い」および「伝達手段」について

事故、災害などにより通常利用している交通機関の運行が停止した場合の授業の取扱いは次のとおりとします。

下記いずれの場合も大学からの情報伝達手段で確認してください。

1．通常利用している交通機関運休時における対応

⑴ 代替交通機関を利用して登校が可能と判断できた場合には、危険な状況でない限り、極力、登校するよう努めてください。

⑵ 代替交通機関の利用ができず登校できなかった場合には、所属キャンパスの教務窓口（巻末参照）に用意されている「交通機関不通による授業欠席届」に、交通機関などが発行した遅延証明書、事故証明書などを添えて授業担当者に提出して欠席分の学習補填の指示を受けてください。

上記1.で休講などの情報

携帯電話　http://mobile.jm.aoyama.ac.jp

2．台風の接近時などの対応

台風の接近などによる被害が予想される場合には、休講などの特別措置がとられることがあります。

3．大規模地震の発生が予想されるときの対応

⑴ 大規模地震対策特別措置法による「地震防災対策強化地域判定会」の招集が報道された時点で休校措置がとられます。

⑵ 警戒宣言が解除され、または「判定会」が解散されたときは、休校を解き、平常授業に戻ります。

上記2.3.

テレドーム　0180－993171（青山学院大学用番号）

Web　http://www.aoyama.ac.jp

（緊急の情報がない場合、テレドームは呼び出し音のみになります）

ただしこのサービスについては、利用可能な電話と、利用できない電話があります。

利用可能な電話

① 一般電話

② 携帯電話…NTT docomo、au、SoftBank

利用できない電話

携帯電話…NTT docomoを除くプリペイド式携帯、PHS、
列車公衆電話、「050」から始まるIP電話、NTTの「ひかり電話」、
一部のケーブルテレビ電話、海外からの国際電話

緊急時には、原則として「学生ポータル」では情報提供されません。

4．新型インフルエンザに対する本学の対応について

2009年に全国的に流行した新型インフルエンザは弱毒性の「H1N1」型でしたが、いまだ強毒性インフルエンザ「H5N1」型の流行が危惧されております。

本学では新型インフルエンザの流行が確認された場合は学院危機管理委員会のもとに「新型インフルエンザ対策本部」および「新型インフルエンザ対策会議」において検討を行い、休校等の処置を行う場合（休校の解除を含む）は学生・生徒・児童・園児、教職員および保護者等に対して学院ホームページや学内一斉配信メール(学生ポータル等)、緊急連絡網、文書等でお知らせいたします。

なお、新型インフルエンザ（「H5N1」型）に対する本学の対応は「国内で１人でも発生が認められた場合は幼稚園から大学までを完全休校」とします。

日本国内で罹患者が認められ、厚生労働大臣よりフェーズ４Ｂ（ヒト-ヒト感染発生）の宣言が行われた時点で登校を控えてください。

新型インフルエンザの休校情報は発生次第、テレドームで確認できます。
◇テレドーム　0180-993171

Ⅵ．試験・レポートについて

授業科目の履修状況を評価し単位を認定するため、試験が行われます。試験は、筆記のほかに、科目によっては、論文、レポート、口述試験、実技テスト、その他担当者の指定する方法で行われることもあります。

試験は、受験資格のある学生のみ受験できます。

受験資格は、以下のとおりです。

① 受験する授業科目を履修登録していること

② 学費を納入済みであること

なお、学期を通じ欠席の多い学生は、その科目の受験資格を失うことがあります（学生共通細則第７条参照）。

１．試験の種別

定期試験

前期末、後期末に期間を定めて実施する試験を定期試験といいます。

試験時間割は、試験開始日の約２週間前に「学生ポータル」で発表します（情報は変更される場合もあるので、随時確認してください）。試験実施教室や時間割は通常授業時と異なります。

平常試験

定期試験期間以外の、平常の授業時間に行う試験を平常試験といいます。この場合、担当者によって実施日その他詳細が決定されます。情報は担当者より発表されるか、場合によって「学生ポータル」で発表します（情報は変更される場合もあるので、随時確認してください）。

レポート

レポートは、提出先によって２種類あります。

【教務窓口提出レポート】

おおむね定期試験の前後に受付が行われます。詳細は「学生ポータル」で発表します（情報は変更される場合もあるので、随時確認してください）。

テーマ、枚数、提出期限などを確認し、必ず指定された期間（時間）内に提出してください。指定された期間内であれば、当該授業科目開講キャンパスに限らず、どちらのキャンパスでも受付けます。

提出後の内容変更および指定された期間以外の提出は認めません。

このレポートを提出するときは、以下の点に注意してください。

① 用紙は指定されたものを使用してください。

② 必ず大学所定のレポート提出票を貼付してください。

③ レポート提出票には、整理番号その他、記入事項のすべてを「学生ポータル」で確認の上、ボールペンで記入してください。鉛筆書きは受け付けません。

④ 窓口に持参する際は、提出票記入・ホチキス留めなどをすべて完了し、作成が完了した状態にしておいてください。窓口での提出票記入・ホチキス留めはできません。

⑤ 提出した際に受領印の押印された「レポート提出票（学生控）」を受け取り、成績が発表されるまで各自保管しておいてください。後日、提示を求められる場合があります。

【担当者提出レポート】

情報は担当者より発表されるか、場合によって「学生ポータル」で発表します（情報は変更される場合もあるので、随時確認してください）。テーマ、用紙、枚数、提出期限、提出方法など、すべて担当者の指示に従ってください。

提出先として**学務課あるいは学務部教務課設置の提出ボックス**を指定される場合がありますが、このレポートは**担当者提出レポート**として扱います。

追試験

定期試験に限り、病気、その他やむを得ない理由によって受験できなかった学生に対して行われる試験を追試験といいます。受験資格は厳密に定められており、**自己の不注意によって受験できなかった場合、および、公的な証明書のない場合は、追試験を受けることはできません。**

資格および申請方法などについては後述の「**3．追試験**」を参照してください。なお、出席日数不足など、担当者の判断によって追試験の受験が認められない場合があります。

> 定期試験期間中は、試験の有無にかかわらず、定期試験期間最終日まで予定（旅行など）を入れないでください。
>
> また、やむを得ず追試験の申請をすることも想定し、追試験実施日（学生ポータルで発表）にも留意してください。

2．定期試験の受験

定期試験時間

定期試験時間割は以下のとおりです。授業時間割とは異なるので注意してください。

定期試験科目配置上、５時限で実施できないことが起きた場合のみ６・７時限目にも配置します。

試験時間は原則として60分です（理工学部・社会情報学部専門科目のみ最長85分の場合があります）。

第１時限	９：30 ～ 10：30
第２時限	11：10 ～ 12：10
第３時限	13：10 ～ 14：10
第４時限	14：50 ～ 15：50
第５時限	16：30 ～ 17：30
第６時限	18：20 ～ 19：20
第７時限	19：40 ～ 20：40

受験上の注意

受験上の注意は以下の通りです。あらかじめよく読んでおいてください。

試験教室で配布される受験票は、試験を受けた証拠になりますので学年・クラス番号等、正確に記入してください。答案用紙の学年・クラス番号を正しく記入しない場合、担当教員の成績報告に支障をきたすことがあります。また指定されたクラス・試験教室で必ず受験してください。

受験上の注意

１．監督者の指示に従うこと。
２．机の空いている限り、一机一名で着席すること。
３．机上等に書き込みがある場合は、開始前に申し出ること。
４．学生証はケースから出し、通路側の机上に置くこと。**※注**
５．以下の行為は、不正行為に該当するので充分留意すること。
　①　受験資格のない者の受験（代人も含む）。
　②　答案の交換及び他人の答案を盗み見ること。
　③　カンニングペーパー（縮小コピー）等の準備および使用。
　④　答案用紙を提出せずに試験場から退室すること。
　⑤　机の中にノート、コピー、文献等を開いたまま置くこと。

⑥　所持品やかばん、透明ファイルケース等の中身が見える形のまま、身の回りに置くこと。

6．机上には、許可された文献類および筆記用具以外は置かないこと。
なお、筆箱・ペンケース等も置いてはならない。

7．携帯電話等の電子機器類の電源を切り、かばん等に入れておくこと。
（携帯電話は時計として使用できない）

8．試験終了前に退室する場合は、他の受験者の妨げにならないよう留意すること。

9．不正行為は恥ずべき行為であり大学として厳重に対処する。

※注　学生証を提示しない学生は受験できません。

・試験当日学生証を忘れた場合、相模原キャンパスでは学務課、青山キャンパスでは学務部教務課で学生カードを受け取り受験してください。学生カードの使用については以下の点に注意してください。

ａ．学生カードは、試験受験以外には一切利用できません。

ｂ．学生カードは発行日に限り記載者本人のみ有効です。使用後は自己の責任において適切に処分してください。

・試験開始後20分以上の遅刻者は受験できません。また試験開始後30分を経過するまで退室できません。

不正行為

不正行為を行った学生は、以下に示す『試験における不正行為者処分規則』が適用され、単位を修得することができません。科目によっては４年間で卒業することが不可能になります。

青山学院規則集『試験における不正行為者処分規則』より抜粋

第３条　不正行為者の処分内容は、学則に基づく懲戒処分（訓告、停学、退学）とするほか不正行為を行った授業科目、当該授業科目を含む数科目または全授業科目の履修届を無効とする。

第４条　不正行為者の氏名および処分は学内に掲示し、本人および保証人へ通知する。

不正行為とは、**『試験における不正行為者処分規則施行細則』第２条**に定められた、以下の行為をいいます。

①　代人として受験することまたは代人に受験させること。

②　答案を交換すること。

③　カンニング・ペーパーおよびそれに準ずるもの（メモ類）の用意またはそれらを使用すること。

④　カンニング・ペーパーおよびそれに準ずるもの（メモ類）を廻し見すること。

⑤　使用が許可されていない文献等を使用すること。

⑥　使用が許可されている文献等を貸借すること。

⑦　所持品、身体、机、壁等に解答およびそれに類するものを書き込むこと。

⑧　答案を写させること、または写しとること。

⑨　他人の答案を盗み見ること。

⑩　声、動作等で解答を伝達すること、または伝達を受けること。

⑪　受験資格のない者が受験すること。

⑫　他人の学生証を使用して受験すること。

⑬　偽名または故意により無記名答案を提出すること。

⑭　答案を提出しないこと。

⑮　監督者の指示や注意に従わないこと。

⑯　その他上記各号に類すると認められる行為。

3．追試験

申請資格

定期試験を病気、その他やむを得ない理由によって受験できなかった学生のみ申請することができます。

以下の場合には追試験の対象とはなりません。

① 自己の不注意（時間割の見間違い・変更情報の見落としなど）によって受験できなかった場合

② 公共交通機関以外を利用した場合の、天候や交通事故などによる道路の渋滞、車両の故障を理由とする遅刻・欠席の場合

③ 平常試験（定期試験以外の試験を指す）の場合

④ 定期試験を受験した場合

申請方法

申請の日程、追試験日程については、定期試験前に「学生ポータル」で発表します。

追試験の受験を希望する学生は、**直接、授業科目の開講キャンパスの教務窓口**（巻末参照）**で、定められた期間に申請してください。**当該授業科目開講キャンパス以外の教務窓口では申請できません。

申請時には、当該試験の受験が不可能であったことを証明する公的な書類を持参してください。公的な書類は、**学生氏名、定期試験を受験できなかった日時、理由、証明者名の記載および証明者印のあるもの**に限ります。**コピーは不可です。**「追試験願」用紙を交付しますので、その場で記入し、持参した書類とともに提出してください。なお、受験料は無料です。

欠席理由と、それを示す証明書は次のとおりです。

理　由	証　明　書
病気	医師の診断書（通院・入院・安静期間などの記載のあるもの）
忌引（両親、兄弟姉妹、祖父母、配偶者、子供） ※法事は忌引に含めない	死亡に関する公的証明書および保証人などによる続柄の証明（要押印） または、 葬儀に参列したことを示す会葬礼状（日付が明記されているもの）および保証人などによる続柄・参列の証明（要押印）
就職試験	就職試験の受験を証明するもの（受験票では不可）
災害（台風、地震、水害、火災など）	官公庁による被災証明書
交通関係（遅延）	交通機関などの証明書（通学路線に限る。遅延当日必ず教務窓口で指示を受けること）
教育実習	教育実習参加証明書（教職課程課・学務課にて発行）
科目の時限重複	定期試験実施前に教務窓口で指示を受けること

上記以外の理由または、公的な証明書が無い場合については、事前に「**追試験受験資格審査**」を受けてください。審査で認められた場合のみ申請することができます。

追試験時間・採点

原則として60分で実施し、答案は100点満点で採点されます。

Ⅶ．成績評価について

成績評価

学業成績は、授業科目ごとに行う**試験（筆記試験、レポート、論文、口述試験、実技テスト、その他担当者の指定する方法）**によって評価されます。

本学の成績は100点法によって評価されます。60点以上が合格とされ、所定の単位が与えられます。

成績証明書および成績通知書には AA、A、B、C の表記が用いられます。ただし、「情報スキルⅠ」および指定の海外研修については、所定の単位が与えられた場合、成績証明書には「RR」、成績通知書には「合格」と表示されます。

実点数範囲	学生への成績通知	成績証明書の記載
100～90	AA	AA
89～80	A	A
79～70	B	B
69～60	C	C
59以下または不合格	XX	表示せず
欠席	X	表示せず
「情報スキルⅠ」、海外研修等による単位修得	合格	RR

G.P.A.

2009年度以降のカリキュラム適用学生については、成績通知書に「G.P.A.」の数値を表示しています。G.P.A.（Grade Point Average）とは、学生の履修登録科目の１単位あたりの評点平均値を指します。これは、欧米で広く用いられている世界標準的な成績評価方法で、本学では給付奨学金や学業奨励賞の候補者選出、学位授与式の総代選出、本学大学院進学などの際に活用されています。

履修した科目には、A、B、C、XX などの成績が与えられます。これらの評価を数値化して１単位ごとの平均を算出したものが G.P.A. です。

本学では、各評価に与えられる評点は次のとおりです。

本学評価	評点
AA	4.0
A	3.0
B	2.0
C	1.0
XX(不合格)	0.0
X （欠席）	0.0

上記の評点を次の計算式に当てはめて G.P.A. を算出します。

$$\text{G.P.A.}=\frac{(\text{AA の単位数}\times 4+\text{A の単位数}\times 3+\text{B の単位数}\times 2+\text{C の単位数}\times 1)}{(\text{AA の単位数}+\text{A の単位数}+\text{B の単位数}+\text{C の単位数}+\text{XX の単位数}+\text{X の単位数})}$$

※理工・社会情報学部は、教職課程科目を G.P.A. 算出の対象外とします。

※「情報スキルⅠ」、「海外語学・文化研修Ⅰ/Ⅱ/Ⅲ」、「海外語学・キリスト教文化研修」は、G.P.A. 算出の対象外とします。

成績通知

学生の成績評価は、３月上旬および９月中旬に学生ポータルメニュー「成績通知書」にてお知らせします。学外 PC から閲覧する場合は、あらかじめ学内で Secure Matrix パスワードの登録を済ませておく必要があります。（詳細は、学生ポータルメニュー「学外から成績通知書を閲覧する手順」を参照してください。）**成績通知書は各自で印刷し、修得した科目とその評価を確認してください。**

成績調査

成績評価に疑問がある場合は、「成績調査」を申請することができます。これは、科目担当者に対して、安易に再考・変更を求めるものではありません。成績に疑問を持つ**明確な根拠がある場合にのみ**申請してください。

大学が指定する調査期間中に、成績通知書持参のうえ所属キャンパスの教務窓口（巻末参照）へ申し出てください。調査期間は、「学生ポータル」でお知らせします。

電話での問い合わせ、期間外の申し出には一切応じません。

Ⅷ．進級および卒業について

進　級

進級については、所属する学部で条件が異なるので、「Ⅳ．学部履修要項」の各学部、学科の**進級条件**の項を参照してください。進級するには、１年間をとおして在学することが必要です。

休学をして復学した場合は、休学前と同一学年になります。

卒　業

⑴　本学に４年以上在学し（休学期間を除く）、各学部で定められた、卒業に必要な単位を修得した者は、卒業が認められ学士の学位が授与されます。

⑵　卒業発表は３月上旬に行います。卒業の可否は必ず本人が確認してください。電話による問い合わせには一切応じておりません。

９月卒業

４年生で留年した場合、不足する科目や単位数により、次年度の前期で単位を修得し、卒業要件単位を満たすことができれば、願い出によって９月に卒業できる制度があります。

⑴　希望者は、所属キャンパスの教務窓口（巻末参照）で相談し、**「９月卒業希望届」**を定められた期間に提出してください。

⑵　期限を過ぎてからの提出は、一切認められません。

⑶　学費については、本学の財務部資金課に問い合わせてください。

卒業延期制度

４年次に在学する学生が卒業要件を満たし、具体的な勉学継続計画、国家試験受験等明確な理由、目的を有したうえで、在学期間を延長して学修継続を希望する場合、卒業の延期を認めて学修継続の機会を与える制度です。

⑴　希望者は、所属キャンパスの教務窓口（巻末参照）で相談し、**「卒業延期許可願」、「学修計画書」、「誓約書・保証書」**を定められた期間に提出してください。

⑵　期限を過ぎてからの提出は、一切認められません。

⑶　学費については、本学の財務部資金課に問い合わせてください。

Ⅸ．学籍について

<table>
<tr><th colspan="2"></th><th>内　　容</th><th>取扱・問い合わせ窓口</th></tr>
<tr><td colspan="2">修業年限</td><td>本学の教育課程を修了するために必要な最低修業年限は、４年です。</td><td>学則第35条参照</td></tr>
<tr><td colspan="2">在学年限</td><td>①　本学に在学できる期間は、休学期間を除き８年です。
②　２年次編入学生、２年次転学部・転学科生の在学年限は６年です。
③　３年次編入学生、３年次転学部・転学科生の在学年限は４年です。
④　再入学者の在学年限は、退学以前を加えて８年です。
⑤　編入学または転学部･転学科をした再入学者の在学年限は、退学以前を加え、編入学または転学部・転学科学生の在学年限を越えることはできません。</td><td>学則第36条参照</td></tr>
<tr><td rowspan="3">休学</td><td>休学期間</td><td>①　休学期間は、通年(１年間)、前期、後期の３種類があり、１年または１学期ごとに更新しなければなりません。
②　休学期間は連続２年までとしますが、特にやむを得ない場合は、審議をしたうえで、連続して３年まで認めることがあります。
③　休学期間は通算して３年を超えることはできません。
④　休学期間は在学期間に算入しません。</td><td>学則第29・36条参照</td></tr>
<tr><td>休学をするには</td><td>病気その他やむを得ない理由で休学しようとする学生は、以下の手続きを行い、教授会の承認を得なければなりません。
①「休学願」(大学所定用紙)（保証人連署）の提出
②　学生証の提示
③　休学費の納入
④「理由書（書式は任意)」休学期間が通算であっても連続であっても、２年を超えてさらに休学を願い出る場合のみ提出
※休学は原級（元の学年）にとどめるので、通年または半期休学をした場合、進級することができません。進級するには、４月から翌年３月まで１年間とおして在学することが必要ですのでご注意ください。</td><td>（手続き）
⇒所属キャンパスの教務窓口（巻末参照）
学則第28条参照

（休学費）
⇒財務部資金課
（青山キャンパス）
学則　別記学費納付に関する取扱い８参照</td></tr>
<tr><td>休学願の提出期限</td><td>「休学願」の提出期限は次のとおりです。
<table><tr><th></th><th>休学期間</th><th>提出期限</th></tr><tr><td>通年休学</td><td>４月１日～翌年３月31日</td><td>６月末日</td></tr><tr><td>前期休学</td><td>４月１日～９月30日</td><td>６月末日</td></tr><tr><td>後期休学</td><td>10月１日～翌年３月31日</td><td>12月末日</td></tr></table></td><td>⇒所属キャンパスの教務窓口（巻末参照）</td></tr>
<tr><td>復学</td><td>復学をするには</td><td>休学者が復学を希望する場合、大学所定の「復学願」を提出し、教授会の承認を経て復学することができます。休学期間満了の約２ヶ月前に、学務部教務課（相模原キャンパスは学務課）から次期の復学・休学の継続などについての問い合わせをします。なお、復学が承認された場合の年次は、休学の種類にかかわらず、休学前と同一年次となります。</td><td>⇒所属キャンパスの教務窓口（巻末参照）

学則第30条参照</td></tr>
</table>

		内　　容	取扱・問い合わせ窓口
退学	退学の期日	退学の期日は、学費の納付期間によって異なります。前期分まで納付している場合は９月30日付、後期分まで納付している場合は３月31日付となります。	学則　別記学費納付に関する取扱い10参照
	退学をするには	病気その他やむを得ない事情で退学を希望する場合は、以下の手続きを行い、教授会の承認を得なければなりません。 ①「退学願」（大学所定用紙）（保証人連署）の提出 ②　学生証の提出 ③　退学期日を含む学期までの学費の納入	⇒所属キャンパスの教務窓口（巻末参照） 学則第32条参照
再入学		退学した後に再入学を願い出た場合、事情を審査のうえ相当年次に再入学を許可することがあります。願い出をするためには以下のような条件があります。 ①　再入学の願い出ができる期間は、原則として退学した日から２年以内とし、「再入学願」は１月中旬～１月末日（要問い合わせ）の間に学務担当窓口に提出してください。 ②　再入学できる時期は、学年の初めとします。	⇒所属キャンパスの教務窓口（巻末参照） 学則第27条参照
二重学籍	二重学籍の禁止	本学学生は、他大学および本学他学部または他学科と併せて在学することはできません。	学則第27条の２参照
除籍		学費を期限内に納入しない、履修登録をしない、などの場合は修学の意思がないものとして除籍され、本学学生としての身分を失うことになります。なお、除籍者に対しては、以後、在学中の修得単位・成績の証明などは一切行ないません。また、再入学の資格も失うことになります。	学則第34条参照
転学部・転学科	転学部とは	文学部、教育人間科学部、法学部、国際政治経済学部へ学部を移ることです。転学部を願い出た場合には、選考の上、当該学部への転学部を許可することがあります。許可された場合、転学部届の提出が必要となります。	⇒所属キャンパスの教務窓口（巻末参照） 学則第26条参照 （詳細については、広報入試センター（青山キャンパス）から、10月初旬発行予定の「試験要項」を確認してください。）
	転学科とは	同一学部内で学科を移ることです。文学部の学生で転学科を願い出た場合には、選考の上、文学部の他学科への転学科を許可することがあります。また、教育人間科学部の学生が転学科を願い出た場合には、選考の上、教育人間科学部の他学科への転学科を許可することがあります。許可された場合、転学科届の提出が必要となります。	

Ⅹ．教職課程（教員免許状・各種資格）について

1．本学で取得可能な教育職員免許状

〔取得可能な免許状の種類・教科（学部・学科別）〕

本学で取得可能な免許状の種類・教科は次のとおりです。

（2013年度入学者）

学　部	学　科	免許状の種類・教科
文学部	英米文学科	中 学 校教諭１種免許状（英語） 高等学校教諭１種免許状（英語）
	フランス文学科	中 学 校教諭１種免許状（フランス語） 高等学校教諭１種免許状（フランス語）
	日本文学科	中 学 校教諭１種免許状（国語） 高等学校教諭１種免許状（国語）
	史学科	中 学 校教諭１種免許状（社会） 高等学校教諭１種免許状（地理歴史）
教育人間科学部	教育学科	幼 稚 園教諭１種免許状 小 学 校教諭１種免許状 中 学 校教諭１種免許状（国語・社会・英語） 高等学校教諭１種免許状 （国語・地理歴史・公民・英語）
理工学部	物理・数理学科	中 学 校教諭１種免許状（理科・数学） 高等学校教諭１種免許状（理科・数学）
	化学・生命科学科	中 学 校教諭１種免許状（理科） 高等学校教諭１種免許状（理科）
	電気電子工学科	高等学校教諭１種免許状（工業）
	機械創造工学科	高等学校教諭１種免許状（工業）
	経営システム工学科	高等学校教諭１種免許状（情報）
	情報テクノロジー学科	高等学校教諭１種免許状（情報）
社会情報学部	社会情報学科	中 学 校教諭１種免許状（数学） 高等学校教諭１種免許状（数学・情報）

2．教員免許状の取得希望申請について

教員免許状の取得を希望する者は、入学年度適用の『**教職課程履修の手引**』を熟読の上、前期履修登録期間に Web の履修登録画面から**「教職・各種資格申請」**の画面を開き、登録を行ってください。

この申請は、毎年度前期履修登録期間に必ず行うものであり、在学中における申請内容の変更・取消、またはその有無にかかわらず、教職履修申請継続の意思を持っている場合には、毎年度申請を更新してください。申請内容は毎年度末にクリアされます。

3．教職課程料の納入について

教員免許状の申請登録（Web）をすると、申請した年度ごとに後期学費納入時に教職課程料を納入することになります。たとえ教職課程科目の履修登録をしなくても、**教員免許状の申請登録によって教職課程料が後期学費に加算されます**ので、各自の責任において免許教科を確認し、熟考の上申請をしてください。また、申請登録（Web）の取消しは、前期履修登録期間内しか行えません。なお、一旦納入された教職課程料は、いかなる理由があっても返還しません。

※学費を前期納付時に一括納付した者については、教職課程料の納付時期は 9 月となります。

４．教職課程履修について

履修上の注意

教職課程の履修は、１年次の年度初頭に開催される**教職課程オリエンテーション**で配付される入学年度適用の『**教職課程履修の手引**』に従ってください。また、履修方法・科目名称の変更などについては、年度初頭に開催される２年次生対象**教職課程オリエンテーション**と３年次生および４年次生対象**教育実習・教職実践演習説明会**で資料を配付しますので、必ず確認してください。

教職課程関係の**オリエンテーション･説明会**および**手続**などの詳細については、『**学年初頭行事**』(学生ポータルに掲載)、教職課程掲示板で確認してください。

オリエンテーション・説明会に欠席したり、指定期間内に**介護等体験登録、教育実習Ⅱ・教職実践演習予備登録、教員免許状大学一括申請**などの手続を行わなかった場合、卒業時までに教員免許状を取得できない事態に陥ることがありますので、遺漏のないよう自己管理してください。

履修順序のある科目

教員免許状取得のための科目には、次ページ以下のとおり**「履修順序」**が定められたものがあります。詳細については、『**教職課程履修の手引**』の該当する学部･学科別の免許教科の項を併せて参照してください。

また、学部・学科別の取得可能な教員免許状の校種・教科は、**「１．本学で取得可能な教育職員免許状」**の表のとおりです。

〔教員免許状取得に必要な科目の履修順序〕

(2013年度入学者適用)

幼稚園教諭免許状取得希望者

第１段階		第２段階		第３段階
			第１段階に合格した場合のみ履修できる	第２段階に合格した場合のみ履修できる
(１年次配置科目)	(２年次配置科目)	(３年次配置科目)		(４年次配置科目)
教育思想概説 教育心理学概説 教育制度概説	教職論	保育内容教育法を３教科以上	幼児教育実習Ⅰ	幼児教育実習Ⅱ 教職実践演習(幼)

小学校教諭免許状取得希望者

第１段階		第２段階		第３段階
			第１段階に合格した場合のみ履修できる	第２段階に合格した場合のみ履修できる
(１年次配置科目)	(２年次配置科目)	(３年次配置科目)		(４年次配置科目)
教育思想概説 教育心理学概説 教育制度概説	教職論	初等教科教育法を４教科以上	初等教育実習Ⅰ	初等教育実習Ⅱ 教職実践演習(小)

中学校・高等学校教諭免許状取得希望者

第１段階		第２段階	第３段階
		第１段階に合格した場合のみ履修できる	第２段階に合格した場合のみ履修できる
(１年次配置科目)	(２年次配置科目)	(３年次配置科目)	(４年次配置科目)
教育原理Ａ (教育思想概説) 教育心理 (教育心理学概説) 教育原理Ｂ (教育制度概説)	教職論	中等教育実習Ⅰ 国語科教育法 　又は　国語科教材論 社会科教育法 　又は　社会科教材論 地理歴史科教育法 　又は　地理歴史科教材論 公民科教育法 　又は　公民科教材論 英語科教育法 　又は　英語科教育法特論 フランス語科教育法 (フランス語教授法Ⅰ) 　又は　フランス語科教育法特論 理科教育法Ⅰ及び理科教育法Ⅱ 　又は　理科教材論 数学科教育法 　又は　数学科教育法特論 工業科教育法 情報科教育法 　又は　情報科教育法特論	中等教育実習ⅡＡ 中等教育実習ⅡＢ 教職実践演習(中・高)

5．教職課程科目配置表

文学部
教育人間科学部
理工学部
社会情報学部

（2013年度入学者）

教職課程科目は教育職員免許状の取得を希望し、申請した学生以外は履修できません。

	科目名	単位数	履修年次	
教職課程科目	教職論	2	2	
	教育原理Ａ	2	1	
	教育心理	4	1	
	教育原理Ｂ	2	1	
	教育課程編成法（中等）	2	3・4	
	国語科教育法	4	3	
	国語科教材論	4	3	
	社会科教育法	4	3	
	社会科教材論	4	3	
	地理歴史科教育法	2	3	
	地理歴史科教材論	2	3	
	公民科教育法	2	3	
	公民科教材論	2	3	
	英語科教育法	4	3	
	英語科教育法特論	4	3	
	フランス語科教育法	4	3	
	フランス語科教育法特論	4	3	
	理科教育法Ⅰ	2	3	
	理科教育法Ⅱ	2	3	
	理科教材論	4	3	
	数学科教育法	4	3	
	数学科教育法特論	4	3	
	工業科教育法	4	3	
	情報科教育法	2	3	
	情報科教育法特論	2	3	
	道徳教育指導法（中等）	2	3・4	
	特別活動論（中等）	2	3・4	
	教育方法の研究（中等）	2	3・4	
	生徒・進路指導論（中等）	2	3・4	
	教育相談（中等）	2	3・4	
	幼児教育実習Ⅰ	1	3	
	幼児教育実習Ⅱ	4	4	
	初等教育実習Ⅰ	1	3	
	初等教育実習Ⅱ	4	4	
	中等教育実習Ⅰ	1	3	
	中等教育実習ⅡＡ	2	4	
	中等教育実習ⅡＢ	2	4	
	教職実践演習（幼）	2	4	
	教職実践演習（小）	2	4	
	教職実践演習（中・高）	2	4	

6．本学で取得可能な資格
〔取得可能な資格の種類（学部・学科別）〕

本学で取得可能な資格の種類は次のとおりです。

（2013年度入学者）

学　部	学　科	資 格 の 種 類
文学部	英米文学科	司書教諭・司書・社会教育主事・学芸員
	フランス文学科	
	日本文学科	
	史学科	
	比較芸術学科	司書・社会教育主事・学芸員
教育人間科学部	教育学科	司書教諭・司書・社会教育主事・学芸員
	心理学科	司書・社会教育主事・学芸員
経済学部	経済学科	司書・社会教育主事・学芸員
	現代経済デザイン学科	
法学部	法学科	司書・社会教育主事・学芸員
経営学部	経営学科	司書・社会教育主事・学芸員
	マーケティング学科	
国際政治経済学部	国際政治学科	司書・社会教育主事・学芸員
	国際経済学科	
	国際コミュニケーション学科	
総合文化政策学部	総合文化政策学科	司書・社会教育主事・学芸員
理工学部	物理・数理学科	司書教諭・司書・社会教育主事・学芸員
	化学・生命科学科	
	電気電子工学科	
	機械創造工学科	
	経営システム工学科	
	情報テクノロジー学科	
社会情報学部	社会情報学科	司書教諭・司書・社会教育主事・学芸員

7．各種資格の取得希望申請について

各種資格（**司書教諭・司書・社会教育主事・学芸員**）の取得を希望する者は、入学年度適用の『**教職課程履修の手引**』を熟読の上、前期履修登録期間に、Web の履修登録画面から「**教職・各種資格申請**」の画面を開き、登録を行ってください。

この申請は、毎年度前期履修登録期間に必ず行うものであり、在学中における申請内容の変更・取消、またはその有無にかかわらず、継続の意思を持っている場合には、毎年度申請を更新してください。申請内容は毎年度末にクリアされます。

8．資格課程料の納入方法

各種資格（司書教諭・司書・社会教育主事・学芸員）の申請登録（Web）をすると、それぞれの資格について申請した年度ごとに後期学費納入時に資格課程料を納入することになります。たとえ必要科目の履修登録をしなくても、**各種資格の申請登録によって資格課程料が後期学費に加算されます**ので、熟考の上申請をしてください。また、申請登録（Web）の取消しは、前期履修登録期間内しか行えません。なお、一旦納入された資格課程料は、いかなる理由があっても返還しません。

※学費を前期納付時に一括納付した者については、資格課程料の納付時期は 9 月となります。

9．各種資格取得に必要な科目の履修について

履修上の注意

各種資格取得に必要な科目の履修は、１年次の年度初頭に開催される**各種資格オリエンテーション**で配付される入学年度適用の『**教職課程履修の手引**』に従ってください。

また、履修方法・科目名称などの変更があった場合には、年度初頭に開催される２年次生対象の**司書教諭・司書・社会教育主事オリエンテーション、学芸員オリエンテーション**、２年次生対象**「博物館実習Ⅰ」予備登録説明会**（学芸員資格取得希望者対象）などで資料を配付しますので、必ず確認してください。

各種資格関係の**オリエンテーション･説明会**および**手続**等の詳細については、『**学年初頭行事**』(学生ポータルに掲載)、教職課程掲示板で確認してください。

オリエンテーション・説明会に欠席したり、指定期間内に**博物館実習予備登録・各種資格申請**などの手続を行わなかった場合、卒業時までに資格の取得ができない事態に陥ることがありますので、遺漏のないよう自己管理してください（但し、司書教諭資格の取得時期については、『**教職課程履修の手引**』を参照してください)。

履修順序のある科目

司書および**学芸員**資格取得のための科目には、**「履修順序」**が定められたものがあります。詳細については、下表および『**教職課程履修の手引**』の**司書**および**学芸員**の項を参照してください。

また、学部・学科別の取得可能な資格の種類は、**「６.本学で取得可能な資格」**の表のとおりです。

〔司書資格取得に必要な科目の履修順序〕

(2013年度入学者)

①	②
２年次以降履修できる	第１段階の科目に合格した翌年度以降にのみ履修できる
（２年次配置科目）	（３・４年次配置科目）
図書館情報学概論	情報サービス論II 情報サービス論III メディア組織法II メディア組織法III

〔学芸員資格取得に必要な科目の履修順序〕

(2013年度入学者)

①		②
２・３年次のみ履修できる	３年次のみ履修できる	①を履修し合格した者のみ履修できる
（２年次配置科目）	（３年次配置科目）	（４年次配置科目）
博物館概論 博物館経営論 博物館資料論	博物館実習Ⅰ	博物館実習II

・「博物館実習Ⅰ」は３年次生しか履修できません。

・「博物館実習Ⅰ」は、実習設備等の諸事情により、受講者は30名までとします。また、２年次10月に博物館実習予備登録を受付け、３年次年度初頭に選抜試験を実施します。

・**「博物館実習Ⅰ」説明会･予備登録**の日程については、教職課程掲示板で確認してください。

履修順序のある科目の登録方法

① 「博物館実習Ⅰ」（3年次配置科目）は、**事前登録科目**です。2年次10月に**博物館実習予備登録**をし、3年次の年度初頭に実施される**選抜試験**に合格することにより**事前登録**されるので、履修登録期間中に個人が登録する必要はありません。履修登録期間中に、Webの履修登録画面で登録内容を確認してください。

② 「博物館実習Ⅱ」（4年次配置科目）は、Webの履修登録画面から各自が登録をしてください。履修順序の条件を満たしていない場合は、登録することができません。

Ⅺ．大学院について

本学には、より高度な専門知識と技術によって確かな実績と高い評価をうける「大学院」各研究科･専攻に加え、時代と社会の要請に応える高度専門職業人養成の「専門職大学院」があります。

学部から本学「大学院」「専門職大学院」へ進学を希望する学生は、詳細を下記に問い合わせてください。

《問い合わせ先》

大学院

進学希望研究科	問い合わせ先（担当部署）
文学研究科 教育人間科学研究科 経済学研究科 法学研究科 経営学研究科 国際政治経済学研究科 総合文化政策学研究科	教務課 所在：青山キャンパス　17号館２階
理工学研究科 社会情報学研究科社会情報学専攻社会情報学コース 社会情報学研究科社会情報学専攻ヒューマンイノベーションコース	スチューデントセンター・学務課 所在：相模原キャンパス　Ｂ棟１階
国際マネジメント研究科	専門職大学院教務課 所在：青山キャンパス　17号館２階

専門職大学院

進学希望研究科	問い合わせ先（担当部署）
国際マネジメント研究科（ビジネススクール） 法務研究科（ロースクール） 会計プロフェッション研究科（アカウンティングスクール）	専門職大学院教務課 所在：青山キャンパス　17号館２階

＊青山学院大学ホームページ（http://www.aoyama.ac.jp）にも、情報が載っていますので、参照してください。

＊上記の内容に変更が生じた場合は、「学生ポータル」で伝達いたします。

大学院 入試情報一覧（2013年度実績）

		学内進学者選抜※1	内部推薦	外部推薦	一般(秋)	一般(春)	大学院科目特別履修資格試験※2
文学研究科	英米文学専攻＊1				○	○	○
	フランス文学・語学専攻＊1				○	○	○
	日本文学・日本語専攻＊1				○	○	
	史学専攻＊1				○	○	○
	比較芸術学専攻＊1				○ (2014年度より実施予定)	○	
教育人間科学研究科	教育学専攻＊1				○	○	
	心理学専攻＊1 心理学コース 臨床心理学コース	○				○	
経済学研究科	経済学専攻＊1	○			○	○	○
	公共・地域マネジメント専攻＊1	○			○	○	○
法学研究科	私法専攻＊1		○	○	○	○	○
	公法専攻＊1						
	ビジネス法務専攻＊2				○(実施時期は要問い合わせ)		○
経営学研究科	経営学専攻＊1	○			○	○	○
国際政治経済学研究科	国際政治学専攻＊2	○			○	○	○
	国際経済学専攻＊2						
	国際コミュニケーション専攻＊2						
総合文化政策学研究科	文化創造マネジメント専攻＊2	○			○	○	○
	総合文化政策学専攻＊3	○			○	○	
理工学研究科	理工学専攻＊1 基礎科学コース 化学コース 機能物質創成コース 生命科学コース 電気電子工学コース 機械創造コース 知能情報コース マネジメントテクノロジーコース	○			○(実施時期は要問い合わせ)		
社会情報学研究科	社会情報学専攻＊1 社会情報学コース ヒューマンイノベーションコース	○			○(実施時期は要問い合わせ)		

専門職大学院 入試情報一覧（2013年度実績）

		自己･指定学部推薦			一般入試				
		7月	12月	2月	7月	9月	10月	1月	2月
国際マネジメント研究科	国際マネジメントサイエンス専攻＊3						○		○
	国際マネジメント専攻＊4						○	○	○
法務研究科	法務専攻＊4				○	○			○
会計プロフェッション研究科	会計プロフェッション専攻＊4	○	○	○			○		

＊1　博士前期課程
＊2　修士課程
＊3　博士課程（5年一貫制）
＊4　専門職学位課程

※1　経営学研究科・国際政治経済学研究科は「学内飛び級」制度も導入しています。
※2　「大学院科目特別履修資格試験」に合格した者は、学部4年次で大学院科目を履修できます。
経済学研究科・経営学研究科では「先取り科目履修方式」もあります。

教務窓口について

キャンパス	担当窓口	事務取扱時間	
相模原キャンパス	学務課 （Ｂ棟１階 スチューデントセンター）	（月～金） 9：00 ～ 11：30 12：30 ～ 17：00	（土） 9：00 ～ 11：30
青山キャンパス	学務部　教務課 （17号館２階 スチューデントセンター）	（月～金） 9：00 ～ 11：30 12：30 ～ 20：00	（土） 9：00 ～ 11：30 14：00 ～ 20：00
	学務部　教職課程課 （17号館２階 スチューデントセンター）	（月・水・木） 9：00 ～ 11：30 12：30 ～ 17：00 （火・金） 9：00 ～ 11：30 12：30 ～ 20：00	（土） 9：00 ～ 11：30

＊上記の内容に変更が生じた場合は、「学生ポータル」で伝達いたします。

＊長期休業など、授業期間以外の事務取り扱いについては「学生ポータル」で伝達いたします。

窓口で取り扱う業務：

●履修・成績に関すること　●授業に関すること　●休学・退学などの学籍に関する願出

●教職課程（教員免許状）および各種資格（司書教諭・司書・学芸員・社会教育主事）取得に関すること

●証明書の交付

種　類	取扱窓口	手数料（1通につき）
在学証明書	証明書自動発行機 注1） 所属キャンパスの教務窓口	和文　200円 英文　400円
成績証明書		
卒業見込証明書		
本学が定めた様式以外の証明書 注2）	所属キャンパスの教務窓口	
学力に関する証明書	青山キャンパス教職課程課 相模原キャンパス学務課教職課程窓口	和文　400円
免許状取得見込証明書		和文　200円
各種資格取得見込証明書		
健康診断証明書	証明書自動発行機 注1） 英文・指定用紙は保健管理センター	和文　200円 英文　400円

注１）在学生の証明書発行は、原則として自動発行機をお使いください。

注２）即日発行できない証明書があるので事前に取扱窓口で確認してください。

＊電話など、窓口以外での受付には原則として応じません。

＊提出物は期限を厳守してください。締切後の取り扱いは一切行いません。

地の塩、世の光
The Salt of the Earth,The Light of the World
青山学院スクール・モットー

学生番号

氏　　名